

Data Projector

簡易説明書 _____ **JP**

Quick Reference Manual ____ **GB**

Guide de référence rapide _ **FR**

Manual de referencia rápida ____ **ES**

Kurzreferenz _____ **DE**

Guida rapida all'uso _____ **IT**

快速参考手册 _____ **CS**

Краткое справочное руководство ____ **RU**

VPL-DX270/DX240/DX220
VPL-DW240

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。



このマニュアルについて

本書は、本機で映像を映すまでの簡単な説明と、本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

「インジケータの見かた」、「エアーフィルターを掃除する」は必要に応じてご覧ください。

操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

Step 1

準備する 12 ページ

Step 2

接続する 15 ページ

Step 3

投写する 19 ページ

インジケータの見かた 27 ページ

ランプを交換する 29 ページ

エアーフィルターを掃除する 31 ページ

天吊り時の使いかた 32 ページ

本機の持ち運びかた 33 ページ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検（有料）を、ソニーの修理窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、ソニーの修理窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源コードや接続コードを抜く。
- ❸ ソニーの修理窓口につながる。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

JP



警告

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながる可能性があります。



火災



感電

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込みたりしない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口へ交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない



禁止

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する



注意

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

お手入れの際は電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

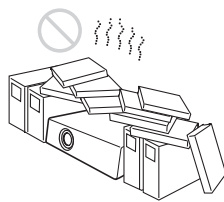
排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。充分に通気できるように以下の項目をお守りください。

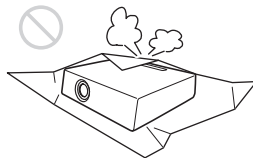
- ・周辺の壁や物から離して設置してください（9 ページ）。



- ・吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしない。



- ・出荷時に包装されているシート、柔らかい布地、書類、毛足の長いじゅうたん、小さい紙などの上に設置しない。吸い上げられて、吸気口がふさがれます。

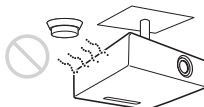


熱感知器や煙感知器のそばに設置しない



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。



床置き、または天吊り金具を使った天井吊り以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

指定された部品を使用する



指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、フィルターは指定されたものを使用してください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの修理窓口にご相談ください。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、十分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない



禁止

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの修理窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない



禁止

投写中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く



禁止

本体の高温部でやけどしたりする場合があります。お子様がさわらないようにご注意ください。

天吊りしたとき、本体にぶら下がらない



禁止

本機や部品が破壊、落下して、けがの原因となります。また、重いものなどをぶら下げないでください。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品
に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上、あるいは傾いた
ところに設置すると、倒れたり落ち
たりしてけがの原因となることが
あります。また、設置・取り付け場所
の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場な
どで使うと、火災や感電の原因とな
ります。雨天や降雪中の窓際でのご
使用や、海岸、水辺でのご使用は特
にご注意ください。

製品の上にものを載せない



禁止

製品の上にものを載せると、故障や
事故の原因となります。特に、水が
入ったものをおくと内部に水が入
り、火災や感電の原因となることが
あります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫 の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、 熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあ
ります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいもの を排気口やレンズの前に置かない



禁止

火災の原因となることがあります。

本機を立てて置かない



禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れ
て思わぬ事故の原因になり危険で
す。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注 意する



手を挟まれ
ないように注意

設置する際、本機と設置部分で指を
挟まないように慎重に取り扱って
ください。

前脚部（調整可）調整時に指を挟まない



手を挟まれ
ないように注意

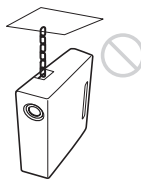
前脚部の調整は慎重に行ってください。
前脚部に指を挟み、けがの原因
となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用し ない



禁止

盗難防止用バーを使って持ち上げ
たり、吊下げなどの設置に使用した
りすると、落下してけがや故障の原因
となることがあります。



電源コード、接続ケーブルに足をひっかけ ない



注意

電源コードや接続ケーブルに足を
ひっかけると、プロジェクターが倒
れたり落ちたりしてけがの原因と
なることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差し
をすると、感電の原因となることが
あります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに 触れない



接触禁止

感電の原因となります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください(有料)。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬・移動は慎重に行う



注意

- ・床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

エアフィルターカバーをつかんで持たない



禁止

本機をエアフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する



注意

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

前脚部（調整可）を運搬や吊り下げ目的で使えない



禁止

前脚部を運搬用の取っ手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に使用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

天吊り状態でランプまたはフィルターを取りはずす際は周りに人がいないことを確認してから取りはずす



注意

天吊りのままランプまたはフィルターを取りはずす際は落下に注意しないと思わぬ事故の原因となります。

定期的にエアフィルターを掃除する



注意

掃除を怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

排気口周辺に手やものを近づけない



高温

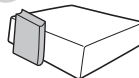
排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置くとやけどや変形の原因になります。

投写中にレンズのすぐ前で光を遮らない



禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。投写を一時的に中断するときには、リモコンを使って映像消去機能をお使いください。



レンズが破損したときはすぐに修理を依頼する



指示

万一レンズを破損させてしまうと、プロジェクター内部にガラス片が飛散する可能性があります。修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する



指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

排気口をのぞかない



禁止

光が目に入り、悪影響を与えることがあります。万一ランプが破裂した場合、ガラス片が飛散する可能性があり、けがの原因となることがあります。

十分に冷えた状態でキャリングケースに入れる



注意

電源を切った直後に本機をキャリングケースに入れると熱がこもるため、キャビネットの温度が上がります。次に本機を取り出す際にやけどの原因となります。本機をキャリングケースに収納するときは、クーリングが終了し、ファンが止まってから十分に冷えた状態で収納してください。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。ソニーの相談窓口でランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

ランプを傾けて持たない



ランプを傾けて持つと、ランプの破損時にランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持ってください。

使用済みランプを破棄する場合



本機のランプの中には水銀が含まれています。ソニーにてランプの回収をご希望の場合は、業務用商品相談窓口までご相談ください。なお、お客様ご自身でランプを廃棄される際は、地域の産業廃棄物の廃棄ルールに従ってください。

特約店様へ



天井への取り付けには細心の注意を要する



- 天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながる場合があります。必ずソニー製または推奨の取付金具を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。また、取り付け時には手をすばらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

低い天井に天吊りしない



頭などをぶつけてけがをすることがあります。



天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する



天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

天吊りする場合の安全上のご注意



天井への取り付け、移動は絶対に自分で行わない



天井への取付は、必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

落下防止をする



天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、必ずお買い上げ店もしくは専門の設置業者へご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（-）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄の場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

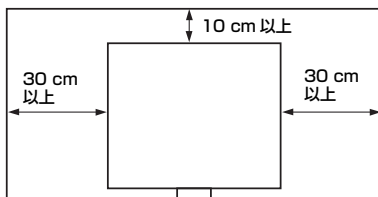
注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

使用上のご注意

設置について

- 図のように、周辺の壁や物から離して設置してください。



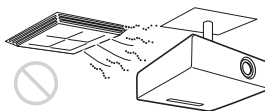
- 左右に 15 度以上傾けて使用しないでください。



- 床置きおよび天吊り以外の設置でお使いになると、色むらやランプ寿命の劣化などの問題が起こることがありますので避けてください。
- 温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。



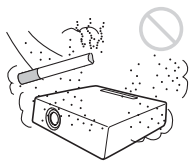
- 空調の冷暖気が直接当たる場所での使用は避けてください。結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。



- 熱感知器や煙感知器のそばでの使用は避けてください。感知器が誤動作する原因となることがあります。



- ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となったりします。



- 海拔 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの高地モードを「入」にしてください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
- 設置する角度に応じて設置設定メニューの設定角度を正しく設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

レンズ、外装のお手入れ

- 必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- レンズを素手で触らないでください。
- レンズ面のお手入れのしかた：
メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入洗浄剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 外装のお手入れのしかた：
柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

部屋の照明について

美しく見やすい画像にするために、直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。

発熱について

使用中、使用直後にキャビネットの温度が上がる場合がありますが、故障ではありません。

スクリーンについて

平坦なスクリーンを使ってください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ランプについて

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、次のような特性があります。

- 使用時間の経過によってランプの明るさが低下します。
 - 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
 - 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。
 - 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなります。
- ランプ交換のメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

持ち運びについて

本機は精密機器です。本機を持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

- ・ お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

電池の使用について

リモコン (RM-PJ8) には、リチウム電池 CR2025 が 1 個必要です。破裂の原因となりますので、リチウム電池 CR2025 以外は使わないでください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

警告

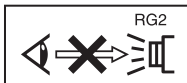
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。

アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。

他の機器には使用できません。



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。RG2 IEC
62471-5:2015

Step 1

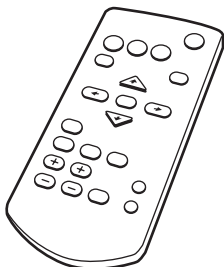
準備する

付属品を確認する

リモコン (RM-PJ8) (1)

リチウム電池 CR2025 (1)

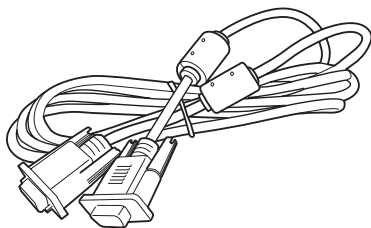
リモコンに装着されています。使用する前に透明のフィルムを引き抜いてください。



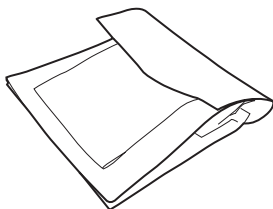
電源コード (1)

ミニ D-sub 15 ピンケーブル (1.8 m)
(1)

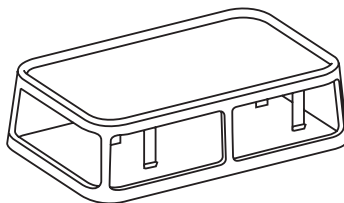
(1-970-584-11/Sony)



キャリングケース (1)



ダストカバー (1)



簡易説明書 (本書) (1)

保証書 (1)

CD-ROM (1)

内容：取扱説明書

CD-ROM マニュアルの使いかた

Adobe Reader がインストールされたコンピュータで、取扱説明書を閲覧できます。

Adobe Reader は、Adobe のウェブサイトから無償でダウンロードできます。

1 CD-ROM に収録されている
index.html ファイルを開く。

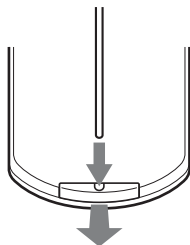
2 読みたい取扱説明書を選択して
クリックする。

◆CD-ROM が破損または紛失した場合は、
お買い上げ店またはソニーのサービス窓
口経由で購入できます。

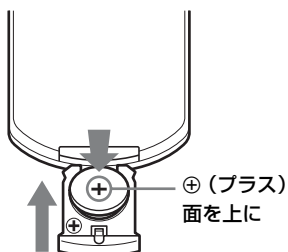
リモコンに電池を入れる

1 リチウム電池入れを引き出す。

図のように細い棒を差し込みながら、電池カバーを手前に引いてください。



2 リチウム電池をはめ込む。



3 リチウム電池入れを差し込む。

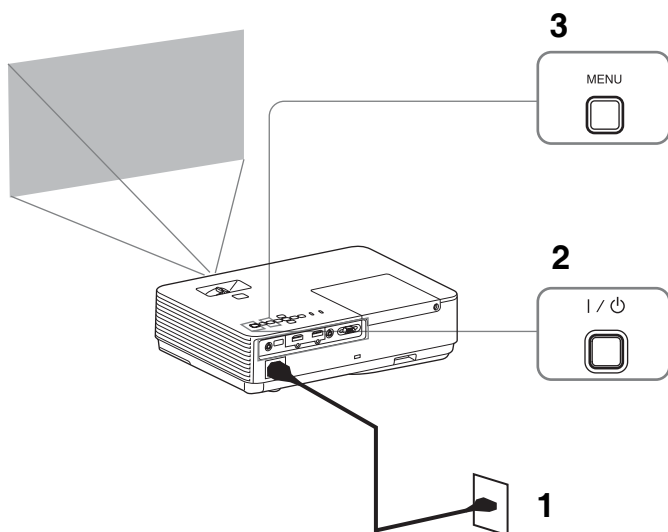


警告

電池については、「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

メニューの表示言語を切り替える

お買い上げ時は、メニュー画面やメッセージの表示言語が英語に設定されています。以下の手順で変更してください。



1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/○ ボタンを押して、電源を入れる。

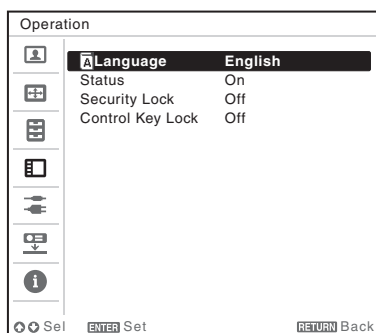
3 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

見えにくい場合は、画面のフォーカス、サイズ、位置を調整してください (21 ページ)。

4 表示言語を切り替える。

① ▲ または ▼ を押して、Operation (操作設定) を選び、ENTER ボタンを押す。

② ▲ または ▼ を押して、「Language」(表示言語) を選び、ENTER ボタンを押す。



③ ▲/▼/◀/▶ を押して、表示言語を選び、ENTER ボタンを押す。

5 MENU ボタンを押し、メニュー画面を消す。

Step 2

接続する

ご注意

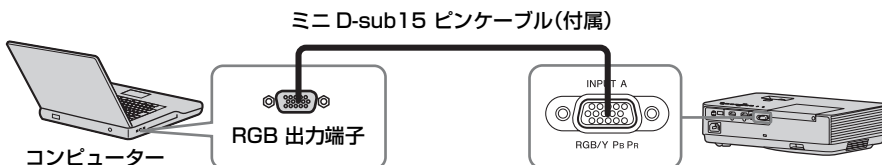
- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

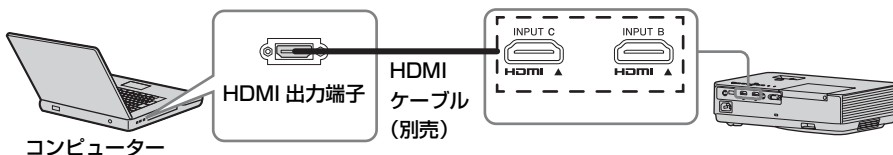
入力 A (INPUT A)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。



入力 B (INPUT B) / 入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。



ご注意

- ・入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer

Electronics Control) 信号には対応していません。

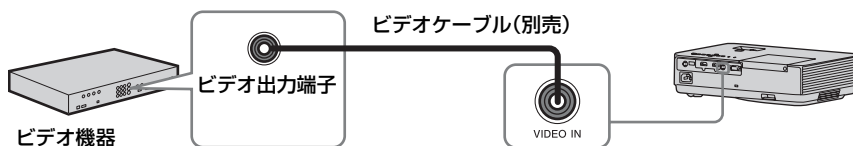
- ・ 投写した映像の解像度は、入力端子により異なる場合があります。
- ・ コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-DX270/DX240/DX220 は 1024 × 768 ピクセル、VPL-DW240 は 1280 × 800 ピクセルに設定することをおすすめします。

ビデオ機器との接続

DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

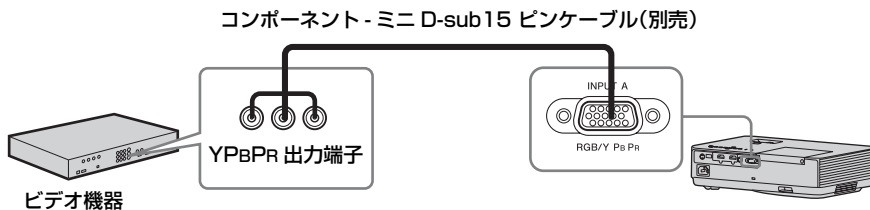
ビデオ (VIDEO)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



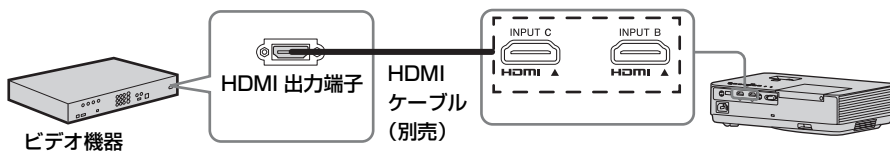
入力 A (INPUT A)

Y P_B P_R 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



入力 B (INPUT B) / 入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



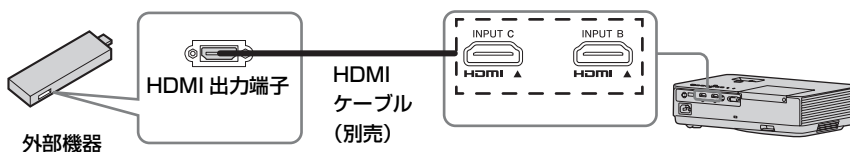
ご注意

- ・ 入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・ HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください (ソニー製を推奨します)。
- ・ 入力 C (INPUT C) 端子の最高解像度は 720p に設定されています。

外部機器との接続

入力 C (INPUT C)

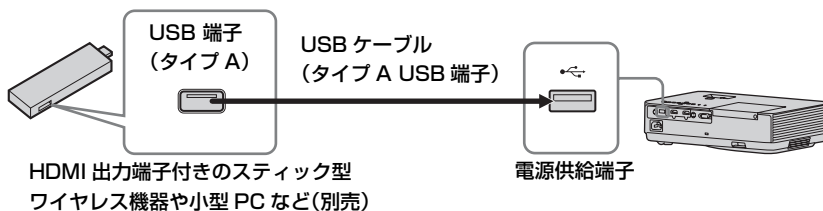
HDMI 出力端子付きの外部機器と接続します。外部機器は、入力 C (INPUT C) に接続してください。



電源を外部機器に供給する

USB ケーブルで本機から外部機器（スティック型の PC など）に電源を供給することができます。（最大 5 V/2 A）

1 USB ケーブル（タイプ A USB 端子）で外部機器を本機に接続する。



ご注意

- ・ 本機の使用に適した仕様の外部機器を使用してください。
- ・ 誤った方法で接続すると、外部機器が故障する恐れがあります。その場合、ソニーは一切責任を負いません。

2 接続／電源設定メニューの「電源供給」を「入」にする。

USB ケーブルを通じて本機から外部機器に電源が供給されます。

ご注意

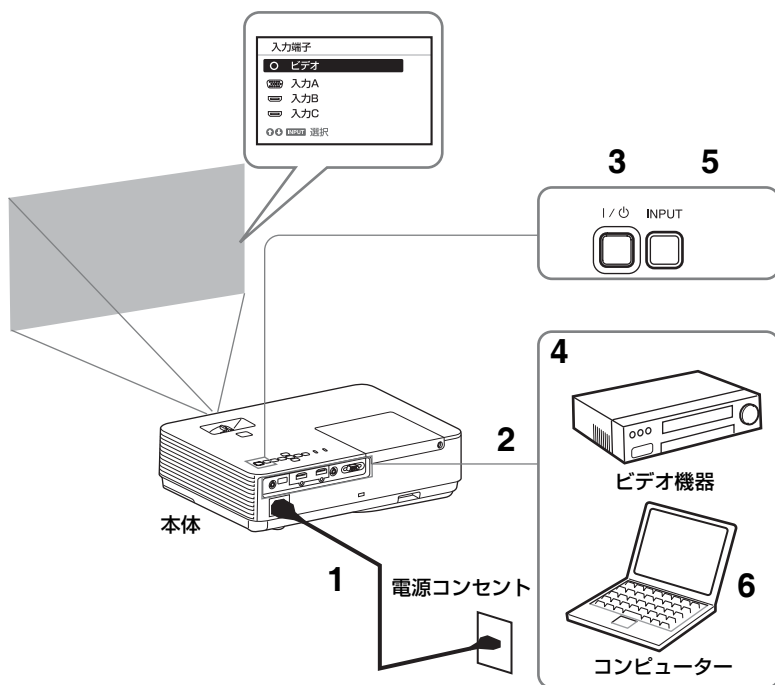
- ・ 入力 C (INPUT C) 対応機種は、VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。
- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・ HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください（ソニー製を推奨します）。
- ・ 入力 C (INPUT C) 端子の最高解像度は 720p に設定されています。

Step 3

投写する

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」をご覧ください。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 再生する機器と接続する。
- 3 I/⏻ ボタンを押して、電源を入れる。
- 4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または ▲/▼ ボタンを押して、投写する映像を選びます。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

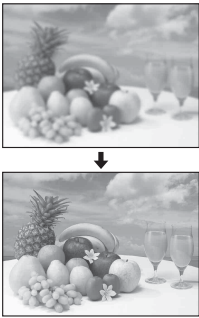
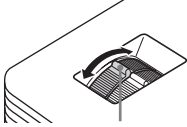
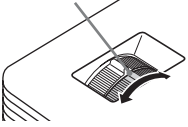
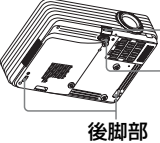
出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。

(例)



7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する (21 ページ)。

映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)	画面の位置
		
 フォーカスリング	ズームリング 	 脚調整ボタン 前脚部 (調整可) 後脚部

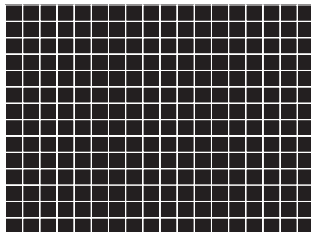
テンプレート、調整用パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上にテンプレートや調整用パターンを表示することができます。テンプレートは 4 種類、調整用パターンは 1 種類です。PATTERN ボタンを押すたびに切り替わります。MENU ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

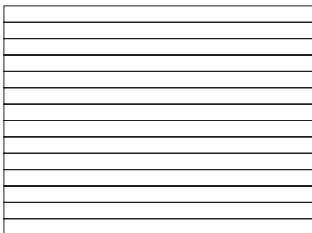
テンプレート 1



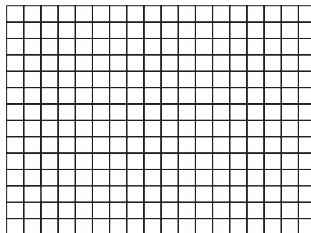
テンプレート 2



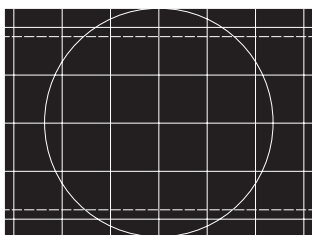
テンプレート 3



テンプレート 4



調整用パターン

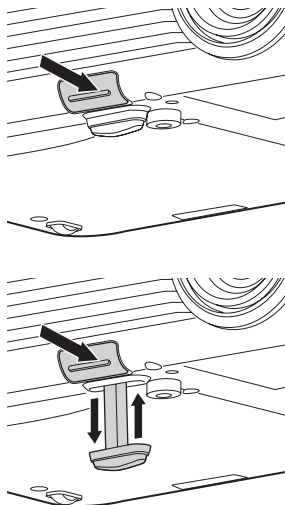


元の画面に戻る

脚調整ボタンによる微調整

脚調整ボタンを使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

- 1 脚調整ボタンを押しながらプロジェクターを持ち上げ、角度を調整します。



- 2 プロジェクターの角度を調整したら、脚調整ボタンを離し、前脚部（調整可）をロックします。

ご注意

- ・ 前脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 前脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。

投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます。

台形になった画面を補正する（キーストーン補正）^{*1}

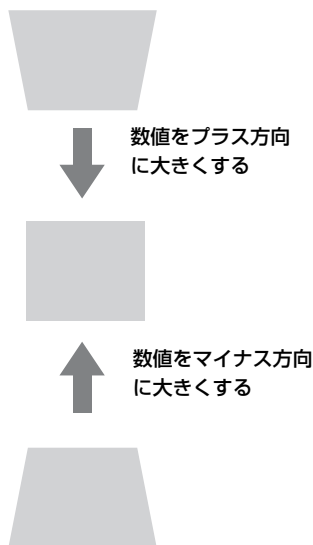
通常は、自動的にオートキーストーン補正機能^{*2}が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

^{*1}：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

^{*2}：VPL-DX270/DX240/DW240 のみ。



コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

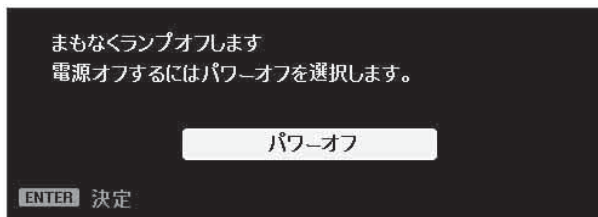
リモコンの APA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます。機能設定のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。メッセージ表示中の 10 秒以内に I/⏻ ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

「電源供給」が「入」になっているとき、電源ボタンを押すと、メッセージが表示されます。約 10 秒後にランプが消灯し、電源供給が継続します。電源供給を停止するときは、「電源オフするにはパワーオフを選択します。」を選択します。



ランプを再度点灯させる場合は、メッセージ表示中に電源ボタンを押してください。

ご注意

ランプ点灯後は、すぐに電源を切らないでください。ランプが点灯しないなど、故障の原因になる恐れがあります。

2 電源コードを抜く。

確認メッセージを出さずに電源を切る

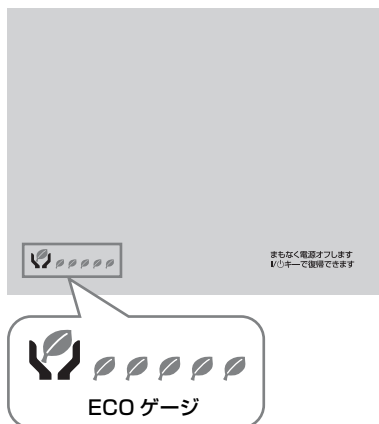
本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。

ご注意

ランプ点灯直後に電源オフの操作をすると、確認メッセージが表示され、電源オフまでの時間が通常よりも長くなることがあります。

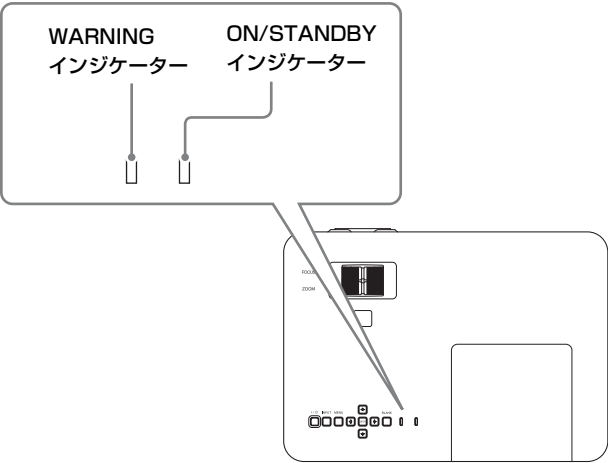
ECO ゲージ

本機の ECO 機能が効果的に活用されたかを表す指標です。(ECO 機能については、「ECO モードボタン」、「省エネ設定」をご覧ください。) ECO 機能の設定により省電力が達成された度合いによって、シャットダウン時に葉マークの枚数で表示されます。



インジケータの見かた

本機では、ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯・点滅により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。インジケータが赤色に点滅している場合には、「警告表示と対処方法」(28 ページ) に従って対処してください。



動作状態の表示

インジケータの状態	動作状態	意味
 (消灯) (赤点灯)	スタンバイ	本機の電源が入っており、待機状態です。
 (消灯) (緑点滅)	起動準備中	本機に電源が入り、操作可能になるまでの間の時間です。
 (消灯) (緑点灯)	電源オン	映像が投写できる状態です。
 (消灯) (オレンジ点滅)	冷却中	電源を切った後、本機を冷却している状態です。
 (消灯) (オレンジ点灯)	待機	ランプが消灯している状態です。

警告表示と対処方法

インジケータの状態	点滅回数	意味	対処方法
 (赤点滅) (赤点灯)	2 回	ランプカバーが確実に取り付けられていません。	ランプカバーの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。
	3 回	ランプが正常に点灯しません。	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、再度電源を切り、ランプを取り出して (29 ページ)、ランプが割れていないか確認してください。 割れていないときはランプを再度取り付けて、もう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合はランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください (29 ページ)。 割れているときはご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
 (赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅	2 回	本機内部の温度が異常です。	・ エアークリファイルターが目詰まりしていないか確認し、フィルタを掃除または交換してください。(29 ページ) ・ 排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、充分な間隔を確保してください。 ・ 本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。

上記以外のインジケータ点滅時には電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください。

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合は、新しいランプに交換してください。
ランプは、プロジェクターランプ LMP-D214（別売）をお使いください。

⚠ 警告

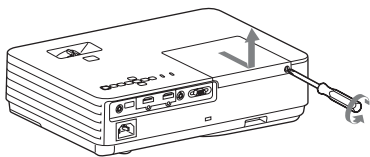
- ・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを十分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと1時間以上たってからランプを交換**してください。
- ・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠ 注意

- ・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

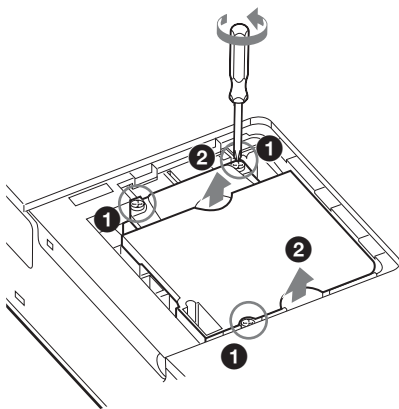
2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1本）をゆるめ、ランプカバーを開く。



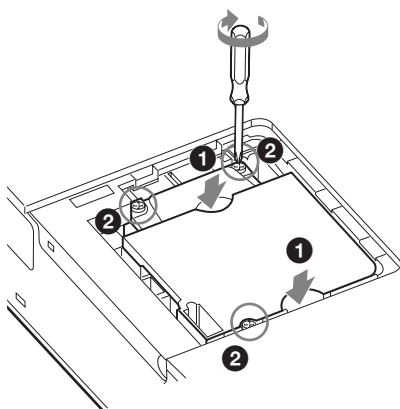
⚠ ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

3 ランプのネジ（3本）をゆるめ、指かけのくぼみを掴んでランプを取り出す。



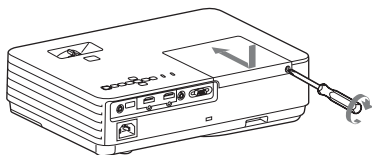
4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（3 本）を締める。



ご注意

- ・ ランプのガラス面および導線部には触れないようご注意ください。
- ・ ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

5 ランプカバーを閉じ、ネジ（1 本）を締める。



6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。

7 ランプタイマーの初期化を行う。

次回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。機能設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER ボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。

エアフィルターを掃除する

投写画面に表示されるメッセージにエアフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください。

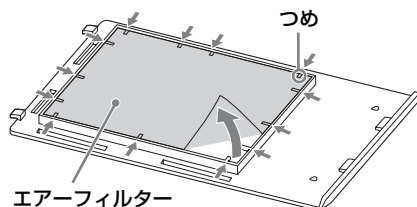
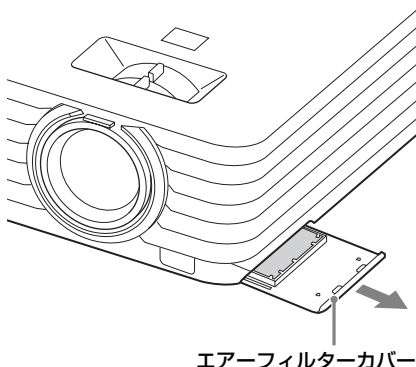
エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

メッセージが表示された後に、そのまま使用し続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 エアフィルターカバーを引き出して取り出す。
- 3 掃除機でエアフィルターを掃除する。

エアフィルターを引き出して取り出し、掃除機で掃除してください。



- 4 エアフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

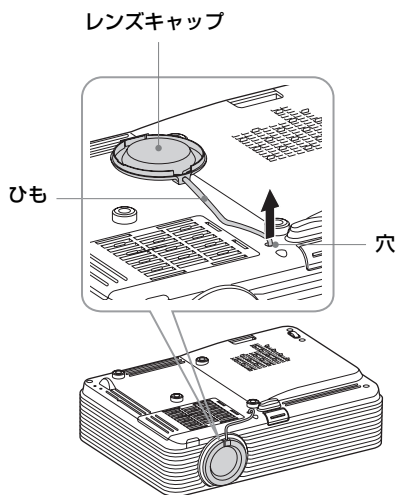
目の粗い面が本機底面に向くようにエアフィルターを戻し、フィルターを元の位置に差し込んでください。

天吊り時の使いかた

レンズキャップをはずす

天吊りで使用するときにはレンズキャップが必要ない場合は、取りはずしてください。

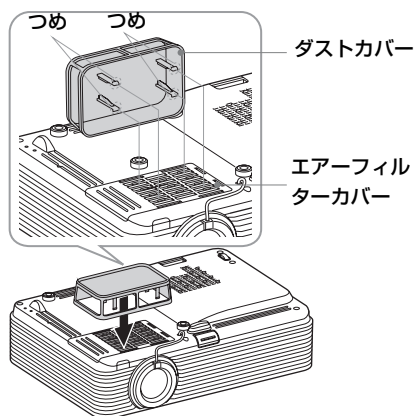
レンズキャップのひもを少し強く引くと、取りはずすことができます。レンズキャップが必要になったときは、ひもの先端を穴に差し込んでください。



ダストカバーを取り付ける

天吊りで使用するとき、埃がエアフィルターに溜まるのを防ぐためにダストカバーを取り付けることができます。

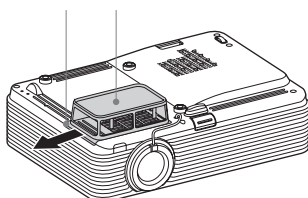
エアフィルターカバーを覆うようにダストカバーを置き、ダストカバーの内側にあるつめ（4つ）をエアフィルターカバーの穴に差し込んでください。



エアーフィルター周辺の掃除のしかた

- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 きれいな布でダストカバーの汚れを拭き取る。
- 3 ダストカバーを装着したままエアーフィルターカバーを引き出す。

エアーフィルターカバー ダストカバー

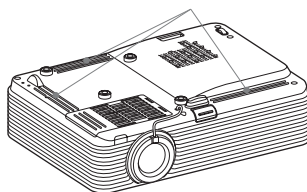


- 4 ダストカバーとエアーフィルターカバーを掃除機で掃除する。
- 5 エアーフィルターを取りはずし、掃除機でエアーフィルターを掃除する。
詳しくは、「エアーフィルターを掃除する」の手順3（31 ページ）をご覧ください。
- 6 エアーフィルター、エアーフィルターカバー（およびダストカバー）を元の位置に戻す。

本機の持ち運びかた

本機を持ち運ぶ場合は、落下防止のために滑り止め部分をしっかりとつかってください。

滑り止め部分



About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the basic operations for projecting pictures. It also describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this unit.

Refer to “Indicators,” “Cleaning the Air Filter,” as necessary.

For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Step 1

PreparingPage 10

Step 2

ConnectingPage 13

Step 3

ProjectingPage 16

IndicatorsPage 23

Replacing the LampPage 25

Cleaning the Air FilterPage 27

**When Using the Projector by Mounting It to a
CeilingPage 28**

Carrying the unitPage 29

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING
THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.

Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

Installing batteries

One lithium battery (CR2025) is supplied for the RM-PJ8 Remote Commander. To avoid risk of explosion, use a lithium battery (CR2025).

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

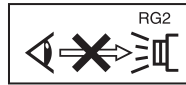
WARNING

- 1 Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
- 2 Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.



As with any bright light source, do not stare into the beam, RG2 IEC 62471-5: 2015.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of part 15 of FCC Rules.

GB

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>

Declaration of Conformity

Trade Name : SONY
Model : VPL-DX270
VPL-DX240
VPL-DX220
VPL-DW240
Responsible party : Sony Electronics Inc.
Address : 16535 Via Esprillo,
San Diego, CA
92127 U.S.A.
Telephone Number: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

For the customers in Taiwan only



廢電池請回收

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate

For the Customers in Brazil only DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Pilhas e Baterias não recarregáveis Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

Інформація для споживачів в Україні.

Обладнання відповідає вимогам:

- Технічного регламенту обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні (постанова КМУ від 03/12/2008 № 1057).

**Türkiye'deki müşteriler için
AEEE Yönetmeliğine Uygundur**

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sony.com/psa/warranty> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resources-warranty-product-registration> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty.
Please visit <http://www.pro.sony.eu/warranty> for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

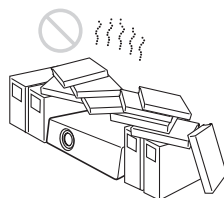
SONY LIMITED WARRANTY - Please visit <http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start> for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the front foot when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the front foot out.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult with qualified Sony personnel (charged).

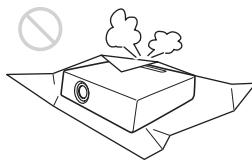
- If the ventilation holes are blocked, internal heat builds up, and it may cause a fire or damage the unit. To allow adequate air circulation and prevent internal heat build-up, follow the items below:
- Leave space around the unit (page 7).



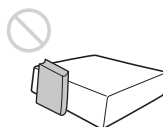
- Avoid using something to cover the ventilation holes (exhaust/intake).



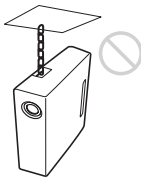
- Do not place the unit on surfaces such as an original packing sheet, soft cloth, papers, rugs, or scraps of paper. The ventilation holes may take in such materials.



- Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the picture muting function to cut off the picture.



- Do not use the Security bar for the purpose of preventing theft for transporting or installing the unit. If you lift the unit by the Security bar or hang the unit by this bar, it may cause the unit to fall and be damaged, and may result in personal injury.



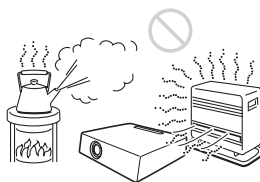
For dealers

- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

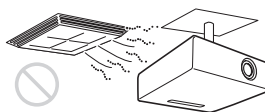
Safety precautions for installing the unit on a ceiling

- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult with qualified Sony personnel (charged).
- When installing the unit on a ceiling, be sure to use a safety wire, etc., to prevent the unit from falling. Entrust the installation to an experienced contractor or installer.

- Avoid using the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.



- Avoid installing the unit in a location subject to direct cool or warm air from an air-conditioner. Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

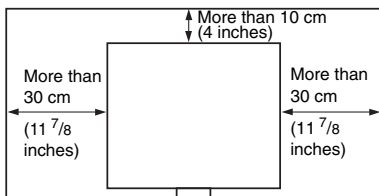


- Avoid installing the unit in a location near a heat or smoke sensor. Installing in such a location may cause malfunction of the sensor.



On Installation

- When installing the unit, leave space between any walls, etc. and the unit as illustrated.



- Avoid using if the unit is tilted more than 15 degrees horizontally.



- Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it.



- When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set “High Altitude Mode” to “On” in the Installation menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

On cleaning the lens and the cabinet

- Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet before cleaning.
- If you rub on the unit with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the unit is exposed to volatile materials such as insecticide, or the unit is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the unit may deteriorate or the coating may come off.
- Do not touch the lens with bare hands.
- On cleaning the lens surface:
Wipe the lens gently with a soft cloth, such as a glass cleaning cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with water. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.
- On cleaning the cabinet:
Clean the cabinet gently with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a soft cloth lightly dampened with mild detergent solution and wrung, followed by wiping with a soft dry cloth. Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or a chemical cleaning cloth.

On Illumination

To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.

On Heat Dissipation

The temperature of the projector’s cabinet may increase during or immediately after use; however, this is not a malfunction.

On Screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

On Fan

Since the projector is equipped with a fan inside to prevent internal temperature from rising, there may be some noise. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction. If, however, in a case of abnormal noise, consult with qualified Sony personnel.

On Lamp

The lamp used as a light source contains mercury that has high internal pressure. A high-pressure mercury lamp has the following characteristics:

- Brightness of the lamp will be lowered as the elapse of time used.
- The lamp may break with a loud noise as a result of shock, damage, or deterioration caused by the elapse of time. The lamp may become unlit and may burn out.
- The lamp life varies with individual differences or usage conditions of each lamp. Therefore, it may break or will not light even before the specified replacement time.
- It may possibly break after the replacement time has elapsed. Replace the lamp with a new one as soon as possible if a message displayed on the projected image, even if the lamp normally lights.

For carrying

This unit is precision equipment. When carrying the unit, do not subject the unit to shocks, or fall. It may damage the unit.

On LCD Projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.

Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

On Condensation

If the room temperature where the projector is installed changes rapidly, or if the projector is moved suddenly from a cold to a warm place, condensation in the projector may occur. As the condensation may cause malfunction, be careful in adjusting temperature settings of the air conditioner. If condensation occurs, leave the projector turned on for about two hours before use.

Notes

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Step 1

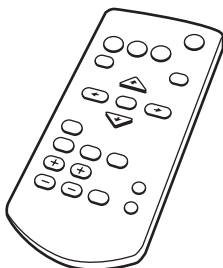
Preparing

Checking the Supplied Accessories

RM-PJ8 Remote Commander (1)

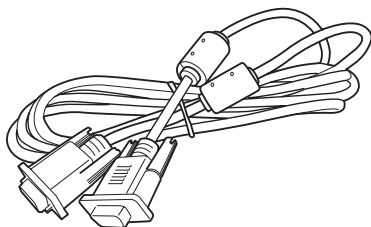
Lithium battery (CR2025) (1)

The battery is already installed. Before using the remote commander, remove the insulation film.

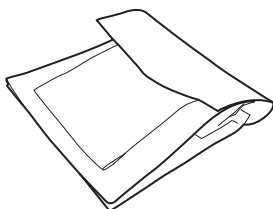


AC power cord (1)

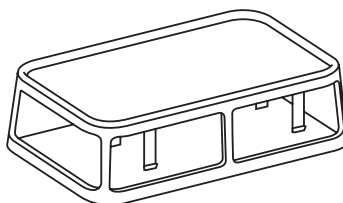
Mini D-sub 15 pin cable (1.8 m) (1)
(1-970-584-11/Sony)



Carrying case (1)



Dust cover (1)



Quick Reference Manual (this manual) (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Using the CD-ROM manual

The manual can be read on a computer with Adobe Reader installed.

You can download Adobe Reader free from the Adobe website.

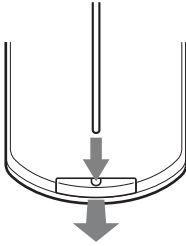
- 1 Open the index.html file in the CD-ROM.
- 2 Select and click on the manual that you want to read.

Note

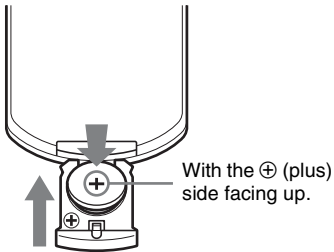
If you have lost or damaged the CD-ROM, you can purchase a new one from your Sony dealer or Sony service counter.

Installing Batteries

- 1** Pull out the lithium battery compartment.
Pull out the battery compartment with a stick as shown in the illustration.



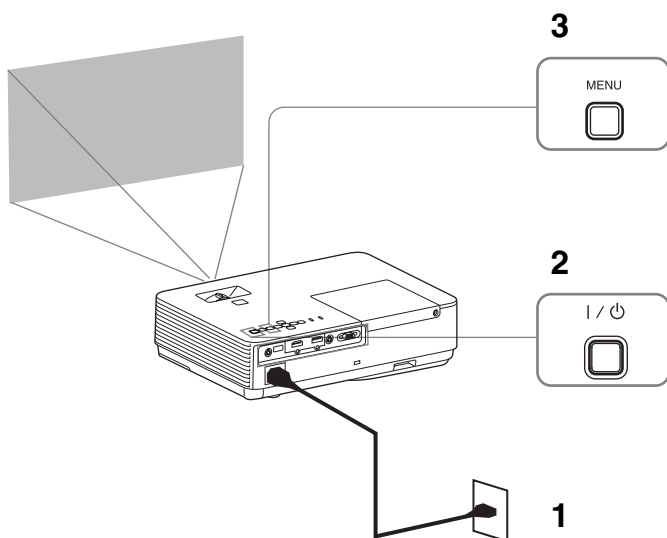
- 2** Insert a lithium battery.



- 3** Close the lithium battery compartment.

Selecting the Menu Language

The factory setting for the language for displaying menus, messages, etc. is English. To change the on-screen language, proceed as follows:



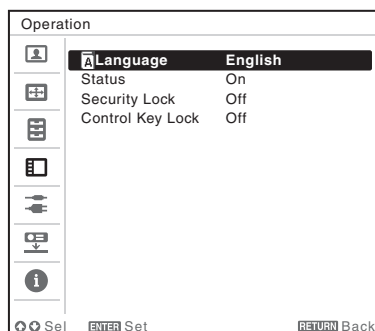
1 Plug in the AC power cord into a wall outlet.

2 Turn on the projector.
Press the I / ⏻ key.

3 Press the MENU key to display the menu.
If the display cannot be properly seen, adjust the focus, size, and position of the projected image (page 17).

4 Select the menu language.

- ① Press the ▲ or ▼ key to select the Operation () menu then press the ENTER key.
- ② Press the ▲ or ▼ key to select "Language ()" then press the ENTER key.



③ Press the ▲/▼/◀/▶ key to select a language, then press the ENTER key.

5 Press the MENU key to turn off the menu screen.

Step 2

Connecting

Notes

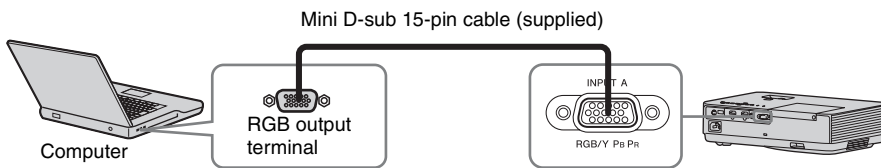
- Make sure all the equipment is powered off when connecting the projector.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly; Loose connections may reduce performance of picture signals or cause a malfunction. When pulling out a cable, be sure to grip it by the plug, not the cable itself.
- For more information, refer also to the instruction manuals of the equipment you are connecting.
- Use a no-resistance audio cable.

Connecting a Computer

Connection with a computer is explained for each input signal.

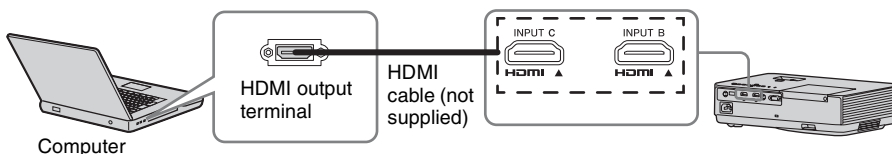
INPUT A

For connecting a computer with an RGB output terminal.



INPUT B/INPUT C

For connecting a computer with an HDMI output terminal.



Notes

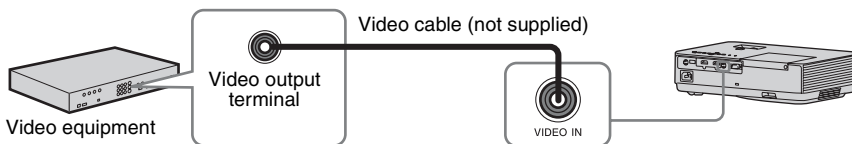
- Only VPL-DX270/DX240/DW240 has the INPUT C terminal.
- Use HDMI-compatible equipment and cable(s) that have an HDMI logo on them.
- Use a high speed HDMI cable(s) on which the cable type logo is specified. (Sony products are recommended.)
- The HDMI terminal of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) Signal or CEC (Consumer Electronics Control) Signal.
- The resolutions of the projected image may vary depending on the input terminals.
- It is recommended that you set the resolution of your computer to 1024 × 768 pixels (VPL-DX270/DX240/DX220) or 1280 × 800 pixels (VPL-DW240) for the external monitor.

Connecting a Video equipment

Connections with a DVD player or BD player are explained for each input signal.

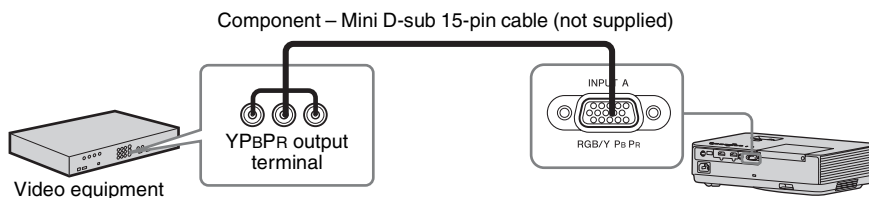
VIDEO

For connecting video equipment with a video output terminal.



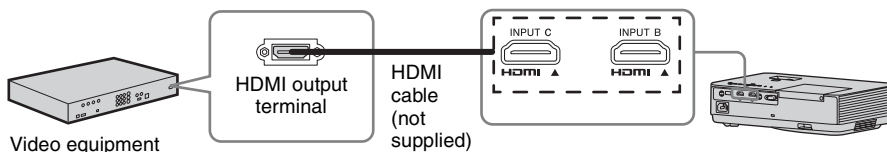
INPUT A

For connecting video equipment with a YPbPr output terminal.



INPUT B/INPUT C

For connecting video equipment with an HDMI output terminal.



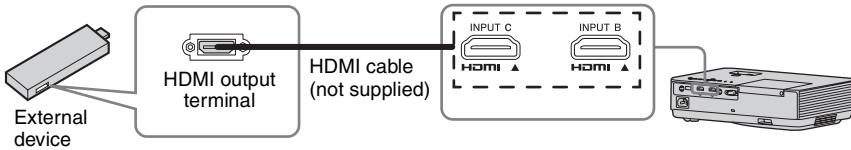
Notes

- Only VPL-DX270/DX240/DW240 has the INPUT C terminal.
- Use HDMI-compatible equipment and cable(s) that have an HDMI logo on them.
- The HDMI terminal of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) Signal or CEC (Consumer Electronics Control) Signal.
- Use a high speed HDMI cable(s) on which the cable type logo is specified. (Sony products are recommended.)
- The maximum resolution of the INPUT C terminal is set to 720p.

Connecting to an external device

INPUT C

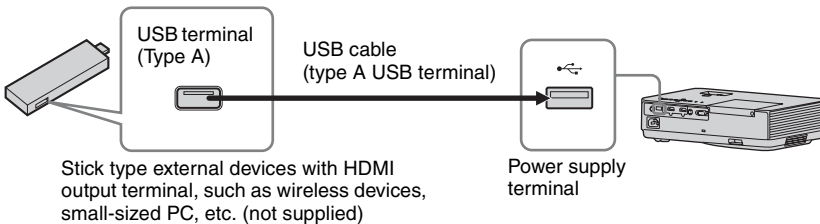
For connecting an external device with an HDMI output terminal. Connect the external device to INPUT C.



Supplying the power to the external device

The unit supplies power (5V/2A maximum) via the USB cable to the external device (stick type PC, etc.).

- 1 Connect the unit to the external device using the USB cable (with type A USB terminal).



Notes

- Use external devices with the appropriate specification for using this unit.
- If you connect the unit in wrong ways, the external device may cause a malfunction. In this case, Sony assumes no responsibility.

- 2 Set “Power Supply” to “On” in the Connection/Power menu.
The unit supplies power to the external device through the USB cable.

Notes

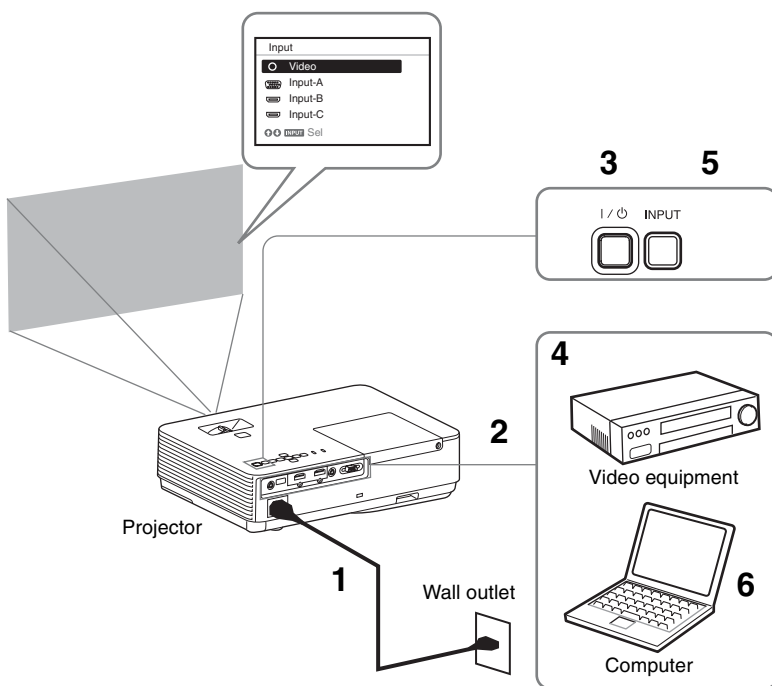
- Only VPL-DX270/DX240/DW240 has the INPUT C terminal.
- Use HDMI-compatible equipment and cable(s) that have an HDMI logo on them.
- The HDMI terminal of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) Signal or CEC (Consumer Electronics Control) Signal.
- Use a high speed HDMI cable(s) on which the cable type logo is specified. (Sony products are recommended.)
- The maximum resolution of the INPUT C terminal is set to 720p.

Step 3

Projecting

Projecting an Image

The size of a projected image depends on the distance between the projector and screen. Install the projector so that the projected image fits the screen size. For details on projection distances and projected image sizes, see “Projection Distance.”



1 Plug the AC power cord into the wall outlet.

2 Connect all equipment to the projector.

3 Press the **I/⏻** key to turn on the unit.

4 Turn on the connected equipment.

5 Select the input source.

Press the **INPUT** key on the projector to display the menu for switching input signal on the screen. Press the **INPUT**

key repeatedly, or press the **▲/▼** key to select an image to be projected.

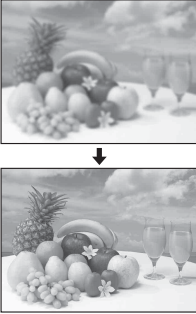
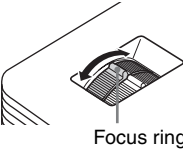
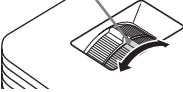
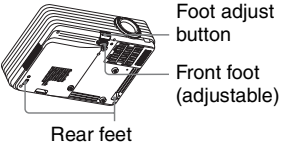
6 When projecting a computer image, switch your computer's output to external display. The method to switch the output varies depending on the type of computer.

(Example)



7 Adjust the focus, size and position of the projected image (page 17).

Adjusting the Projected image

Focus	Size (Zoom)	Position
		
 Focus ring	 Zoom ring	 Foot adjust button Front foot (adjustable) Rear feet

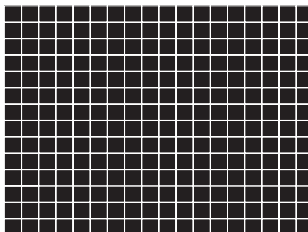
Display the templates and patterns for adjusting an image

Press the PATTERN key of the remote control to display the templates and patterns for adjusting an image on the projected image. There are four templates and one pattern. Every time you press the PATTERN key, the templates/pattern switch. Press the MENU button to return to the previous image.

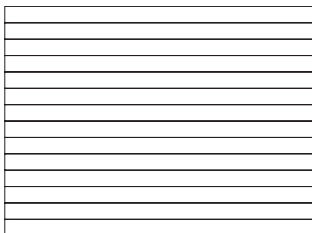
Template 1



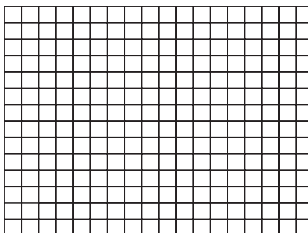
Template 2



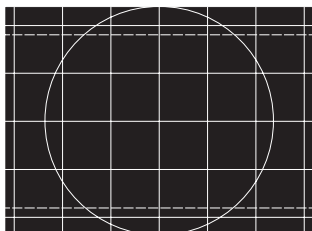
Template 3



Template 4



Pattern for adjusting an image

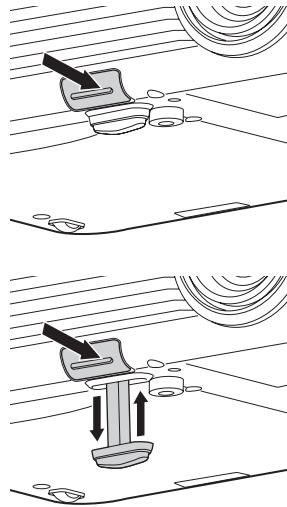


Returns to the previous image.

Adjusting with the foot adjust button

You can adjust the position of the projected image by tilting the projector with the foot adjust button.

- 1 Press and hold the foot adjust button, then lift up the front of the projector to adjust the angle.



- 2 When the desired angle is achieved, release the foot adjust button to lock the position.

Notes

- Be careful not to let the projector down on your fingers.
- Do not push hard on the top of the projector with the front foot (adjustable) extended.

Changing the aspect ratio of the projected image

Press the ASPECT key on the remote commander to change the aspect ratio of the projected image. You can also change the setting in Aspect of the Screen menu.

Correcting trapezoidal distortion of the projected image (Keystone feature) ^{*1}

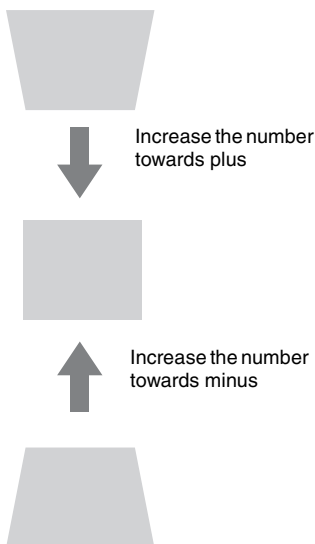
Keystone feature may not work automatically ^{*2} when the screen is tilted. In this case, set keystone manually.

- 1 Press the KEYSTONE key on the remote commander or select V Keystone in the Installation menu.
- 2 Use the $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ the keys to set the value. The higher the value, the narrower the top of the projected image. The lower the value, the narrower the bottom.

Notes

*1: Since the Keystone adjustment is an electronic correction, the image may be deteriorated.

*2: VPL-DX270/DX240/DW240 only.

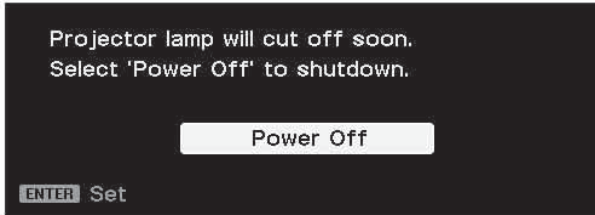


Automatically adjusts Phase, Pitch and Shift of projected image while a signal is input from a computer (APA (Auto Pixel Alignment))

Press the APA key on the remote commander. Press again to cancel adjusting during the setting. You can also set APA in the Screen Menu. If Smart APA in the Function menu is set to "On", executes APA automatically when a signal is input.

Turning Off the Power

- 1 Press the I/⏻ key on the unit or the remote commander.
The projector starts shutdown and turns off. If you press the I/⏻ key within 10 seconds of the message being displayed, shutdown is canceled.
When “Power Supply” is set to “On,” press start to display the message. After about ten seconds, the lamp will turn off, and the unit continues to supply power. Select “Select ‘Power Off’ to shutdown.” to stop supplying power.



Press the power button while the message is displayed to light the lamp again.

Note

Do not turn off the projector soon after the lamp lights. It may cause a malfunction of the lamp (does not light ,etc.).

- 2 Unplug the AC power cord from the wall outlet.

Turning off without displaying the confirmation message

Press and hold the I/⏻ key on the unit for a few seconds.

Note

If you turn off the unit soon after the lamp is turned on, the confirmation message will be displayed and may take a longer time for the unit to turn off.

To turn off without displaying confirmation message

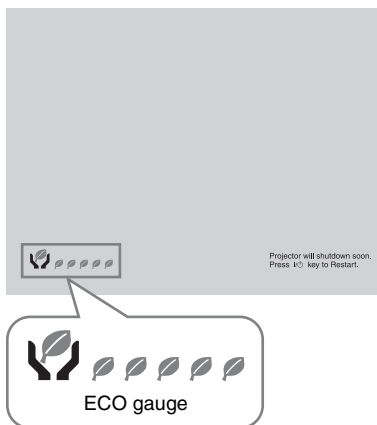
Press and hold the  key on the unit for a few seconds.

ECO gauge

This gauge indicates the current effectiveness of the projector's ECO function.

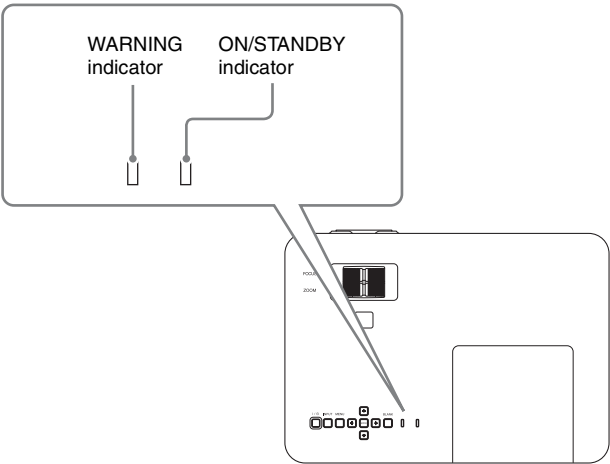
(For details on the ECO function, see “ECO MODE key” and “ECO.”)

The leaf icons are displayed when the projector is shut down. The number of displayed icons varies according to how much energy is saved as a result of using the ECO function.



Indicators

You can check the projector status or abnormality by checking the lighting/flashing status of the ON/STANDBY indicator and WARNING indicator. If the indicators flash in red, address the problem in accordance with “Warning indicators and remedies” (page 24).



Operating status indication

Indicator status	Operating status	Meaning
 (Off) (Lights in red)	Standby	The unit is turned on and in standby mode.
 (Off) (Flashes in green)	Starting the unit	The unit is turned on and is in starting until it is ready to be operated.
 (Off) (Lights in green)	Power on	The projector is ready for projection.
 (Off) (Flashes in orange)	Cooling	The unit is cooling itself after the unit is turned off.

Indicator status	Operating status	Meaning
  (Off) (Lights in orange)	Other standby status	The lamp is turned off.

Warning indicators and remedies

Indicator status	The number of flashes	Meaning	Remedies
  (Flashes in red) (Lights in red)	Twice	The lamp cover is not attached securely.	Check how the lamp cover is attached and install securely.
	Three times	The lamp does not light properly.	The temperature of the lamp is unusually high. Turn off the projector and turn it on again after the lamp has cooled. If the same symptom occurs, turn off the projector again and remove the lamp (page 25), then check if the lamp is not broken. If the lamp is not broken, reattach the lamp and turn on the projector again. If the symptom occurs again, the lamp may be exhausted. In this case, replace the lamp with a new one (page 25). If the lamp is broken, do not exchange the lamp by yourself. Consult a qualified Sony consultant.
 (Flashes in red) (Flashes in red) Both indicators flash	Twice	The temperature in the projector is abnormal.	• Check if the air filter is clogged, then clean or replace it (page 27). • Check if the ventilation holes (intake/exhaust) are not blocked by the wall or an object and secure a sufficient gap. • Check the ambient temperature and use the projector within the range of operating temperature.

If the indicators flash in a manner other than described above, unplug the AC power cord and make sure the ON/STANDBY indicator turns off, then plug the AC power cord into the wall outlet and turn on the projector.

If the problem still persists, consult with qualified Sony personnel.

Replacing the Lamp

Replace the lamp with a new one if a message displayed on the projected image. Use an LMP-D214 projector lamp (not supplied) for replacement.

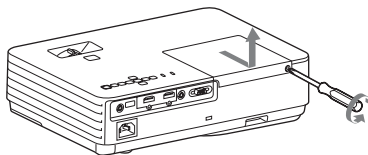
Caution

- The lamp remains hot after the projector is turned off. **If you touch the lamp, you may burn your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour after turning off the projector for the lamp to cool sufficiently.**
- Do not allow any metallic or inflammable objects into the lamp replacement slot after removing the lamp, otherwise it may cause electrical shock or fire. Do not put your hands into the slot.

Notes

- **If the lamp breaks, contact qualified Sony personnel. Do not replace the lamp yourself.**
- When removing the lamp, be sure to pull it out straight, by holding the designated location. If you touch a part of the lamp other than the designated location, you may be burned or injured. If you pull out the lamp while the projector is tilted, the pieces may scatter if the lamp breaks any may cause injury.

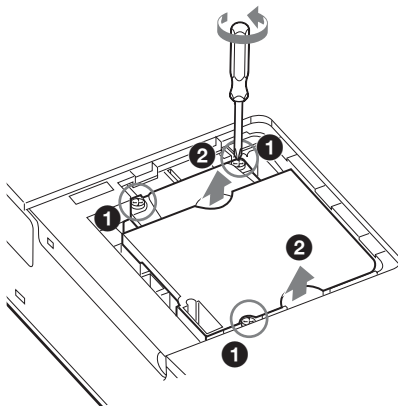
- 1** Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from a wall outlet.
- 2** When the lamp has cooled sufficiently, open the lamp cover by loosening one screw.



Note

For safety reasons, do not loosen any other screws.

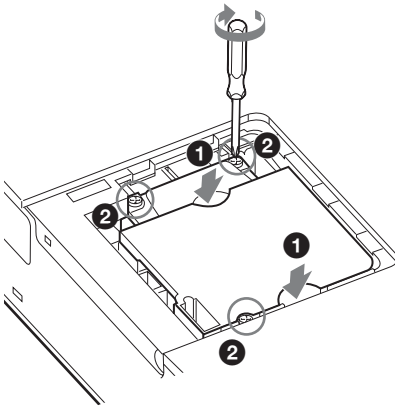
- 3** Loosen the three screws then grab the depressions with your fingers to remove the lamp.



Caution

Do not put your hands into the lamp replacement slot, and do not allow any liquid or other objects into the slot **to avoid electrical shock or fire.**

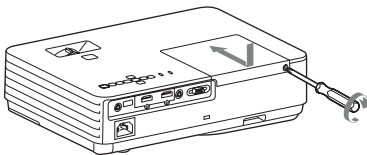
- 4 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place. Tighten the 3 screws.



Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp and a inside conductor.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

- 5 Close the lamp cover and tighten the 1 screw.



- 6 Connect the AC power cord to a wall outlet and turn on the projector.

- 7 Reset the lamp timer for notification of the next replacement time.

Select "Lamp Timer Reset" on the Function menu then press the ENTER key. When a message appears, select "Yes" to reset the lamp timer.

Caution

For the customers in the U.S.A. and Canada

(Hg) Lamp contains mercury. Dispose according to applicable local, state/province and federal laws. For additional information, see www.sony.com/mercury

Cleaning the Air Filter

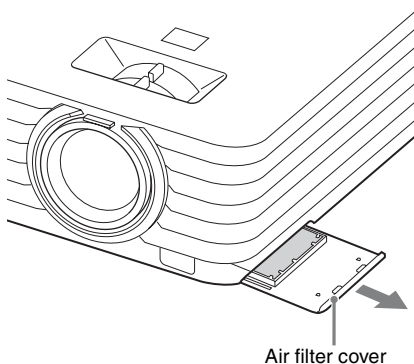
When a message appears on the projected image indicating time for a filter cleaning, clean the air filter.

If the dust cannot be removed from the air filter even after cleaning, replace the air filter with a new one. For details on purchasing/fitting a new air filter, consult with the store where you purchased the projector, or contact qualified Sony personnel.

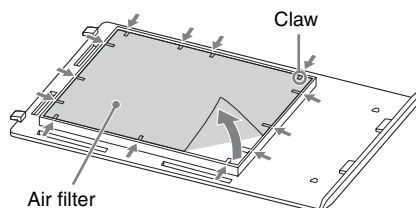
Caution

If you continue to use the projector even after the message is displayed, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.

- 1** Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.
- 2** Slide out and remove the air filter cover from the unit.



- 3** Clean the air filter with a vacuum cleaner.
Pull out and remove the air filter, and clean it with a vacuum cleaner.



- 4** Reattach the air filter cover to the unit.

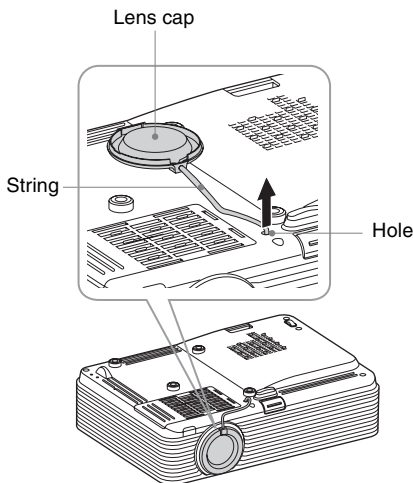
Note

Install the air filter with its open weave side facing the bottom of the unit, then place the air filter cover back in the unit.

When Using the Projector by Mounting It to a Ceiling

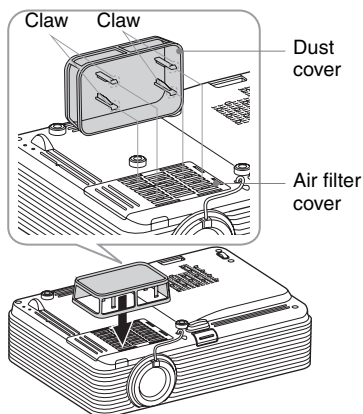
Removing the lens cap

If the lens cap is unnecessary when mounting the unit to the ceiling, remove it. Pull the string of the lens cap a little bit strongly to remove it from the unit. If the lens cap is necessary, insert the edge of the string into the hole.



Attaching the dust cover

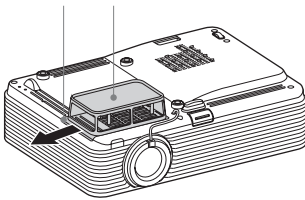
When mounting the projector to the ceiling, you can attach the dust cover to the unit to avoid dust from piling in the air filter. Place the air filter cover so that the dust cover covers the air filter cover then insert the four claws (inside of the dust cover) into the holes of the air filter cover.



Cleaning the air filter and its surroundings

- 1** Turn off the unit, then remove the AC power cord from the wall outlet.
- 2** Wipe the dust cover to remove the dust with a clean cloth.
- 3** Pull out the air filter cover with the dust cover attached to it.

Air filter cover Dust cover

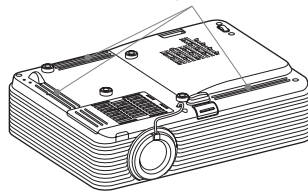


- 4** Clean the dust cover and air filter cover with a vacuum cleaner.
- 5** Remove the air filter then clean it with a vacuum cleaner.
For details, see step 3 in “Cleaning the Air filter” (page 27).
- 6** Reattach the air filter and air filter cover (with the dust cover) to the unit.

Carrying the unit

When carrying the unit, grab its nonslip surfaces to avoid dropping.

Nonslip surface



A propos du Guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide explique les opérations de base de projection des images. Vous y trouverez également des mises en garde et des remarques importantes qu'il convient de respecter au cours de la manipulation et de l'utilisation de cet appareil.

Le cas échéant, reportez-vous à la section « Témoins », « Nettoyage du filtre à air ».

Pour plus d'informations sur l'utilisation, reportez-vous au Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Etape 1

PréparationPage 8

Etape 2

RaccordementPage 11

Etape 3

Projection.....Page 14

Témoins.....Page 21

Remplacement de la lampe.....Page 23

Nettoyage du filtre à airPage 25

**Lorsque vous utilisez le projecteur monté au
plafondPage 26**

Transport de l'appareilPage 27

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Mise en place des piles

Une pile au lithium (CR2025) est fournie pour la télécommande RM-PJ8. Pour éviter tout risque d'explosion, utilisez une pile au lithium (CR2025).

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

AVERTISSEMENT

- 1 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
- 2 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.



Comme pour n'importe quelle source de lumière vive, ne regardez pas fixement le faisceau, RG2 IEC 62471-5: 2015.

Pour les clients au Canada

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY - Rendez-vous sur <http://www.sonybiz.ca/pro/lang/en/ca/article/resourcesw-arranty-product-registration> pour obtenir les informations importantes et l'ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

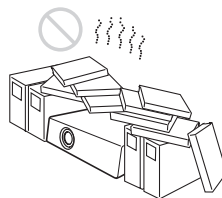
FR

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation ; l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prenez garde de ne pas vous coincer les doigts dans le pied avant lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. N'exercez pas de pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le pied avant est déployé.
- Évitez d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension, car cela risquerait de causer un court-circuit et un accident matériel.
- Prenez garde de ne pas vous coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lorsque vous déplacez le projecteur alors qu'il est installé sur le plancher.
- Ne transportez pas le projecteur sans avoir d'abord fermé le cabinet et le couvercle.

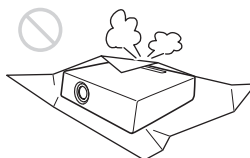
- N'installez pas l'appareil près d'une source de chaleur telle qu'un radiateur ou un conduit d'air, ou dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, très poussiéreux ou humide, ou sujet à des vibrations mécaniques ou chocs.
- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser à un technicien Sony agréé (service payant).
- Si les orifices de ventilation sont obstrués, la chaleur interne augmente et peut entraîner un incendie ou endommager l'appareil. Pour assurer la circulation correcte de l'air et éviter toute surchauffe interne, appliquez les recommandations suivantes :
- Laissez de l'espace libre autour de l'appareil (page 5).



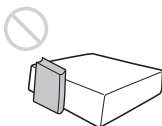
- Évitez de recouvrir les orifices de ventilation (évacuation/admission).



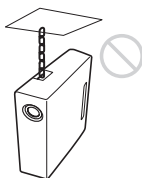
- Ne posez pas l'appareil sur des surfaces telles que sa feuille d'emballage, un linge doux, des journaux, un tapis ou des bouts de papier. Ces matériaux risqueraient d'obstruer les orifices de ventilation.



- Ne placez aucun objet juste devant l'objectif pour éviter de bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque de les endommager. Utilisez la touche de masquage d'image pour couper l'image.



- N'utilisez pas la barre de sécurité comme antivol lors du transport ou de l'installation de l'appareil. Si vous soulevez ou accrochez l'appareil au moyen de la barre de sécurité, il risque de tomber et d'être endommagé, voire de provoquer des blessures.



Pour les revendeurs

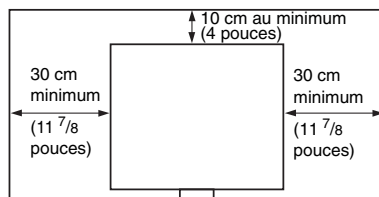
- Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

Précautions de sécurité relatives à l'installation de l'appareil au plafond

- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser à un technicien Sony agréé (service payant).
- Lorsque vous installez l'appareil au plafond, veillez à utiliser un fil de sécurité, par exemple, pour l'empêcher de tomber. Confiez l'installation à un professionnel ou à un installateur expérimenté.

Lors de l'installation

- Lorsque vous installez l'appareil, laissez un espace entre celui-ci et les murs, etc., comme illustré.



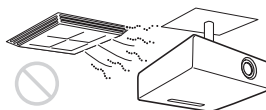
- Évitez d'utiliser l'appareil s'il est incliné de plus de 15 degrés par rapport à l'horizontale.



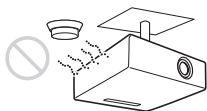
- Évitez d'utiliser l'appareil dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.



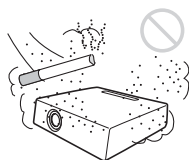
- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur. L'installation dans un tel lieu peut engendrer une défaillance de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.



- Évitez d'installer l'appareil dans un endroit situé à proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée. Cela risquerait de provoquer une défaillance du détecteur.



- N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur.



- Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Installation. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.

Nettoyage de l'objectif et du boîtier

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur avant de procéder au nettoyage.
- Si vous frottez l'appareil avec un chiffon sale, vous risquez de le rayer.
- Si l'appareil est exposé à des substances volatiles telles que des insecticides, ou en cas de contact prolongé avec un produit en caoutchouc ou en résine vinylique, l'appareil risque de se détériorer ou de perdre son revêtement.
- Ne touchez pas l'objectif avec les mains nues.
- Nettoyage de la surface de l'objectif : Essuyez délicatement l'objectif avec un chiffon doux, notamment un chiffon de nettoyage pour vitres. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon

doux légèrement humide. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

- Nettoyage du boîtier :

Nettoyez délicatement le boîtier avec un chiffon doux. Les taches tenaces peuvent être éliminées avec un chiffon doux légèrement imprégné d'une solution détergente neutre. Ensuite, essuyez avec un chiffon doux et sec. N'utilisez jamais de solvant tel qu'alcool, benzène, diluant ou détergent acide, alcalin ou abrasif, pas plus qu'une lingette de nettoyage chimique.

Éclairage

Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.

À propos de la dissipation thermique

La température du boîtier du projecteur peut augmenter pendant ou immédiatement après l'utilisation ; il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

Écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

Ventilateur

Le projecteur renferme un ventilateur qui empêche la température interne d'augmenter et qui peut donc générer du bruit. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement. Toutefois, en cas de bruit anormal, adressez-vous à un technicien Sony agréé.

Lampe

La lampe utilisée comme source de lumière contient du mercure dont la pression interne est très élevée. Une lampe au mercure à haute pression présente les caractéristiques suivantes :

- La luminosité de la lampe diminue au fil de son utilisation.
- La lampe peut cesser de fonctionner avec un bruit violent sous l'effet d'un choc, d'un dégât ou de la détérioration causée par le temps. La lampe peut cesser de briller et sauter.
- La longévité est propre à chaque lampe et varie selon ses conditions d'utilisation. Il est donc possible qu'elle cesse de fonctionner ou qu'elle ne brille plus, même avant le terme de la période de remplacement spécifiée.
- Elle peut aussi cesser de fonctionner au-delà de la période de remplacement prévue. Remplacez la lampe par une neuve dès que possible si un message apparaît sur l'image projetée, même si la lampe brille toujours normalement.

Transport

Cet appareil est un équipement de précision. Lors du transport de l'appareil, ne le soumettez pas à des chocs ou ne le laissez tomber. Ceci peut endommager l'appareil.

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement. Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Remarque concernant la condensation

Si la pièce dans laquelle le projecteur est installé subit de brusques changements de températures ou si vous déplacez le projecteur d'un endroit froid à un endroit chaud, de la condensation peut se former à l'intérieur du projecteur. Étant donné que la condensation peut provoquer un dysfonctionnement, réglez la température de votre climatiseur avec précaution. Si de la condensation se forme, laissez le projecteur allumé pendant deux heures avant de l'utiliser.

Remarques

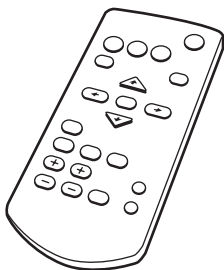
- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les réclamations, quelle qu'elles soient, effectuées par les utilisateurs de cet appareil ou par des tierces parties.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour la cessation ou l'interruption de tout service lié à cet appareil, résultant de quelque circonstance que ce soit.**

Vérification des accessoires fournis

Télécommande RM-PJ8 (1)

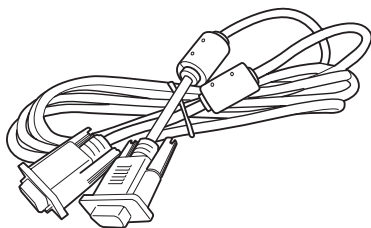
Pile au lithium (CR2025) (1)

La pile est déjà en place. Avant d'utiliser la télécommande, retirez la feuille de plastique isolante.

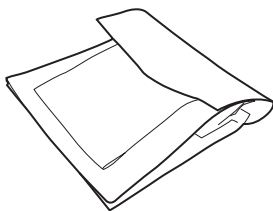


Cordon d'alimentation secteur (1)

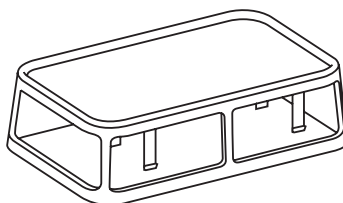
Câble Mini D-sub à 15 broches (1,8 m) (1)
(1-970-584-11/Sony)



Mallette de transport (1)



Cachepoussière (1)



Guide de référence rapide (ce manuel) (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)

Utilisation du manuel sur CD-ROM

Vous devez installer Adobe Reader sur votre ordinateur pour pouvoir lire ce manuel. Vous pouvez télécharger Adobe Reader gratuitement depuis le site Web d'Adobe.

- 1** Ouvrez le fichier index.html situé sur le CD-ROM.
- 2** Sélectionnez le manuel que vous souhaitez lire, puis cliquez sur ce dernier.

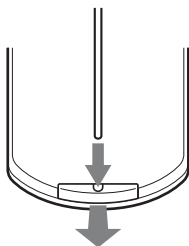
Remarque

Si vous avez perdu ou endommagé le CD-ROM, vous pouvez acheter un CD-ROM de remplacement auprès de votre représentant Sony ou du service clientèle Sony.

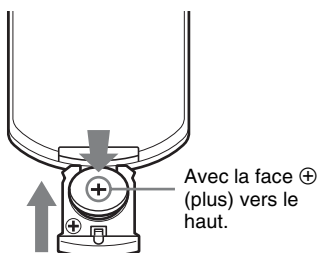
Installation des piles

- 1** Retirez le compartiment de la pile au lithium.

Retirez le compartiment de la pile à l'aide d'une tige, comme illustré sur le schéma.



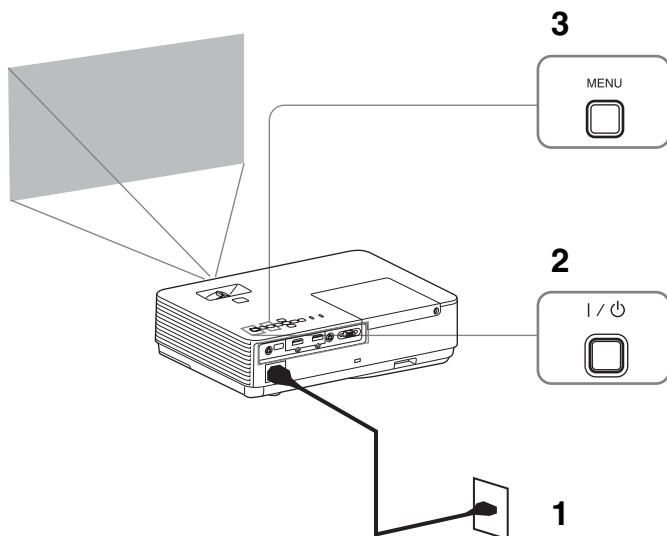
- 2** Insérez une pile au lithium.



- 3** Fermez le compartiment de la pile au lithium.

Sélection de la langue de menu

L'anglais est défini d'origine comme langue d'affichage des menus, des messages, etc.
Pour changer la langue des menus à l'écran, procédez comme suit :



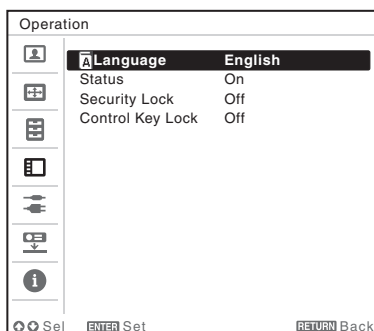
1 Branchez le cordon d'alimentation secteur à la prise murale.

2 Mettez le projecteur sous tension.
Appuyez sur la touche I/Power.

3 Appuyez sur la touche MENU pour afficher le menu.
Si l'affichage n'est pas net, réglez la mise au point, la taille et la position de l'image projetée (page 15).

4 Sélectionnez la langue des menus.

- ① Appuyez sur la touche $\uparrow$ ou $\downarrow$ pour sélectionner le menu Marche (), puis appuyez sur la touche ENTER.
- ② Appuyez sur la touche $\uparrow$ ou $\downarrow$ pour sélectionner « Langage () », puis appuyez sur la touche ENTER.



③ Appuyez sur la touche $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ pour sélectionner la langue, puis appuyez sur la touche ENTER.

5 Appuyez sur la touche MENU pour désactiver l'écran de menu.

Etape 2

Raccordement

Remarques

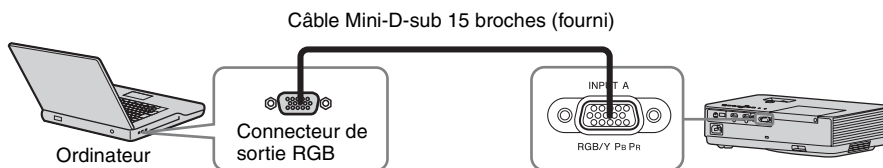
- Veillez à ce que l'équipement soit mis hors tension lors du raccordement du projecteur.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez les fiches de câble à fond ; de mauvais contacts peuvent réduire les performances des signaux d'image. Débranchez les câbles en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le câble lui-même.
- Pour plus d'informations, consultez aussi la documentation de l'appareil à raccorder.
- Utilisez un câble audio sans résistance.

Raccordement d'un ordinateur

Vous trouverez ci-dessous une description du raccordement à un ordinateur pour chaque signal d'entrée.

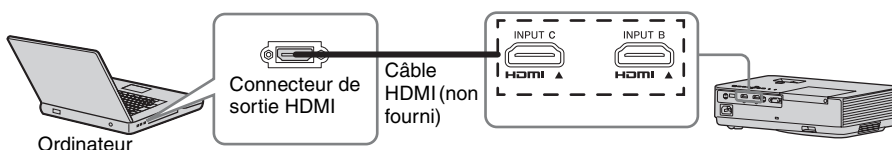
INPUT A

Pour le raccordement à un ordinateur doté d'un connecteur de sortie RGB.



INPUT B/INPUT C

Pour le raccordement à un ordinateur doté d'un connecteur de sortie HDMI.



Remarques

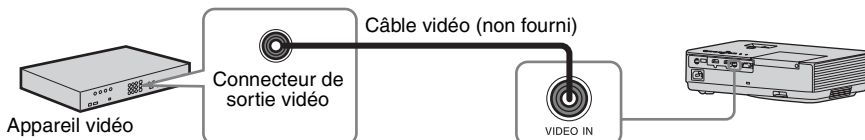
- Seul le VPL-DX270/DX240/DW240 possède la borne INPUT C.
- Utilisez un appareil et un ou des câbles compatibles HDMI qui présentent le logo HDMI.
- Utilisez un ou des câbles HDMI haute vitesse sur lesquels le logo correspondant au type de câble est spécifié. (Nous vous recommandons d'utiliser des produits Sony.)
- Le connecteur HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital – technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control – contrôle « interéléments »).
- La résolution de l'image projetée peut varier en fonction des bornes d'entrée.
- Il est recommandé de régler la résolution de votre ordinateur sur 1024 × 768 pixels (VPL-DX270/DX240/DX220) ou 1280 × 800 pixels (VPL-DW240) pour le moniteur externe.

Raccordement d'un appareil vidéo

Pour chaque signal d'entrée, vous trouverez ci-dessous une description du raccordement à un lecteur DVD ou à un lecteur BD.

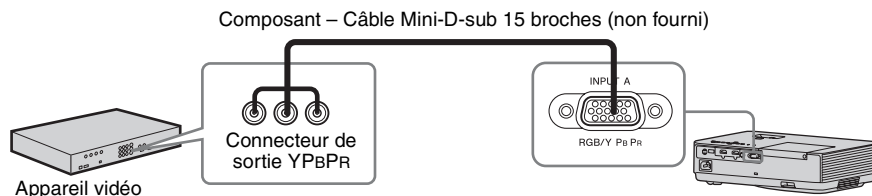
VIDEO

Pour le raccordement à un appareil vidéo doté d'un connecteur de sortie vidéo.



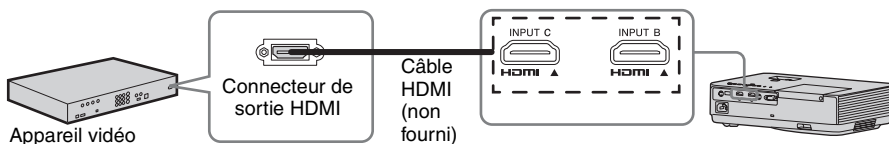
INPUT A

Pour le raccordement à un appareil vidéo doté d'un connecteur de sortie YPbPr.



INPUT B/INPUT C

Pour le raccordement à un appareil vidéo doté d'un connecteur de sortie HDMI.



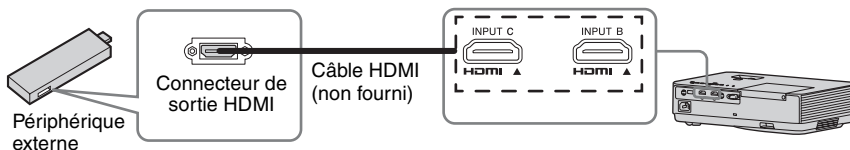
Remarques

- Seul le VPL-DX270/DX240/DW240 possède la borne INPUT C.
- Utilisez un appareil et un ou des câbles compatibles HDMI qui présentent le logo HDMI.
- Le connecteur HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital – technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control – contrôle « interéléments »).
- Utilisez un ou des câbles HDMI haute vitesse sur lesquels le logo correspondant au type de câble est spécifié. (Nous vous recommandons d'utiliser des produits Sony.)
- La résolution maximale de la borne INPUT C est réglée sur 720p.

Raccordement à un périphérique externe

INPUT C

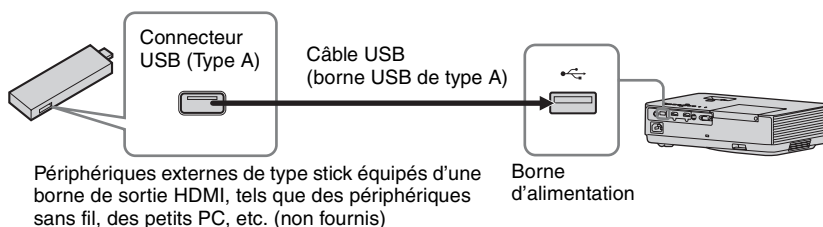
Pour raccorder un périphérique externe à une borne de sortie HDMI. Branchez le périphérique externe sur INPUT C.



Alimentation électrique du périphérique externe

L'appareil fournit l'alimentation électrique (5 V/2 A au maximum) au périphérique externe (PC-on-a-stick, etc.) via le câble USB.

- 1 Raccordez l'appareil au périphérique externe à l'aide du câble USB (avec une borne USB de type A).



Remarques

- Utilisez des périphériques externes disposant des spécifications appropriées pour l'utilisation de cet appareil.
- Si vous raccordez l'appareil de manière incorrecte, le périphérique externe peut provoquer un dysfonctionnement. Dans ce cas, Sony décline toute responsabilité.

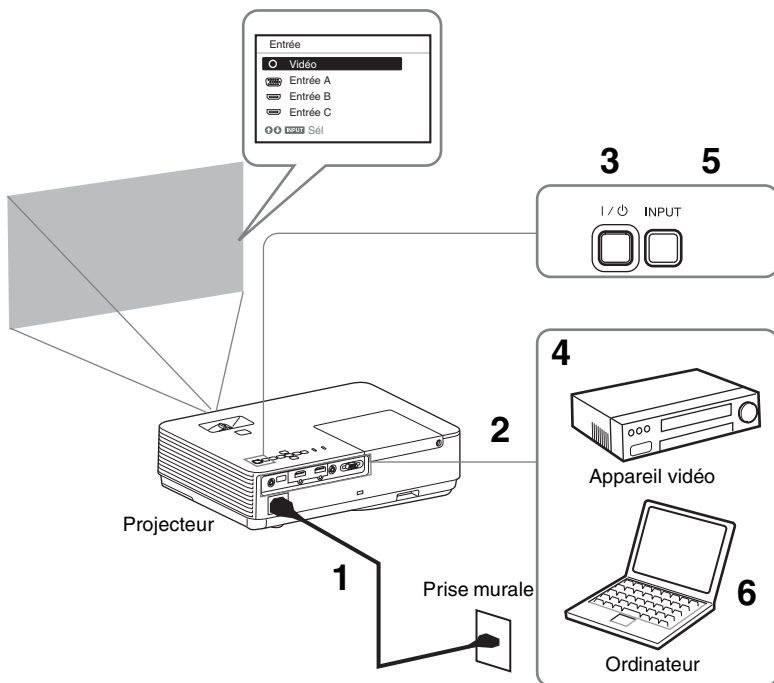
- 2 Réglez « Alim. électr. » sur « On » dans le Menu Connexion/Alimentation.
L'appareil fournit l'alimentation au périphérique externe via le câble USB.

Remarques

- Seul le VPL-DX270/DX240/DW240 possède la borne INPUT C.
- Utilisez un appareil et un ou des câbles compatibles HDMI qui présentent le logo HDMI.
- Le connecteur HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital – technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control – contrôle « interéléments »).
- Utilisez un ou des câbles HDMI haute vitesse sur lesquels le logo correspondant au type de câble est spécifié. (Nous vous recommandons d'utiliser des produits Sony.)
- La résolution maximale de la borne INPUT C est réglée sur 720p.

Projection d'une image

La taille de l'image projetée dépend de la distance entre le projecteur et l'écran. Installez le projecteur de façon à adapter l'image projetée à la taille de l'écran. Pour plus d'informations sur les distances de projection et les tailles de l'image projetée, reportez-vous à la section « Distance de projection ».



- 1** Branchez le cordon d'alimentation secteur à la prise murale.
- 2** Raccordez tous les appareils au projecteur.
- 3** Appuyez sur la touche I/O pour mettre l'appareil sous tension.
- 4** Mettez sous tension l'appareil raccordé.
- 5** Sélectionnez la source d'entrée. Appuyez sur la touche INPUT du projecteur pour afficher le menu permettant de modifier le signal d'entrée à l'écran. Appuyez plusieurs fois sur la touche INPUT ou appuyez sur la touche $\blacktriangle/\blacktriangledown$ pour sélectionner l'image à projeter.
- 6** Lorsque vous projetez les images d'un ordinateur, faites basculer la sortie de l'ordinateur vers l'affichage externe. La méthode de basculement de la sortie dépend du type d'ordinateur.

(Exemple)



7 Réglez la mise au point, la taille et la position de l’image projetée (page 15).

Réglage de l’image projetée

Mise au point	Taille (zoom)	Position
Molette de mise au point	Levier de zoom	Bouton de réglage du pied Pied avant (réglable) Pieds arrière

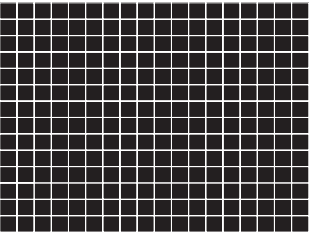
Affichez les gabarits et modèles de réglage d'image

Appuyez sur la touche PATTERN de la télécommande pour afficher les gabarits et modèles de réglage d'image sur l'image projetée. Il existe quatre gabarits et un modèle. Appuyez sur la touche PATTERN pour changer de gabarit/modèle. Appuyez sur la touche MENU pour revenir à l'image précédente.

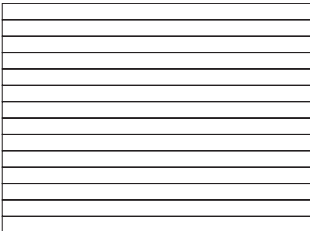
Gabarit 1



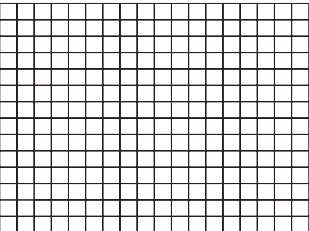
Gabarit 2



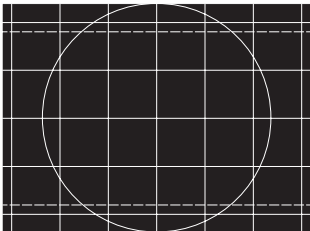
Gabarit 3



Gabarit 4



Modèle de réglage d'image

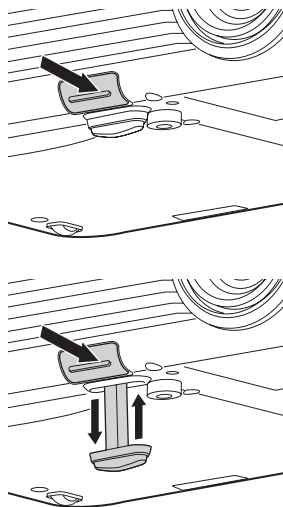


Permet de revenir à l'image précédente.

Ajustement à l'aide du bouton de réglage du pied

Vous pouvez ajuster la position de l'image projetée en inclinant le projecteur à l'aide du bouton de réglage du pied.

- 1 Maintenez enfoncé le bouton de réglage du pied, puis soulevez l'avant du projecteur pour régler l'angle.



- 2 Dès que vous obtenez l'angle souhaité, relâchez le bouton de réglage du pied pour verrouiller la position.

Remarques

- Veillez à ne pas abaisser le projecteur sur vos doigts.
- Évitez d'appuyer fortement sur le dessus de l'appareil lorsque le pied avant (réglable) est déployé.

Modification du rapport de format de l'image projetée

Appuyez sur la touche ASPECT de la télécommande pour modifier le rapport de format de l'image projetée. Vous pouvez également modifier ce réglage dans Aspect du menu Écran.

Correction de la distorsion trapézoïdale de l'image projetée (Fonction trapèze)*1

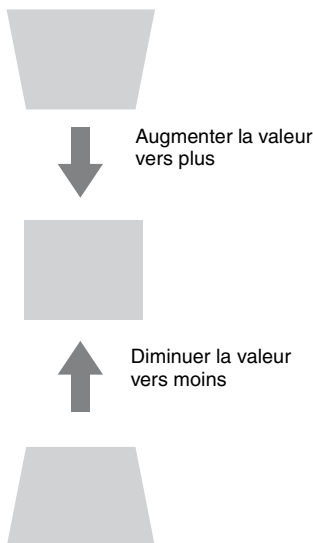
Il se peut que la fonction Trapèze ne fonctionne pas automatiquement*2 lorsque l'écran est incliné. Dans ce cas, réglez manuellement le trapèze.

- 1 Appuyez sur la touche KEYSTONE de la télécommande ou sélectionnez Trapèze V dans le menu Installation.
- 2 Utilisez $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ pour régler la valeur. Plus la valeur est élevée, plus le haut de l'image projetée est étroit. Plus la valeur est faible, plus le bas de l'image est étroit.

Remarques

*1 : Étant donné que le réglage de Trapèze est une correction électronique, l'image peut être altérée.

*2 : VPL-DX270/DX240/DW240 uniquement.



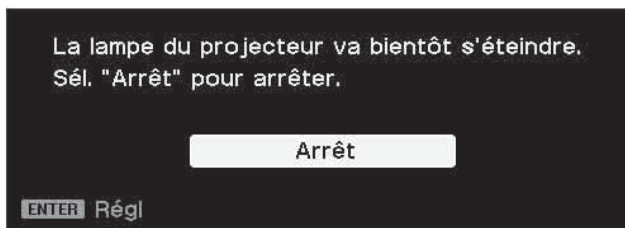
Réglage automatique de la Phase, du Pas et du Déplacement de l'image projetée lors de la réception d'un signal d'ordinateur (APA (alignement automatique des pixels))

Appuyez sur la touche APA de la télécommande. Appuyez à nouveau sur cette touche pour annuler le réglage en cours de paramétrage.

Vous pouvez également régler l'APA dans le menu Écran. Si vous réglez APA intelligent sur « On » dans le menu Fonction, vous pouvez lancer automatiquement l'APA lors de la réception d'un signal.

Mise hors tension

- 1 Appuyez sur la touche I/⏻ de l'appareil principal ou de la télécommande.
Le projecteur s'arrête et se met hors tension. Si vous appuyez sur la touche I/⏻ dans les 10 secondes qui suivent l'affichage du message, l'arrêt est annulé.
Lorsque « Alim. électr. » est réglé sur « On », appuyez sur Démarrer pour afficher le message. Après dix secondes environ, la lampe s'éteint, puis l'appareil continue à fournir l'alimentation électrique. Sélectionnez « Sél. "Arrêt" pour arrêter. » pour couper l'alimentation électrique.



Appuyez sur le bouton d'alimentation lorsque le message demandant de rallumer la lampe s'affiche.

Remarque

Ne mettez pas le projecteur hors tension juste après l'allumage de la lampe. Un dysfonctionnement de la lampe risque de se produire (celle-ci risque de ne pas s'allumer).

- 2 Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.

Mise hors tension sans afficher le message de confirmation

Maintenez enfoncée la touche I/⏻ de l'appareil pendant quelques secondes.

Remarque

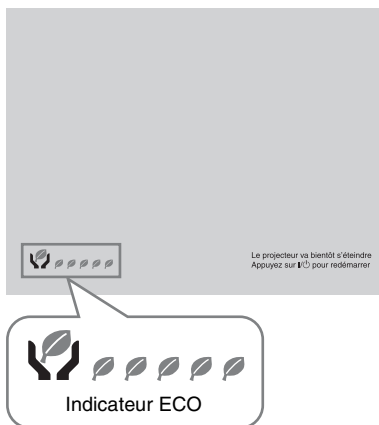
Si vous mettez l'appareil hors tension peu de temps après l'extinction de la lampe, un message de confirmation s'affiche et la durée de mise hors tension de l'appareil peut être prolongée.

Mise hors tension sans afficher de message de confirmation

Maintenez enfoncée la touche I/⏻ de l'appareil pendant quelques secondes.

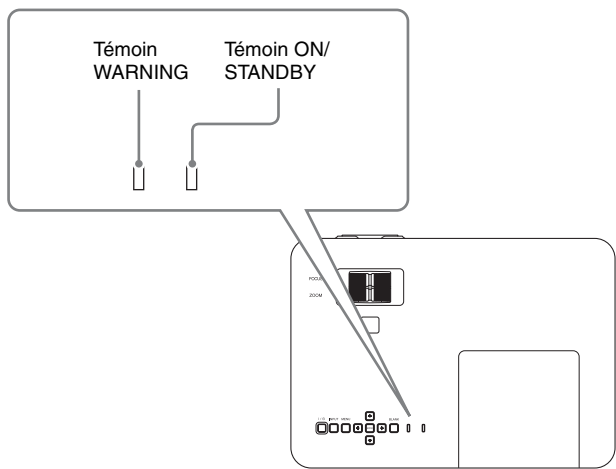
Indicateur ECO

Cet indicateur mesure l'efficacité actuelle de la fonction ECO du projecteur. (Pour plus de détails sur la fonction ECO, reportez-vous aux rubriques « Touche ECO MODE » et « ECO ».) Les icônes en forme de feuille s'affichent lorsque le projecteur est éteint. Le nombre d'icônes affichées varie selon la quantité d'énergie économisée suite à l'utilisation de la fonction ECO.



Témoins

Vous pouvez vérifier l'état du projecteur ou une anomalie en vérifiant l'état d'éclairage/de clignotement du témoin ON/STANDBY et du témoin WARNING. Si les témoins clignotent en rouge, reportez-vous à la section « Témoins d'avertissement et solutions » (page 22) afin de remédier au problème.



Utilisation d'une indication d'état

État du témoin	État d'utilisation	Signification
(Éteint) (S'allume en rouge)	Veille	L'appareil est mis sous tension et en mode veille.
(Éteint) (Clignote en vert)	Démarrage de l'appareil	L'appareil est sous tension et est en cours de démarrage jusqu'à ce qu'il soit prêt à l'emploi.
(Éteint) (S'allume en vert)	Mise sous tension	Le projecteur est prêt pour la projection.
(Éteint) (Clignote en orange)	Refroidissement	L'appareil se refroidit lui-même après s'être mis hors tension.

État du témoin	État d'utilisation	Signification
 (Éteint)	 (S'allume en orange)	Autre état de veille La lampe est éteinte.

Témoins d'avertissement et solutions

État du témoin	Nombre de clignotements	Signification	Solutions
 (Clignote en rouge)	Deux fois	Le couvercle de la lampe n'est pas correctement fixé.	Vérifiez la manière dont le couvercle de la lampe est fixé et fixez-le convenablement.
 (S'allume en rouge)	Trois fois	La lampe n'éclaire pas correctement.	La température de la lampe est anormalement élevée. Éteignez le projecteur, laissez la lampe refroidir, puis rallumez-le. Si le problème persiste, éteignez le projecteur et retirez la lampe (page 23), puis vérifiez que la lampe est en bon état. Si elle n'est pas brisée, remettez-la en place et rallumez le projecteur. Si le problème n'est toujours pas résolu, il est possible que la lampe soit grillée. Dans ce cas, remplacez-la par une neuve (page 23). Si la lampe est brisée, ne la remplacez-pas vous-même. Faites appel à un technicien Sony agréé.
 (Clignote en rouge) (Clignote en rouge) Les deux témoins clignotent	Deux fois	La température interne du projecteur est anormale.	• Vérifiez si le filtre à air est colmaté, puis nettoyez-le ou remplacez-le (page 25). • Vérifiez si les orifices de ventilation (évacuation/ prise d'air) ne sont pas obstrués par le mur ou un objet et prévoyez un intervalle suffisant. • Vérifiez la température ambiante et utilisez le projecteur dans la plage de température de fonctionnement.

Si les témoins clignotent différemment de la description ci-dessus, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que le témoin ON/STANDBY s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise murale et mettez le projecteur sous tension. Si le problème persiste, contactez un technicien Sony agréé.

Remplacement de la lampe

Remplacez la lampe par une neuve si l'un des messages décrits à la s'affiche sur l'image projetée.

Utilisez une lampe de rechange pour projecteur LMP-D214 (non fournie).

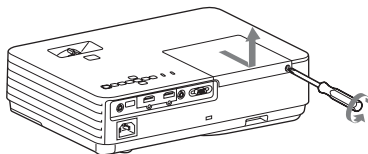
Mise en garde

- La lampe reste chaude après la mise hors tension du projecteur. **Ne la touchez pas, car vous pourriez vous brûler les doigts. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure après la mise hors tension du projecteur pour lui permettre de refroidir suffisamment.**
- Assurez-vous de ne pas introduire des objets métalliques ou inflammables dans la fente de remplacement de la lampe après avoir retiré celle-ci afin d'éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie. N'insérez pas les mains dans la fente.

Remarques

- **Si la lampe se casse, contactez un technicien Sony agréé. Ne remplacez pas la lampe vous-même.**
- Quand vous retirez la lampe, veillez à l'extraire en ligne droite, en la tenant par le point désigné. Tout contact avec une partie de la lampe autre que le point désigné peut provoquer des brûlures ou des blessures. Si vous retirez la lampe quand le projecteur est incliné et qu'elle se casse, vous risquez de vous blesser avec les projections de verre.

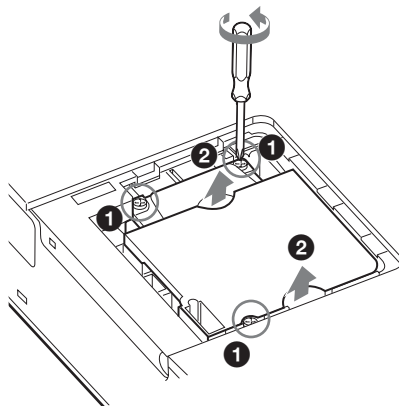
- 1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.
- 2 Lorsque la lampe a suffisamment refroidi, ouvrez le couvercle de lampe en desserrant 1 vis.



Remarque

Pour des raisons de sécurité, ne desserrez aucune autre vis.

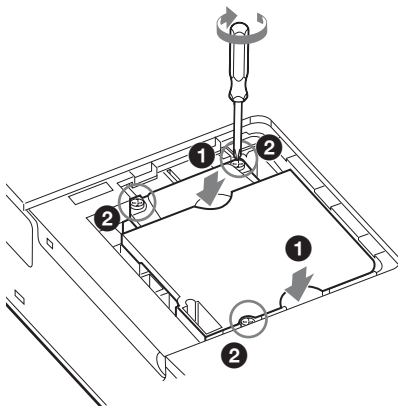
- 3 Desserrez les trois vis, puis saisissez les parties en creux avec les doigts pour retirer la lampe.



Mise en garde

Ne mettez pas vos mains dans l'emplacement de remplacement de la lampe ; veillez en outre à ne pas verser de liquide et à ne laisser tomber aucun objet dans cet emplacement **afin d'éviter une secousse électrique ou un incendie**.

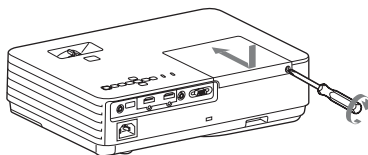
- 4 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place. Serrez les vis 3.



Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe ni le conducteur interne.
- Vous ne pourrez pas allumer le projecteur si la lampe n'est pas correctement installée.

- 5 Fermez le couvercle de lampe et serrez la vis 1.



- 6 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur une prise murale et mettez le projecteur sous tension.

- 7 Réinitialisez la durée de lampe pour être informé du nombre d'heures d'utilisation.
Sélectionnez « Réinit. durée lampe » dans le menu Fonction, puis appuyez sur la touche ENTER. Lorsqu'un message apparaît, sélectionnez « Oui » pour réinitialiser la durée de lampe.

Mise en garde

Pour les clients aux États-Unis et au Canada

(Hg) La lampe contient du mercure. Disposez selon les lois locales, provinciales et fédérales applicables.

Pour de plus amples informations, voir www.sony.com/mercury

Nettoyage du filtre à air

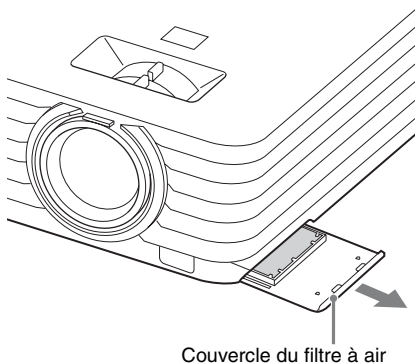
Lorsqu'un message indiquant la nécessité de remplacer un filtre s'affiche sur l'image projetée, nettoyez le filtre à air.

S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, même après un nettoyage, remplacez ce dernier par un neuf. Pour plus de détails sur l'achat ou le remplacement d'un filtre à air, contactez le magasin qui vous a vendu le projecteur ou un technicien Sony agréé.

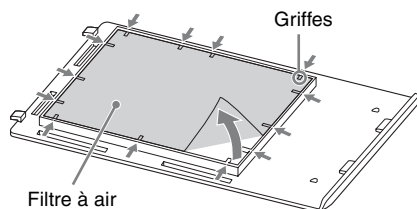
Mise en garde

Si vous continuez d'utiliser le projecteur alors que le message est affiché, la poussière risque de s'accumuler et de colmater l'appareil. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et provoquer un mauvais fonctionnement ou un incendie.

- 1** Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.
- 2** Faites glisser le couvercle du filtre à air et retirez-le.



- 3** Nettoyez le filtre à air à l'aide d'un aspirateur. Tirez sur le filtre à air pour le retirer et nettoyez-le avec un aspirateur.



- 4** Remplacez le couvercle du filtre à air de l'appareil.

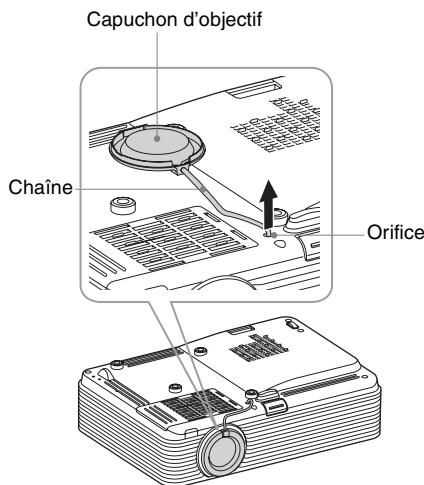
Remarque

Installez le filtre à air en plaçant le côté tissé face au bas de l'appareil, puis remplacez le couvercle du filtre à air sur l'appareil.

Lorsque vous utilisez le projecteur monté au plafond

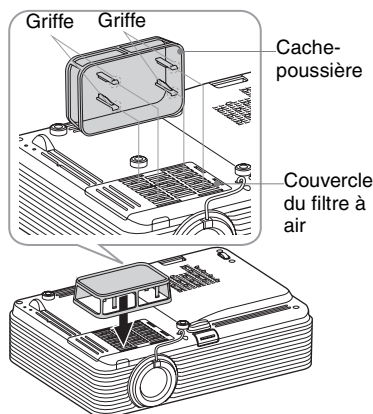
Retrait du capuchon d'objectif

Si le capuchon d'objectif est inutile lors du montage de l'appareil au plafond, retirez-le. Tirez sur la chaîne du capuchon d'objectif un peu fort afin de le retirer de l'appareil. Si le capuchon d'objectif est nécessaire, insérez le bord de la chaîne dans l'orifice.



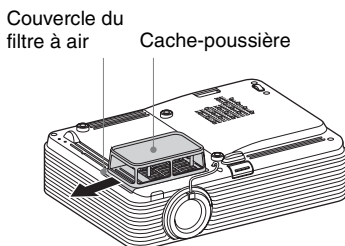
Fixation du cache-poussière

Lors du montage du projecteur au plafond, vous pouvez fixer le cache-poussière à l'appareil afin d'éviter que la poussière ne s'accumule dans le filtre à air. Placez le couvercle du filtre à air de sorte que le cache-poussière le recouvre, puis insérez les quatre griffes (à l'intérieur du cache-poussière) dans les orifices du couvercle du filtre à air.



Nettoyage du filtre à air et de son environnement

- 1** Mettez l'appareil hors tension, puis débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale.
- 2** Essuyez le cache-poussière avec un chiffon propre pour le dépoussiérer.
- 3** Retirez le couvercle du filtre à air avec le cache-poussière qui y est fixé.

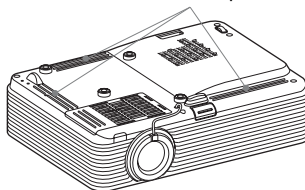


- 4** Nettoyez le cache-poussière et le couvercle du filtre à air avec un aspirateur.
- 5** Retirez le filtre à air, puis nettoyez-le avec un aspirateur.
Pour plus de détails, voir l'étape 3 de la section « Nettoyage du filtre à air » (page 25).
- 6** Remplacez le filtre à air et le couvercle du filtre à air (avec le cache-poussière) sur l'appareil.

Transport de l'appareil

Pour transporter l'appareil, saisissez ses surfaces antidérapantes pour éviter les chutes.

Surface antidérapante



Acerca del Manual de referencia rápida

Este Manual de referencia rápida explica las operaciones básicas para proyectar imágenes. También presenta notas y precauciones importantes que deben tenerse muy en cuenta al manipular y utilizar esta unidad.

Consulte los apartados “Indicadores”, “Limpieza del filtro de aire” si es necesario.

Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el Manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Paso 1

PreparaciónPágina 8

Paso 2

ConexiónPágina 11

Paso 3

ProyecciónPágina 14

IndicadoresPágina 21

Sustitución de la lámparaPágina 23

Limpieza del filtro de aire.....Página 25

**Usar el proyector montándolo en el
techoPágina 26**

Transporte de la unidadPágina 27

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

**ADVERTENCIA
ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.**

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante. Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Colocación de las pilas

El mando a distancia RM-PJ8 incluye una pila de litio (CR2025). Para evitar riesgo de explosiones, utilice siempre una pila de litio (CR2025).

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

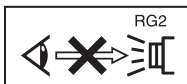
ADVERTENCIA

- 1 Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
- 2 Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.



Al igual que con cualquier fuente de luz brillante, no mire fijamente al haz de luz, RG2 IEC 62471-5: 2015.

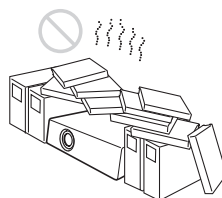
ES

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado para no pillarse los dedos con el pie delantero al ajustar la altura de la unidad. No presione con fuerza la parte superior de la unidad con el pie delantero extendido.
- Evite utilizar un cable prolongador con un bajo límite de tensión, ya que puede producir cortocircuitos e incidentes físicos.
- No se atrape los dedos entre la unidad y la superficie del suelo al mover un proyector instalado en el suelo.
- No transporte el proyector guardado en su estuche y con la tapa abierta.
- No instale la unidad en una ubicación cercana a fuentes de calor tales como radiadores o conducciones de aire, ni en un lugar sujeto a la luz directa del sol, demasiado polvo o humedad, vibraciones mecánicas o golpes.

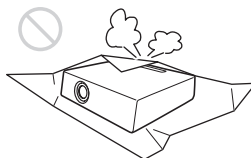
- No monte en ningún caso el proyector en el techo ni lo mueva sin la ayuda de otra persona. Asegúrese de consultar con personal especializado (cualificado) de Sony.
- Si se bloquean los orificios de ventilación, el calor interno aumentará y esto podría provocar un incendio o dañar la unidad. Con el fin de facilitar una circulación de aire adecuada y evitar el recalentamiento interno, siga los consejos que se indican a continuación:
- Deje espacio alrededor de la unidad (página 5).



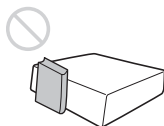
- Procure no utilizar ningún objeto que cubra los orificios de ventilación (salida/entrada de aire).



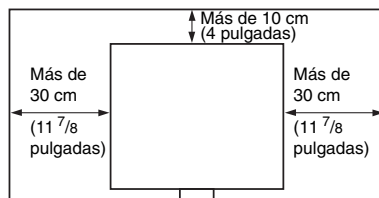
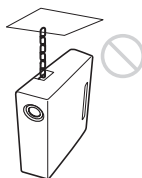
- No coloque la unidad sobre superficies tales como partes del embalaje original, paños suaves, papeles, cojines o trozos de papel. Dichos materiales podrían pegarse a los orificios de ventilación.



- No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla de función de apagado de la imagen para interrumpir la imagen.



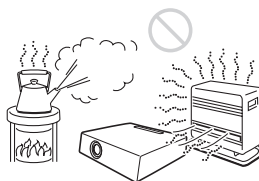
- No utilice la barra de seguridad para evitar robos durante el transporte o la instalación de la unidad. Si eleva la unidad o la deja suspendida mediante la barra de seguridad, es posible que la unidad se caiga y se dañe, asimismo, podría provocar daños personales.



- Evite utilizar la unidad si está inclinada más de 15 grados en posición horizontal.



- Evite utilizar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.



Para los distribuidores

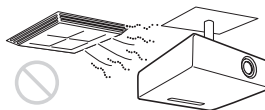
- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

Precauciones de seguridad para instalar la unidad en el techo

- Nunca instale el proyector en el techo ni lo desplace sin ayuda. Pida siempre consejo a un técnico de Sony cualificado (servicio de pago).
- Si instala la unidad en el techo, utilice un cable de seguridad o un sistema similar para evitar que la unidad se desprendan. Confíe siempre la instalación a un proveedor o instalador experimentado.

Sobre la instalación

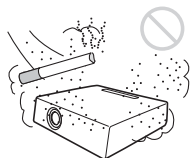
- Cuando instale la unidad, deje espacio entre cualquier pared o similar y la unidad como se muestra en la ilustración.



- Evite instalar la unidad en una ubicación cercana a un sensor de calor o de humo. Si se instala en una ubicación de estas características, podría provocar un fallo de funcionamiento del sensor.



- Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente.



- Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú Instalación en “Sí”. Si no establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Limpieza del objetivo y de la carcasa

- Asegúrese de desconectar el cable de alimentación de CA de la toma de corriente de CA antes de limpiar la unidad.
- Si frota la unidad con un paño sucio, la carcasa podría rayarse.
- Si la unidad se expone a materiales volátiles, como insecticidas, o si está en contacto con algún producto de goma o resina de vinilo durante un período de tiempo prolongado, la unidad podría deteriorarse o el recubrimiento podría desprenderse.
- No toque el objetivo con las manos desprotegidas.
- Limpieza de la superficie del objetivo: Limpie suavemente el objetivo con un paño suave, como una gamuza. Las manchas resistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido con agua. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

- Acerca de la limpieza de la carcasa: Limpie la carcasa suavemente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave ligeramente humedecido en una solución detergente neutra previamente escurrido y, a continuación, pasando un paño suave y seco. No utilice nunca solventes como el alcohol, el benceno o los disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos.

Iluminación

Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.

Información sobre la disipación del calor

La temperatura del interior del proyector puede aumentar durante su utilización o inmediatamente después. Sin embargo, no se trata de un problema de funcionamiento.

Pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Ventilador

Es posible que se produzca ruido, ya que el proyector está equipado con un ventilador en su interior para evitar que la temperatura interna aumente. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento. Si, no obstante, se produce un ruido anómalo, consulte con personal especializado de Sony.

Lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz contiene mercurio a una presión interna elevada. Una lámpara de mercurio a alta presión posee las siguientes características:

- El brillo de la lámpara decrecerá según el tiempo de uso transcurrido.
- Es posible que la lámpara se rompa emitiendo un sonido fuerte como resultado de un golpe, daños o el deterioro causado por el paso del tiempo. Es posible que la lámpara se apague y se queme.
- La vida útil de la lámpara varía en función de las diferencias individuales o de las condiciones de uso de cada lámpara. Por lo tanto, podría romperse o no iluminar incluso antes de la fecha de sustitución especificada.
- También es posible que se rompa una vez transcurrida la fecha de sustitución. Sustituya la lámpara por una nueva tan rápido como sea posible si aparece un mensaje en la imagen proyectada, incluso si la lámpara aún se ilumina con normalidad.

Transporte

Esta unidad es un producto de precisión. Cuando transporte la unidad, no la someta a golpes ni deje que se caiga. Podría averiar la unidad.

Proyector LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica un fallo de funcionamiento.

Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Acerca de la condensación

Si la temperatura de la habitación en la que se instala el proyector cambia rápidamente, o si el proyector se traslada súbitamente de un lugar muy frío a uno muy cálido, es posible que se produzca condensación en el proyector. La condensación puede provocar errores de funcionamiento, por lo que debe prestarse atención al ajustar la temperatura del aire acondicionado. Si se produce condensación, deje el proyector encendido durante dos horas antes de utilizarlo.

Notas

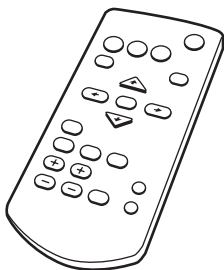
- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

Comprobación de los accesorios suministrados

Mando a distancia RM-PJ8 (1)

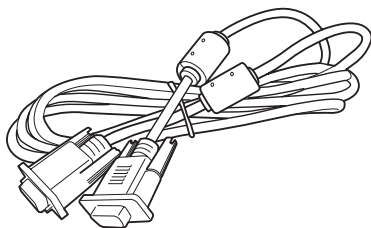
Pila de litio (CR2025) (1)

La pila ya se suministra instalada. Antes de usar el mando a distancia, retire la película aislante.

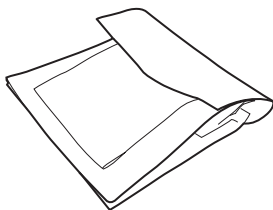


Cable de alimentación de CA (1)

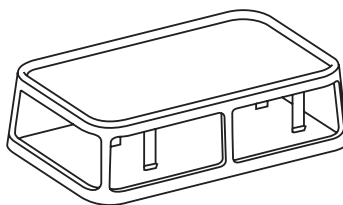
Cable Mini D-sub de 15 contactos (1,8 m)
(1) (1-970-584-11/Sony)



Funda de transporte (1)



Tapa antipolvo (1)



Manual de referencia rápida (este manual)
(1)

Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)

Utilización del manual en CD-ROM

El manual puede leerse en un ordenador con Adobe Reader instalado.

Puede descargar la aplicación Adobe Reader de forma gratuita desde el sitio web de Adobe.

- 1 Abra el archivo `index.html` en el CD-ROM.
- 2 Seleccione y haga clic en el manual que desee leer.

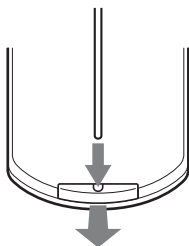
Nota

Si ha perdido el CD-ROM o se le ha estropeado, podrá adquirir uno de sustitución en su distribuidor Sony o en un punto de asistencia Sony.

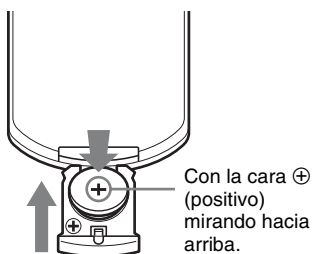
Instalación de las pilas

- 1 Extraiga el compartimento de la pila de litio.

Extraiga el compartimento de la pila de litio con una varilla, tal y como muestra la ilustración.



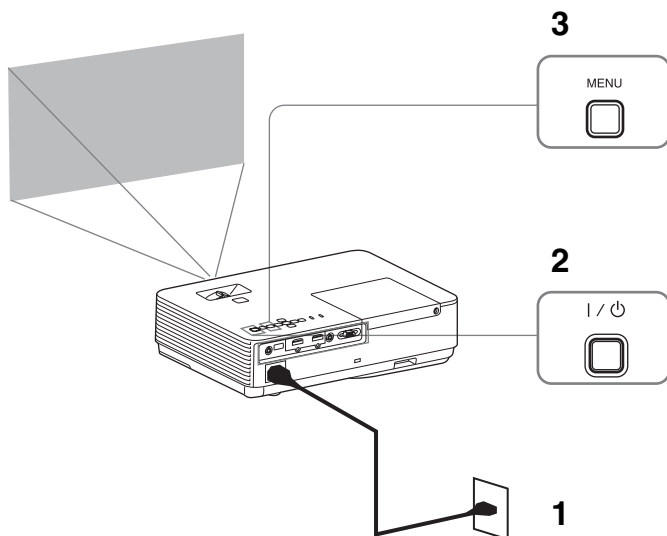
- 2 Inserte una pila de litio.



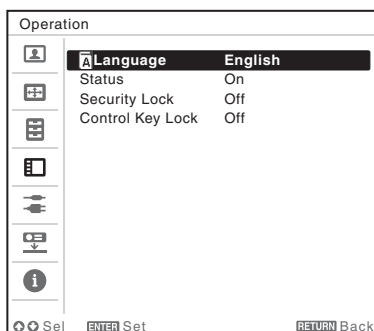
- 3 Cierre el compartimento de la pila de litio.

Selección del idioma del menú

El idioma predeterminado de fábrica para visualizar los menús, mensajes, etc. es el inglés. Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, haga lo siguiente:



- 1** Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared.
- 2** Encienda el proyector.
Pulse la tecla I/O.
- 3** Pulse la tecla MENU para visualizar el menú.
Si la pantalla no se visualiza correctamente, ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada (página 15).
- 4** Seleccione el idioma del menú.
 - ① Pulse la tecla $\uparrow$ o $\downarrow$ para seleccionar el menú Operación ([Icono de menú]) y, después, pulse la tecla ENTER.
 - ② Pulse la tecla $\uparrow$ o $\downarrow$ para seleccionar “Idioma ([Icono de idioma])” y, a continuación, pulse la tecla ENTER.



- ③ Pulse la tecla $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ para seleccionar un idioma y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
- 5** Pulse la tecla MENU para desactivar la pantalla de menú.

Paso 2

Conexión

Notas

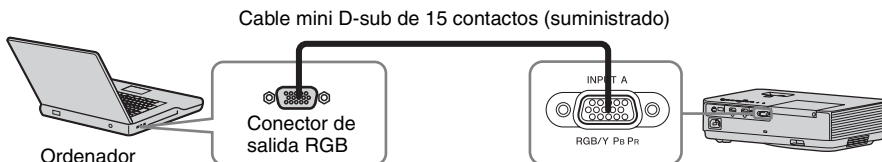
- Asegúrese de que todos los equipos están desactivados al conectar el proyector.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Inserte firmemente los enchufes de los cables; las conexiones mal realizadas pueden reducir la calidad de las señales de imagen o provocar una avería. Cuando desconecte un cable, asegúrese de sujetarlo del enchufe, no del mismo cable.
- Para obtener más información, consulte también los manuales de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Utilice un cable de audio sin resistencia.

Conexión a un ordenador

La conexión con un ordenador se describe para cada señal de entrada.

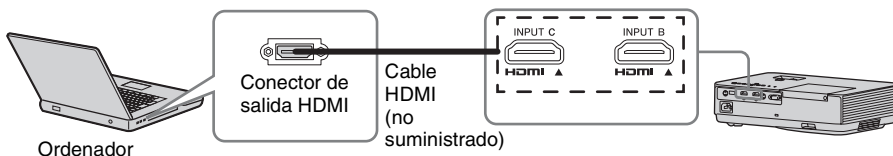
INPUT A

Permite conectar un ordenador con un conector de salida RGB.



INPUT B/INPUT C

Permite conectar un ordenador con un conector de salida HDMI.



Notas

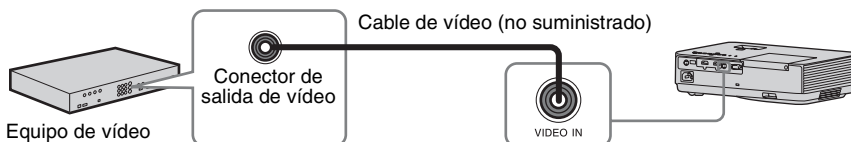
- Sólo el VPL-DX270/DX240/DW240 tiene el terminal INPUT C.
- Utilice equipos compatibles con HDMI y cables con el logotipo de HDMI.
- Utilice un cable o cables HDMI de alta velocidad con el logotipo del tipo de cable. (Se recomienda el uso de productos Sony.)
- El conector HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo).
- La resolución de la imagen proyectada puede variar dependiendo de los terminales de entrada.
- Es recomendable que ajuste la resolución del ordenador en 1024 × 768 píxeles (VPL-DX270/DX240/DX220) o 1280 × 800 píxeles (VPL-DW240) para el monitor externo.

Conexión de un equipo de vídeo

Las conexiones con un reproductor de DVD o un reproductor de BD se describen para cada señal de entrada.

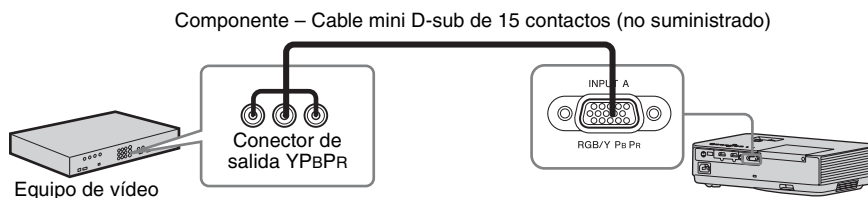
VIDEO

Permite conectar equipos de vídeo con un conector de salida de vídeo.



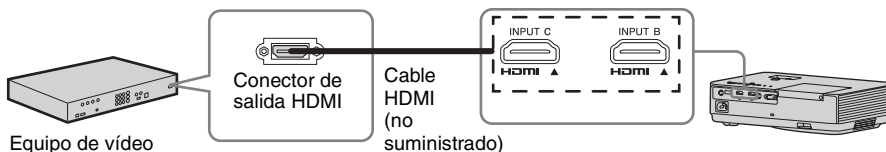
INPUT A

Permite conectar equipos de vídeo con un conector de salida YPbPr.



INPUT B/INPUT C

Permite conectar equipos de vídeo con un conector de salida HDMI.



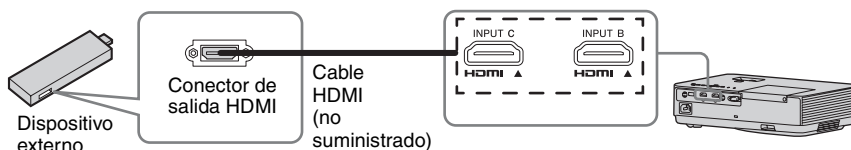
Notas

- Sólo el VPL-DX270/DX240/DW240 tiene el terminal INPUT C.
- Utilice equipos compatibles con HDMI y cables con el logotipo de HDMI.
- El conector HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo).
- Utilice un cable o cables HDMI de alta velocidad con el logotipo del tipo de cable. (Se recomienda el uso de productos Sony.)
- La máxima resolución del terminal INPUT C está fijada en 720p.

Conectar a un dispositivo externo

INPUT C

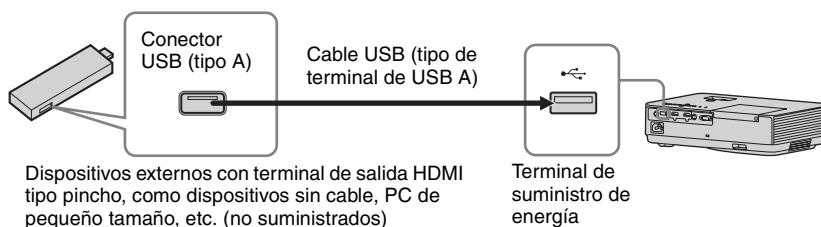
Para conectar un dispositivo externo a un terminal de salida HDMI. Conecte el dispositivo externo a INPUT C.



Suministro de energía al dispositivo externo

La unidad suministra energía (5V/2A como máximo) por medio del cable USB al dispositivo externo (memoria externa, etc.).

- 1 Conecte la unidad al dispositivo externo usando el cable USB (con tipo de terminal de USB A).



Notas

- Use dispositivos externos con la especificación apropiada para usar con esta unidad.
- Si conecta la unidad de forma incorrecta, el dispositivo externo puede causar una avería. En dicho caso, Sony no asumirá ninguna responsabilidad.

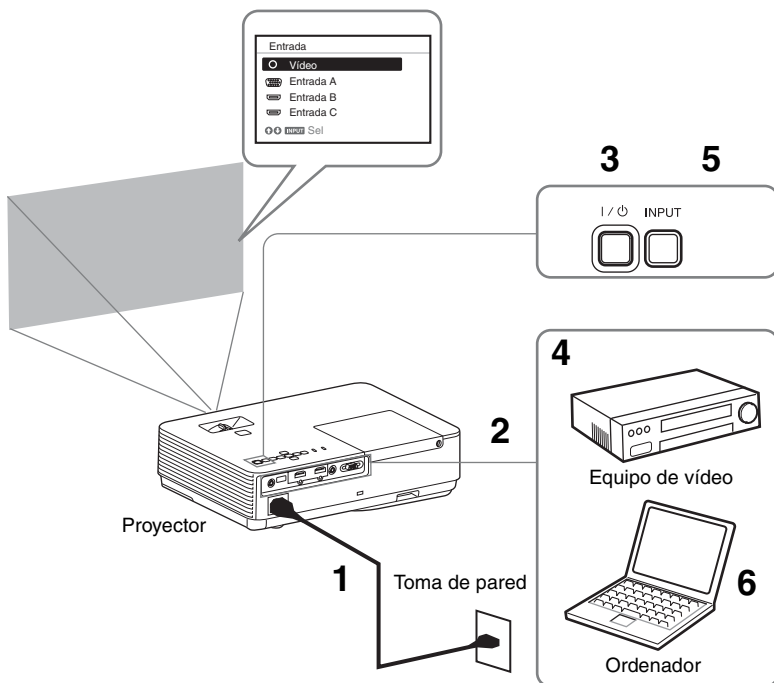
- 2 Seleccione "Fuente de aliment." en "Sí" en el menú Connection/Power.
La unidad suministra energía al dispositivo externo por medio del cable USB.

Notas

- Sólo el VPL-DX270/DX240/DW240 tiene el terminal INPUT C.
- Utilice equipos compatibles con HDMI y cables con el logotipo de HDMI.
- El conector HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo).
- Utilice un cable o cables HDMI de alta velocidad con el logotipo del tipo de cable. (Se recomienda el uso de productos Sony.)
- La máxima resolución del terminal INPUT C está fijada en 720p.

Proyección de una imagen

El tamaño de una imagen proyectada depende de la distancia existente entre el proyector y la pantalla. Instale el proyector de modo que la imagen proyectada se ajuste al tamaño de la pantalla. Para obtener más información sobre las distancias de proyección y los tamaños de las imágenes proyectadas, consulte “Distancia de proyección”.



- 1** Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared.
- 2** Conecte todos los equipos al proyector.
- 3** Pulse la tecla I/ON para encender la unidad.
- 4** Encienda el equipo conectado.
- 5** Seleccione la fuente de entrada. Pulse la tecla INPUT del proyector para ver el menú de cambio de señal de entrada en la pantalla. Pulse la tecla INPUT varias veces o pulse la tecla $\blacktriangle/\blacktriangledown$ para seleccionar una imagen para proyectar.
- 6** Cuando proyecte una imagen de ordenador, cambie la configuración del ordenador para conmutar la salida hacia una pantalla externa. El método de conmutación de la salida varía en función del tipo de ordenador.

(Ejemplo)



7 Ajuste el enfoque, el tamaño y la posición de la imagen proyectada (página 15).

Ajuste de la imagen proyectada

Enfoque	Tamaño (Zoom)	Posición
Anillo de enfoque	Anillo de zoom	Botón de ajuste de pie Pie delantero (ajustable) Pies traseros

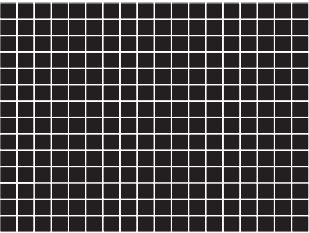
Visualice las plantillas y los patrones para ajustar una imagen

Utilice la tecla **PATTERN** del control remoto para visualizar las plantillas y patrones y ajustar otra imagen en la imagen proyectada. Hay cuatro plantillas y un patrón. Cada vez que pulse la tecla **PATTERN**, la imagen cambia entre las plantillas y el patrón. Pulse la tecla **MENU** para volver a la imagen anterior.

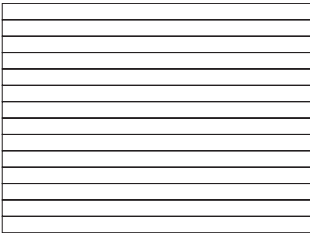
Plantilla 1



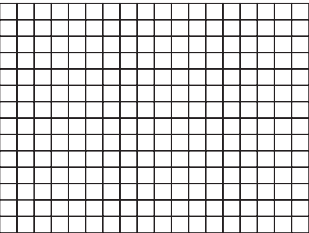
Plantilla 2



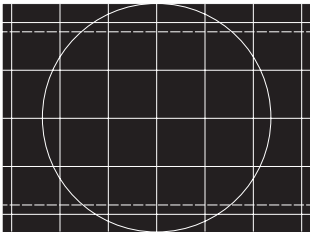
Plantilla 3



Plantilla 4



Patrón para ajustar una imagen

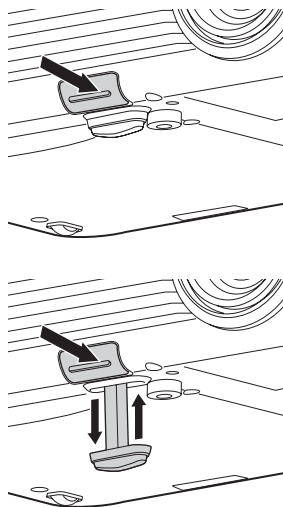


Vuelta a la imagen anterior.

Ajustar con la tecla de ajuste de pie

Puede ajustar la posición de la imagen proyectada inclinando el proyector con la tecla de ajuste de pie.

- 1 Pulse el botón de ajuste de pie y manténgalo presionado. Seguidamente, levante la parte frontal del proyector para ajustar el ángulo.



- 2 Cuando logre el ángulo deseado, suelte el botón ajustador de pie para bloquear la posición.

Notas

- Tenga cuidado de no dejar caer el proyector sobre los dedos.
- No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior del proyector con el pie delantero (ajustable) extendido.

Corrección de la distorsión trapezoidal de la imagen proyectada (función Trapezoide)*¹

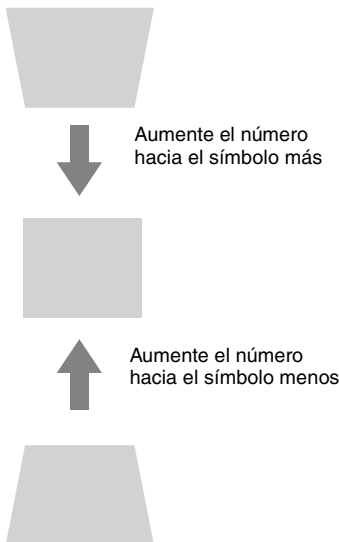
Es posible que la función Trapezoide no se ejecute automáticamente*² si la pantalla está inclinada. En este caso, deberá definirla manualmente.

- 1 Pulse la tecla KEYSTONE en el mando a distancia o seleccione Trapezoide V en el menú Instalación.
- 2 Ajuste el valor con las teclas $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$. Cuanto mayor sea el valor, más estrecha será la parte superior de la imagen proyectada. Cuanto menor sea el valor, más estrecha será la parte inferior.

Notas

*1: Puesto que el ajuste Trapezoide es una corrección electrónica, es posible que la imagen se deteriore.

*2: Solo VPL-DX270/DX240/DW240.



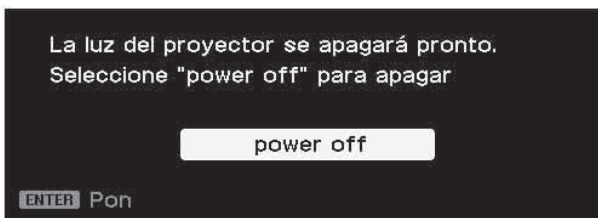
Ajusta automáticamente la Fase, el Pitch y el Desplazamiento de la imagen proyectada cuando se recibe una señal de un ordenador (APA (Alineación automática de píxeles))

Pulse la tecla APA en el mando a distancia. Púlsela de nuevo para cancelar el ajuste.

También es posible ajustar la APA en el menú Pantalla. Si la función APA inteligente del menú Función está ajustada en "Sí", la APA se ejecuta automáticamente cuando se recibe una señal.

Apagado de la alimentación

- 1 Pulse la tecla I/⏻ de la unidad principal o del mando a distancia.
El proyector inicia el proceso de apagado y se apaga. Si pulsa la tecla I/⏻ durante los 10 segundos posteriores a la aparición del el mensaje, se cancelará el proceso de apagado. Cuando la “Fuente de aliment.” esté en “Sf”, pulse “start” para visualizar el mensaje. Después de unos diez segundos, la luz se apagará y la unidad continuará suministrando energía. Seleccione “Seleccione "power off" para apagar” para dejar de suministrar energía.



Pulse el botón “power” cuando se muestre el mensaje para encender la luz de nuevo.

Nota

No apague el proyector inmediatamente después del encendido de la lámpara. De lo contrario, la lámpara podría estropearse (o no encenderse, etc.).

- 2 Desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.

Para apagar la unidad sin que aparezca el mensaje de confirmación

Mantenga pulsada la tecla I/⏻ en la unidad durante unos segundos.

Nota

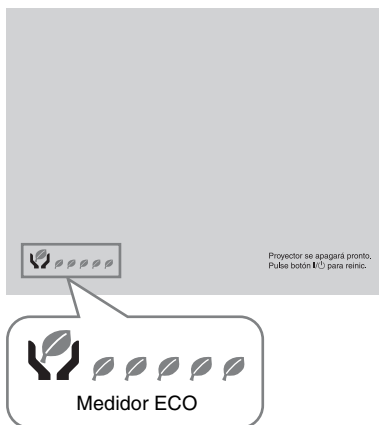
Si apaga la unidad poco después del encendido de la lámpara, aparecerá un mensaje de confirmación y es posible que la unidad tarde más en apagarse.

Para desactivar sin que aparezca el mensaje de confirmación

Mantenga pulsada la tecla I/⏻ en la unidad durante unos segundos.

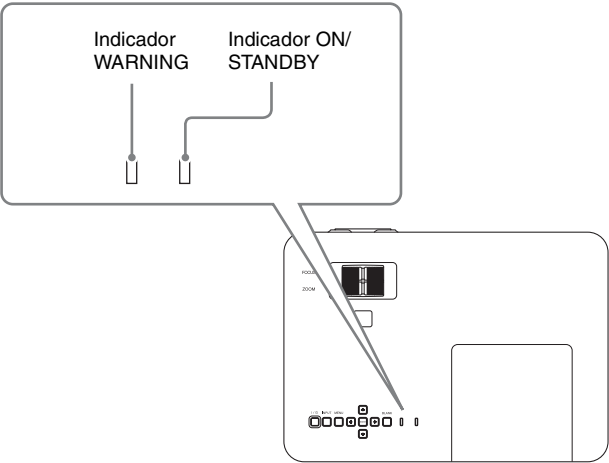
Medidor ECO

Este medidor indica la eficacia actual de la función ECO del proyector. (Para obtener más información sobre la función ECO, consulte “Tecla ECO MODE” y “ECO”.) Los iconos de hojas se visualizan cuando se apaga el proyector. El número de iconos mostrados varía en función de la cantidad de energía ahorrada gracias al uso de la función ECO.



Indicadores

Puede comprobar el estado del proyector o si existe algún tipo de anomalía comprobando el estado de iluminación/parpadeo del indicador ON/STANDBY y del indicador WARNING. Si los indicadores parpadean en rojo, solucione el problema de acuerdo con “Soluciones e indicadores de advertencia” (página22).



Indicación de estado de funcionamiento

Estado del indicador	Estado de funcionamiento	Significado
  (Apagado) (Se ilumina en rojo)	Espera	La unidad se enciende en modo “standby”.
  (Apagado) (Parpadea en verde)	Arrancar la unidad	La unidad se enciende y está en modo de arranque hasta que está lista para utilizarse.
  (Apagado) (Se ilumina en verde)	Encendido	El proyector está listo para la proyección.
  (Apagado) (Parpadeos naranjas)	Refrigeración	La unidad se refrigera por sí sola cuando se apaga.

Estado del indicador	Estado de funcionamiento	Significado
 (Apagado)	 (Se ilumina en naranja)	Otro estado de espera Se apaga la luz.

Soluciones e indicadores de advertencia

Estado del indicador	El número de parpadeos	Significado	Soluciones
 (Parpadea en rojo)	 (Se ilumina en rojo)	Dos veces La cubierta de la lámpara no está correctamente fijada.	Compruebe si la cubierta de la lámpara está colocada y fijada de forma segura.
	Tres veces	La luz no se ilumina correctamente.	La temperatura de la lámpara es anormalmente alta. Apague el proyector y vuelva a encenderlo cuando haya bajado la temperatura de la lámpara. Si se repite el mismo síntoma, apague de nuevo el proyector, retire la lámpara (página 23) y, después, compruebe si la lámpara está estropeada. Si la lámpara no está estropeada, vuelva a colocarla y encienda de nuevo el proyector. Si se repite el mismo síntoma, seguramente la lámpara ha llegado al final de su vida útil. En este caso, cambie la lámpara por otra nueva (página 23). Si la lámpara está estropeada, no la cambie usted mismo. Póngase en contacto con personal especializado de Sony.
 (Parpadea en rojo) (Parpadea en rojo)	Dos veces	La temperatura del proyector es anómala.	• Compruebe si el filtro de aire está obstruido y, a continuación, límpielo o vuelva a colocarlo (página 25). • Compruebe que los orificios de ventilación (entrada/salida) no estén bloqueados por la pared u otro objeto y deje suficiente espacio. • Compruebe la temperatura ambiente y utilice el proyector dentro del rango de temperatura de funcionamiento.

Si los indicadores parpadean de otra forma diferente a la descrita anteriormente, desconecte el cable de alimentación de CA y asegúrese de que el indicador ON/STANDBY se apague y, a continuación, conecte el cable de alimentación de CA en la toma de corriente y encienda el proyector. Si el problema persiste, consulte con personal especializado de Sony.

Sustitución de la lámpara

Sustituya la lámpara por una nueva si aparece un mensaje en la imagen proyectada. Utilice una lámpara de proyector LMP-D214 (no suministrada) para la sustitución.

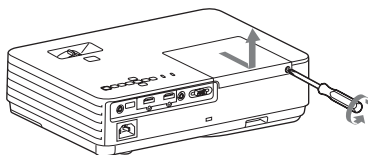
Precaución

- La lámpara permanece caliente después de haber apagado el proyector. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora después de haber apagado el proyector para que se enfríe lo suficiente.**
- No permita que se introduzcan objetos metálicos o inflamables en la ranura de sustitución de la lámpara después de extraerla, de lo contrario, podría provocar una descarga eléctrica o un incendio. No meta las manos dentro de la ranura.

Notas

- **Si la lámpara se rompe, póngase en contacto con personal especializado de Sony. No sustituya la lámpara usted mismo.**
- Cuando sustituya la lámpara, asegúrese de sujetarla por el lugar indicado para tirar de ella recto hacia fuera. Si toca una parte de la lámpara que no sea el lugar indicado, podría quemarse o herirse. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras el proyector se encuentra inclinado, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas si la lámpara se rompe.

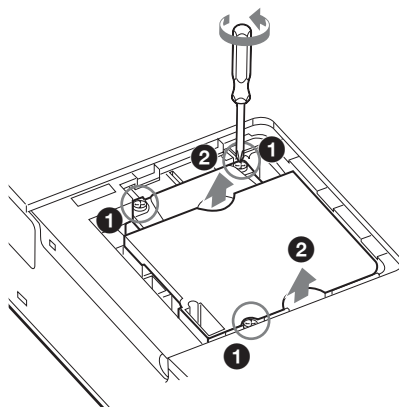
- 1** Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de pared.
- 2** Cuando la lámpara se haya enfriado lo suficiente, afloje el tornillo 1 para abrir la cubierta.



Nota

Por motivos de seguridad, no afloje ningún otro tornillo.

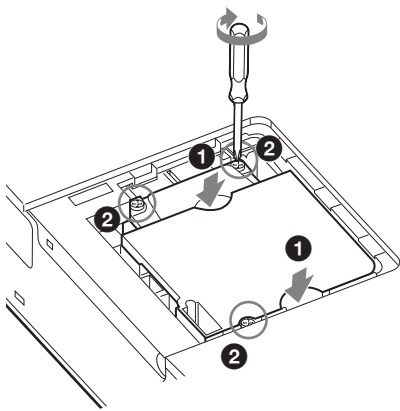
- 3** Suelte los tres tornillos y agarre con las manos para retirar la lámpara.



Precaución

No meta las manos en la ranura de sustitución de la lámpara y no permita que entre líquido ni cualquier otro objeto en la ranura **para evitar descargas eléctricas o incendios**.

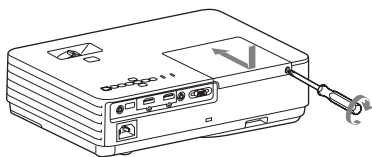
- 4 Inserte por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada firmemente en su sitio. Apriete los 3 tornillos.



Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara y el conductor interior.
- La unidad no se encenderá si la lámpara no se ha fijado correctamente.

- 5 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete el tornillo 1.



- 6 Conecte el cable de alimentación de CA a la toma de pared y encienda el proyector.

- 7 Reinicie el contador de la lámpara para que notifique el momento de la siguiente sustitución.
Seleccione “Reiniciar cont. lámp.” en el menú Función y pulse la tecla ENTER. Cuando aparezca un mensaje, seleccione “Sí” para reiniciar el contador de la lámpara.

Limpieza del filtro de aire

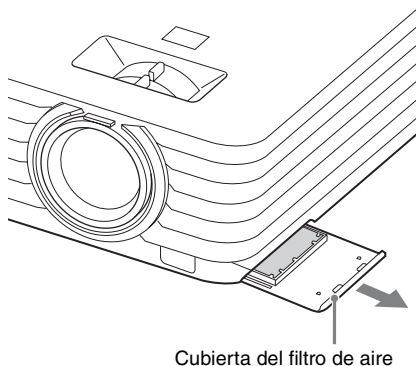
Si aparece un mensaje en la imagen proyectada indicando que ha llegado el momento de limpiar el filtro, limpie el filtro de aire.

Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire incluso después de haberlo limpiado, sustitúyalo por uno nuevo. Para obtener más información sobre la compra/ajuste de un nuevo filtro de aire, consulte con la tienda en la que compró el proyector o póngase en contacto con personal especializado de Sony.

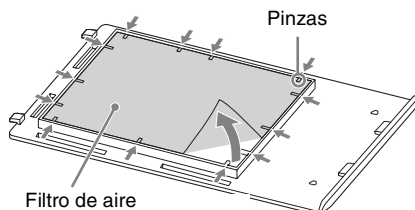
Precaución

Se si continua ad utilizzare il proiettore anche dopo la visualizzazione del messaggio, la polvere può accumularsi e provocare ostruzioni. Di conseguenza, la temperatura interna dell'unità potrebbe aumentare, comportando problemi di funzionamento e incendi.

- 1** Apague el proyector y desconecte el cable de alimentación de CA de la toma de ca.
- 2** Deslice la cubierta del filtro de aire para separarla de la unidad.



- 3** Limpie el filtro del aire con una aspiradora.
Tire del filtro de aire, sáquelo y límpielo con un aspirador.



- 4** Vuelva a colocar la cubierta del filtro de aire a la unidad.

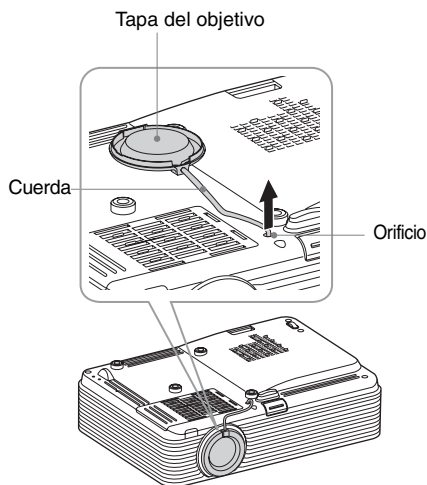
Nota

Instale el filtro de aire con la trama abierta mirando hacia la parte inferior de la unidad y, después, vuelva a colocar la cubierta del filtro de aire en la unidad.

Usar el proyector montándolo en el techo

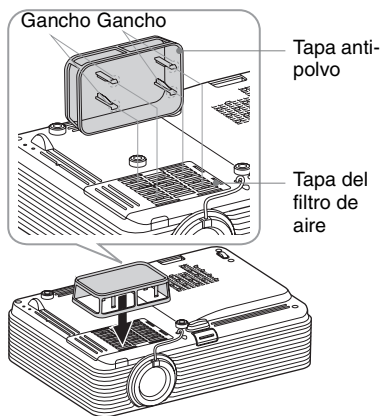
Quitar la tapa del objetivo

Si la tapa del objetivo es innecesaria a la hora de montar la unidad en el techo, retírela. Tire de la cuerda de la tapa del objetivo un poco fuerte para retirarla de la unidad. Si la tapa del objetivo es necesaria, introduzca el extremo de la cuerda en el orificio.



Ajuste de la tapa anti-polvo

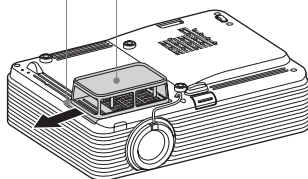
Cuando monte el proyector al techo, puede colocar la tapa anti-polvo en la unidad para evitar que el polvo entre en el filtro de aire. Coloque la tapa del filtro de aire de manera que la tapa anti-polvo cubra la tapa del filtro de aire y entonces coloque los cuatro ganchos (dentro de la tapa anti-polvo) en los orificios de la tapa del filtro de aire.



Limpieza del filtro de aire y sus alrededores

- 1** Apague la unidad y retire el cable de alimentación de CA de la toma de pared.
- 2** Limpie la tapa anti-polvo y retire el polvo con un paño limpio.
- 3** Retire la tapa del filtro de aire con la tapa anti-polvo unida a ella.

Tapa del filtro de aire Tapa anti-polvo

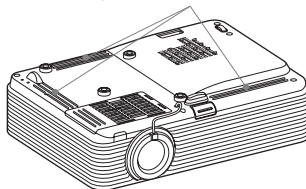


- 4** Limpie la tapa anti-polvo y la tapa del filtro de aire con una aspiradora.
- 5** Retire el filtro de aire y límpielo con una aspiradora.
Para más información, vea el paso 3 en “Limpieza del filtro de aire” (página 25).
- 6** Vuelva a colocar el filtro de aire y la tapa del filtro de aire (con la tapa anti-polvo) en la unidad.

Transporte de la unidad

Al transportar la unidad, sujétela por sus superficies antideslizantes, para evitar que se suelte.

Superficie antideslizante



Informationen zur Kurzreferenz

In dieser Kurzreferenz werden die Grundfunktionen für das Projizieren von Bildern erläutert. Es werden auch wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen erläutert, die Sie bei Handhabung und Gebrauch dieses Geräts beachten müssen.

Weitere Informationen finden Sie bei Bedarf unter „Anzeigen“, „Reinigen des Luftfilters“. Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Schritt 1

Vorbereitung.....Seite 9

Schritt 2

AnschlüsseSeite 12

Schritt 3

Projizieren.....Seite 15

AnzeigenSeite 22

Austauschen der LampeSeite 25

Reinigen des Luftfilters.....Seite 27

**Verwendung des Projektors bei
DeckenmontageSeite 28**

Tragen der Einheit.....Seite 29

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien.

Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.

Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Einlegen der Batterien

Eine Lithium-Batterie (CR2025) ist für die Fernbedienung RM-PJ8 im Lieferumfang enthalten. Verwenden Sie eine Lithium-Batterie (CR2025), um das Risiko einer Explosion zu vermeiden.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

WARNUNG

- 1 Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
- 2 Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Geräts.



Schauen Sie wie bei jeder hellen Lichtquelle nicht in den Strahl, siehe RG2 IEC 62471-5:2015.

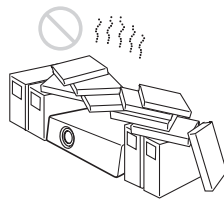
DE

Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an die Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in die Linse.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern – die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Gerätes darauf, dass Sie sich nicht die Finger am vorderen Fuß einklemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem vorderem Fuß.
- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es einen Kurzschluss und Sachschäden verursachen kann.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.

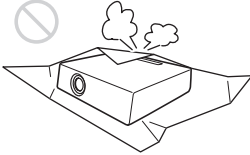
- Transportieren Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubniederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Befestigen Sie den Projektor nicht eigenhändig an der Decke bzw. stellen Sie ihn nicht eigenhändig um. Wenden Sie sich an qualifiziertes Fachpersonal von Sony (gegen eine Gebühr).
- Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind, staut sich im Geräteinneren die Wärme und es kann zu einem Brand oder Schäden am Gerät kommen. Befolgen Sie die unten aufgeführten Punkte, um eine angemessene Luftzirkulation zu gewährleisten und einen Wärmestau im Geräteinneren zu vermeiden:
- Lassen Sie um das Gerät herum Freiraum (Seite 5).



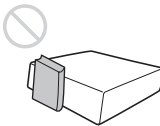
- Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) nicht durch irgendwelche Gegenstände.



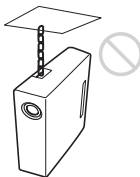
- Platzieren Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie dem Originalverpackungsmaterial, einem weichen Tuch, Papier, Teppichen oder Papierresten. Diese Materialien können durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.



- Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor die Linse. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Mit der Funktionstaste der Bildabschaltung können Sie das Bild abschalten.



- Nutzen Sie den Sicherheitsriegel nicht, um den Diebstahl des Geräts beim Transport oder der Montage des Geräts zu vermeiden. Wenn Sie das Gerät am Sicherheitsriegel aufheben oder es an diesem Riegel aufhängen, kann es herunterfallen und beschädigt werden und es kann zu Personenschäden kommen.



Für Händler

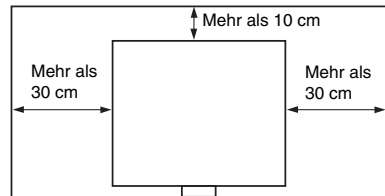
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Sicherheitshinweise zur Montage des Geräts an der Decke

- Montieren Sie den Projektor auf keinen Fall selbst an der Decke und hängen Sie ihn nicht alleine um. Wenden Sie sich dazu unbedingt an qualifizierte Sony-Fachleute (kostenpflichtig).
- Verwenden Sie bei der Montage des Geräts an der Decke unbedingt einen Sicherungsdraht o. Ä., damit das Gerät nicht herunterfallen kann. Beauftragen Sie erfahrenes Fachpersonal mit der Montage.

Info zur Installation

- Halten Sie bei der Installation die Abstände zwischen Wänden usw. und dem Gerät gemäß der Abbildung ein.



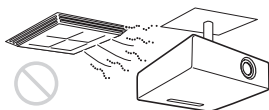
- Vermeiden Sie eine Verwendung des Geräts mit einer Neigung von mehr als 15 Grad horizontal.



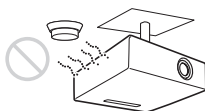
- Vermeiden Sie die Verwendung des Geräts an einem Ort, an dem die Temperatur oder Luftfeuchtigkeit sehr hoch ist oder die Temperatur sehr niedrig ist.



- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts an einem Ort, an dem es kühler oder warmer Luft von einer Klimaanlage ausgesetzt ist. Die Aufstellung an solch einem Ort kann aufgrund der Kondensation von Feuchtigkeit oder einem Temperaturanstieg zu Fehlfunktionen des Geräts führen.



- Vermeiden Sie die Aufstellung des Geräts in der Nähe eines Wärme- oder Rauchensors. Die Aufstellung an solch einem Ort kann zu Fehlfunktionen des Sensors führen.



- Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann.



- Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Installation auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Geräts in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z. B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Info zum Reinigen von Linse und Gehäuse

- Achten Sie darauf, das Netzkabel von der Netzsteckdose zu lösen, bevor Sie das Gerät reinigen.
- Wenn Sie das Gehäuse mit einem schmutzigen Tuch abwischen, kann das Gehäuse verkratzt werden.
- Wenn das Gerät flüchtigen Stoffen, wie z. B. Insektiziden, ausgesetzt ist, oder wenn das Gerät über längere Zeit in Kontakt mit einem Gummi- oder Vinylharzprodukt kommt, kann das Gerät beschädigt werden oder die Beschichtung kann sich lösen.
- Berühren Sie die Linse nicht mit bloßen Händen.
- Info zum Reinigen der Linsenfläche: Wischen Sie die Linse vorsichtig mit einem weichen Tuch ab, wie z. B. mit einem Glasreinigungstuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit Wasser befeuchtet wurde. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemischen Reinigungstücher.
- Hinweise zur Reinigung des Gehäuses: Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem weichen Tuch. Hartnäckige Flecken können mit einem weichen Tuch entfernt werden, das leicht mit einer milden Reinigungslösung befeuchtet und ausgewaschen wurde. Wischen Sie das Gehäuse danach mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie niemals Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner und verwenden Sie keine sauren, alkalischen oder aggressiven Reinigungsmittel oder chemischen Reinigungstücher.

Info zur Beleuchtung

Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.

Zur Wärmeabgabe

Die Temperatur des Projektorgehäuses kann während oder direkt nach der Verwendung ansteigen; dies stellt jedoch keine Fehlfunktion dar.

Hinweise zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Hinweise zum Lüfter

Da der Projektor im Inneren mit einem Lüfter ausgestattet ist, der einen Anstieg der internen Temperatur verhindert, kann es zu einer gewissen Geräuscentwicklung kommen. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Sie sollten sich aber an qualifiziertes Sony-Fachpersonal wenden, wenn es zu ungewöhnlichen Geräuschen kommt.

Hinweise zur Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe enthält Quecksilber, das einen hohen internen Druck hat. Eine Hochdruck-Quecksilberdampflampe hat die folgenden Merkmale:

- Die Helligkeit der Lampe sinkt, je länger die Lampe benutzt wurde.

- Die Lampe kann aufgrund einer Erschütterung, von Schäden oder einer durch die Nutzungsdauer bedingten Abnutzung mit einem lauten Geräusch platzen. Die Lampe kann erlöschen oder durchbrennen.
- Die Nutzungsdauer der Lampe variiert mit den jeweiligen Unterschieden und Nutzungsbedingungen der jeweiligen Lampe. Daher kann sie möglicherweise schon vor dem angegebenen Austauschzeitpunkt platzen oder nicht aufleuchten.
- Nachdem der Austauschzeitpunkt verstrichen ist, kann die Lampe platzen. Ersetzen Sie die Lampe sobald wie möglich durch eine neue, wenn auf dem Projektionsbild eine Meldung angezeigt wird, auch wenn die Lampe noch normal brennt.

Hinweise zum Tragen

Bei diesem Gerät handelt es sich um Präzisionstechnik. Wenn Sie das Gerät tragen, setzen Sie es keinen Erschütterungen aus und lassen Sie es nicht fallen. Andernfalls kann das Gerät beschädigt werden.

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweis zur Kondensation

Wenn sich die Temperatur in dem Raum, in dem der Projektor aufgestellt ist, schnell ändert oder wenn der Projektor plötzlich von einem kalten an einen warmen Ort gebracht wird, kann es im Inneren des Projektors zu einer Kondensation kommen. Da die Kondensation zu einer Fehlfunktion führen kann, sollten Sie bei den Temperatureinstellungen einer Klimaanlage vorsichtig sein. Lassen Sie den Projektor vor der Verwendung ungefähr zwei Stunden eingeschaltet, wenn es zu einer Kondensation gekommen ist.

Hinweise

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGlichem ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

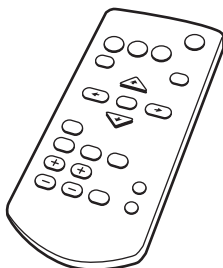
Schritt 1 Vorbereitung

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

Fernbedienung RM-PJ8 (1)

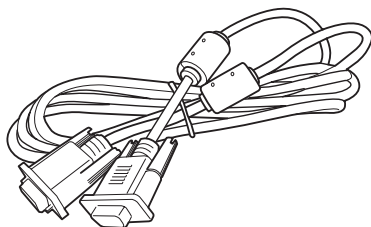
Lithiumbatterie (CR2025) (1)

Die Batterie ist bereits eingelegt.
Entfernen Sie die Isolierfolie, bevor Sie
die Fernbedienung verwenden.

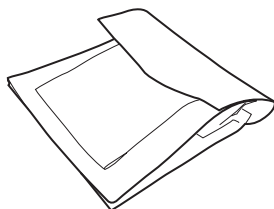


Netzkabel (1)

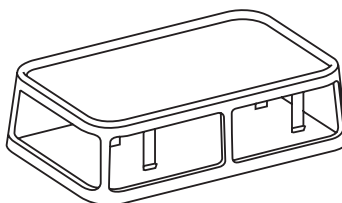
Mini-D-Sub 15-poliges Kabel (1,8 m) (1)
(1-970-584-11/Sony)



Tragetasche (1)



Staubschutz (1)



Kurzreferenz (vorliegende Anleitung) (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)

Verwenden der Anleitungen auf der CD-ROM

Die Anleitung kann auf einem Computer,
auf dem der Adobe Reader installiert ist,
gelesen werden.

Sie können den Adobe Reader kostenlos von
der Adobe-Website herunterladen.

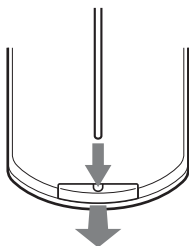
- 1 Öffnen Sie die Datei index.htm auf der
CD-ROM.
- 2 Wählen Sie die Anleitung aus, die Sie
lesen möchten, und klicken Sie darauf.

Hinweis

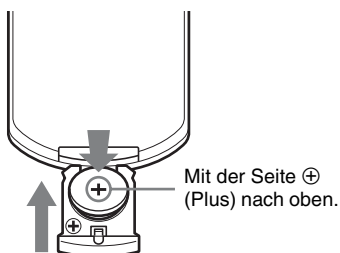
Wenn Sie die CD-ROM nicht mehr besitzen,
oder wenn sie beschädigt ist, können Sie Ersatz
bei Ihrem Sony-Händler oder der Sony-
Servicevertretung bestellen.

Einsetzen der Batterien

- 1** Ziehen Sie das Fach für die Lithium-Batterie heraus.
Ziehen Sie das Batteriefach mit einem Stift heraus, wie in der Abbildung dargestellt.



- 2** Legen Sie eine Lithium-Batterie ein.

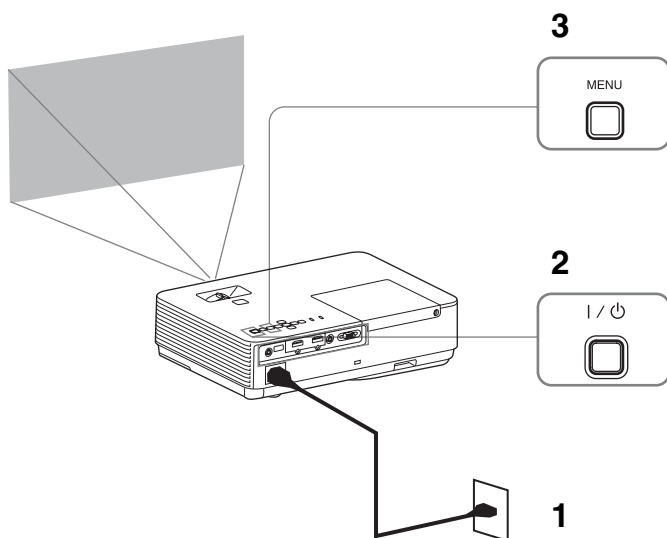


- 3** Schließen Sie das Fach für die Lithium-Batterie.

Wählen der Menüsprache

Die werkseitige Einstellung für die Sprache zur Anzeige der Menüs, Meldungen usw. ist Englisch.

Um die Sprache für die Bildschirmanzeige zu ändern, gehen Sie wie folgt vor:



1 Stecken Sie den Stecker des Netzkabels in die Netzsteckdose.

2 Schalten Sie den Projektor ein.
Drücken Sie die Taste I/⏻.

3 Rufen Sie mit der Taste MENU das Menü auf.
Wenn die Anzeige nicht richtig zu sehen ist, passen Sie die Bildschärfe, die Größe und Position des projizierten Bildes an (Seite 16).

4 Wählen Sie die Menüsprache.

- ① Drücken Sie die Taste oder zur Auswahl des Menüs Bedienung () , und drücken Sie dann die Taste ENTER.
- ② Drücken Sie die Taste oder zur Auswahl von „Sprache ()“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.



③ Drücken Sie die Taste /// zur Auswahl einer Sprache, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

5 Drücken Sie die Taste MENU, um den Menübildschirm auszublenden.

Hinweise

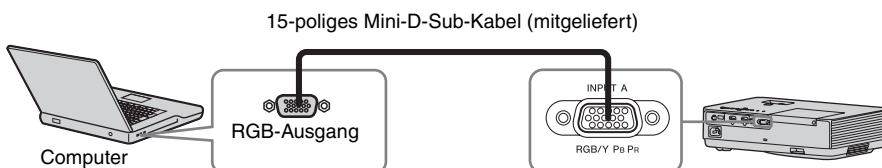
- Stellen Sie sicher, dass alle Geräte ausgeschaltet sind, wenn Sie den Projektor anschließen.
- Verwenden Sie für jede Verbindung die korrekten Kabel.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest hinein. Lose Verbindungen können die Bildqualität beeinträchtigen oder zu einer Fehlfunktion führen. Ziehen Sie beim Herausziehen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Weitere Informationen hierzu entnehmen Sie bitte auch den Bedienungsanleitungen der anzuschließenden Geräte.
- Verwenden Sie ein Audiokabel ohne Widerstand.

Anschließen an einen Computer

Im Folgenden wird das Anschließen an einen Computer bei verschiedenen Eingangssignalen erläutert.

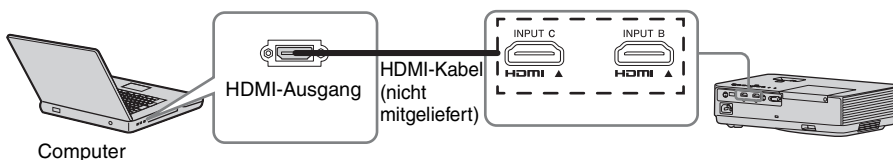
INPUT A

Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an einen Computer mit einem RGB-Ausgang anschließen.



INPUT B/INPUT C

Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an einen Computer mit einem HDMI-Ausgang anschließen.



Hinweise

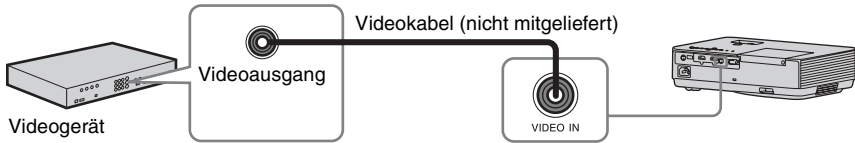
- Lediglich VPL-DX270/DX240/DW240 verfügt über den Eingang INPUT C.
- Verwenden Sie HDMI-kompatible Geräte und Kabel, die ein HDMI-Logo aufweisen.
- Verwenden Sie Hochgeschwindigkeits-HDMI-Kabel, die das Logo des Kabeltyps aufweisen. (Sony-Produkte werden empfohlen.)
- Der HDMI-Anschluss dieses Projektors ist nicht mit dem DSD (Direct Stream Digital)-Signal oder dem CEC (Consumer Electronics Control)-Signal kompatibel.
- Die Auflösungen des projizierten Bildes können je nach Eingang variieren.
- Es empfiehlt sich, am Computer die Auflösung für den externen Monitor auf 1.024×768 Pixel (VPL-DX270/DX240/DX220) bzw. 1.280×800 Pixel (VPL-DW240) einzustellen.

Anschließen eines Videogeräts

Im Folgenden wird das Anschließen an einen DVD-Player oder einen BD-Player bei verschiedenen Eingangssignalen erläutert.

VIDEO

Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an ein Videogerät mit einem Videoausgang anschließen.



INPUT A

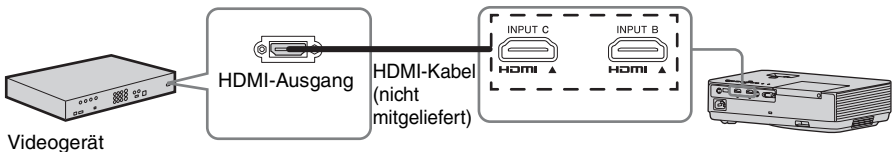
Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an ein Videogerät mit einem YPbPr-Ausgang anschließen.

Komponente – 15-poliges Mini-D-Sub-Kabel (nicht mitgeliefert)



INPUT B/INPUT C

Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an ein Videogerät mit einem HDMI-Ausgang anschließen.



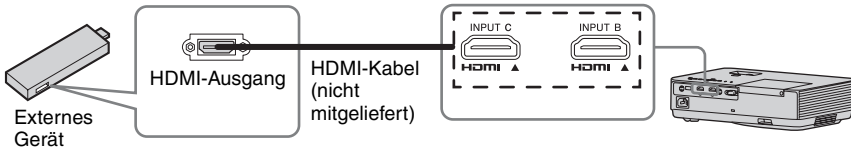
Hinweise

- Lediglich VPL-DX270/DX240/DW240 verfügt über den Eingang INPUT C.
- Verwenden Sie HDMI-kompatible Geräte und Kabel, die ein HDMI-Logo aufweisen.
- Der HDMI-Anschluss dieses Projektors ist nicht mit dem DSD (Direct Stream Digital)-Signal oder dem CEC (Consumer Electronics Control)-Signal kompatibel.
- Verwenden Sie Hochgeschwindigkeits-HDMI-Kabel, die das Logo des Kabeltyps aufweisen. (Sony-Produkte werden empfohlen.)
- Die maximale Auflösung des Eingangs INPUT C ist auf 720p eingestellt.

Anschließen eines externen Geräts

INPUT C

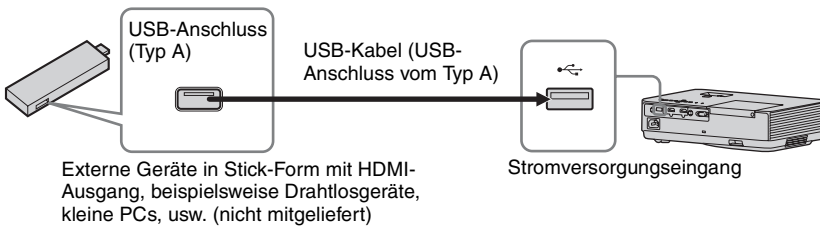
Diese Verbindung ist geeignet, wenn Sie den Projektor an ein externes Gerät mit einem HDMI-Ausgang anschließen. Verbinden Sie das externe Gerät mit INPUT C.



Versorgung des externen Gerätes mit Strom

Das Hauptgerät liefert Strom (maximal 5 V/2 A) über das USB-Kabel an das externe Gerät (Stick, usw.).

- 1 Verbinden Sie das Hauptgerät über das USB-Kabel (mit einem USB-Anschluss vom Typ A) mit dem externen Gerät.



Hinweise

- Verwenden Sie externe Geräte, die gemäß ihrer Spezifikationen mit diesem Hauptgerät genutzt werden können.
- Wenn Sie das Hauptgerät falsch anschließen, kann das externe Gerät eine Fehlfunktion verursachen. In diesem Falle übernimmt Sony keinerlei Haftung.

- 2 Stellen Sie „Stromvers.“ im Menü Verbindung/Strom auf „Ein“ ein.
Das Hauptgerät speist das externe Gerät über das USB-Kabel.

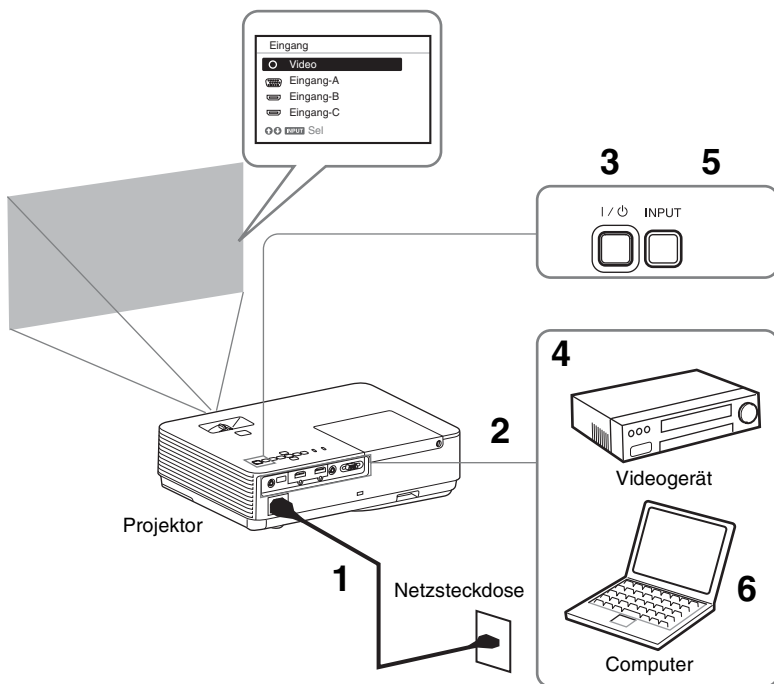
Hinweise

- Lediglich VPL-DX270/DX240/DW240 verfügt über den Eingang INPUT C.
- Verwenden Sie HDMI-kompatible Geräte und Kabel, die ein HDMI-Logo aufweisen.
- Der HDMI-Anschluss dieses Projektors ist nicht mit dem DSD (Direct Stream Digital)-Signal oder dem CEC (Consumer Electronics Control)-Signal kompatibel.
- Verwenden Sie Hochgeschwindigkeits-HDMI-Kabel, die das Logo des Kabeltyps aufweisen. (Sony-Produkte werden empfohlen.)
- Die maximale Auflösung des Eingangs INPUT C ist auf 720p eingestellt.

Schritt 3 Projizieren

Projizieren von Bildern

Wie groß ein Bild projiziert wird, hängt vom Abstand zwischen Projektor und Leinwand ab. Stellen Sie den Projektor so auf, dass das projizierte Bild auf die Leinwand passt. Einzelheiten zu Projektionsabstand und Projektionsbildgrößen finden Sie unter „Projektionsentfernung“.



- 1 Stecken Sie den Stecker des Netzkabels in die Netzsteckdose.
- 2 Schließen Sie alle Geräte an den Projektor an.
- 3 Drücken Sie die Taste I/⏻, um das Hauptgerät einzuschalten.
- 4 Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein.
- 5 Wählen Sie das Eingangssignal aus. Drücken Sie die INPUT-Taste am Projektor, um das Menü zum Umschalten des Eingangssignals auf dem Bildschirm anzuzeigen. Drücken Sie wiederholt die INPUT-Taste oder die Taste ⬆/⬇, um das zu projizierende Bild auszuwählen.
- 6 Schalten Sie die Ausgabe des Computers zum externen Anzeigergerät um, wenn Sie ein Computerbild projizieren. Das Verfahren zum Umschalten der

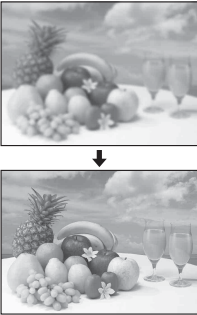
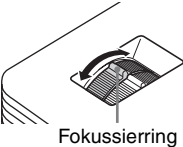
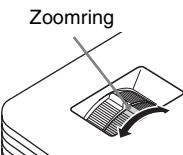
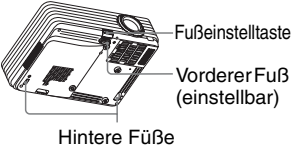
Ausgabe variiert abhängig vom Computertyp.

(Beispiel)



7 Stellen Sie Fokus, Größe und Position des projizierten Bildes ein (Seite 16).

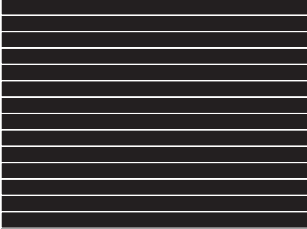
Einstellen des projizierten Bildes

Fokus	Größe (Zoom)	Position
		
 Fokussiererring	 Zoomring	 Fußeinstelltaste Vorderer Fuß (einstellbar) Hintere Füße

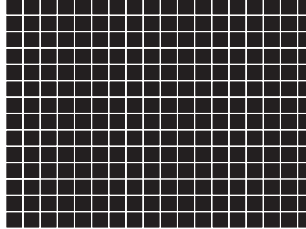
Anzeigen der Vorlagen und Muster zum Anpassen eines Bildes

Drücken Sie die Taste **PATTERN** auf der Fernbedienung, um die Vorlagen und Muster zum Anpassen eines Bildes auf dem projizierten Bild anzeigen zu lassen. Es stehen vier Vorlagen und ein Muster zur Verfügung. Die Vorlagen/Muster wechseln mit jedem Drücken der Taste **PATTERN**. Drücken Sie die Taste **MENU**, um zum vorherigen Bild zurückzukehren.

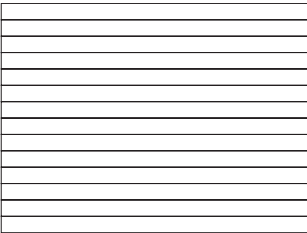
Vorlage 1



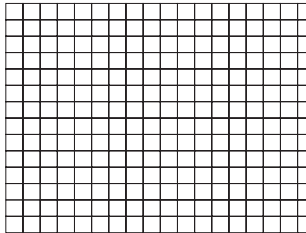
Vorlage 2



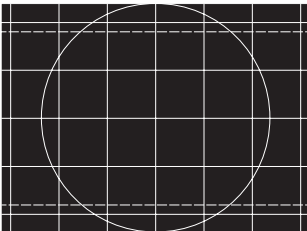
Vorlage 3



Vorlage 4



Muster zum Anpassen eines Bildes

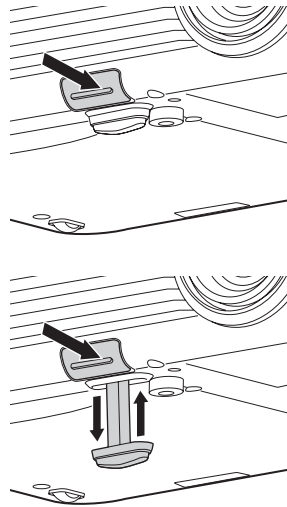


➡ Rückkehr zum vorherigen Bild.

Einstellung mit der Fußeinstelltaste

Sie können die Position des projizierten Bildes durch ein Neigen des Projektors mithilfe der Fußeinstelltaste einstellen.

- 1 Halten Sie die Fußeinstelltaste gedrückt und heben Sie die Vorderkante des Projektors an, um den Winkel anzupassen.



- 2 Wenn der gewünschte Winkel erreicht wurde, lassen Sie die Fußeinstelltaste los, um die Position zu sperren.

Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie sich beim Absenken des Projektors nicht die Finger einklemmen.
- Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Projektors bei ausgefahrenem vorderem Fuß (einstellbar).

Wechseln des Bildseitenverhältnisses des projizierten Bildes

Drücken Sie die ASPECT-Taste auf der Fernbedienung, um das Bildseitenverhältnis des projizierten Bildes zu ändern. Sie können die Einstellung auch über Seitenverhältnis im Menü Bildschirm ändern.

Korrigieren der Trapezverzerrung des projizierten Bildes (Trapezausgleichfunktion)*¹

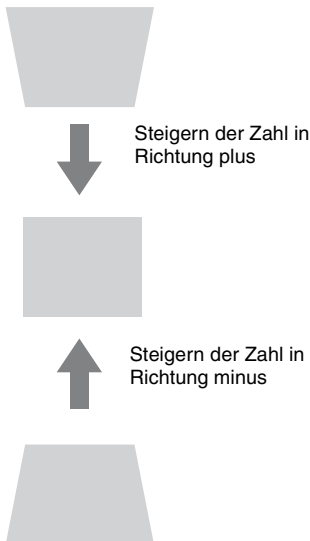
Die Trapezausgleichfunktion funktioniert möglicherweise nicht automatisch*², wenn die Leinwand geneigt ist. Stellen Sie in diesem Fall die Trapezausgleichfunktion manuell ein.

- 1 Drücken Sie auf der Fernbedienung die KEYSTONE-Taste oder wählen Sie V Trapez im Menü Installation.
- 2 Stellen Sie den Wert mit den Tasten $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ein. Je höher der Wert, desto schmaler die obere Kante des projizierten Bildes. Je niedriger der Wert, desto schmaler die untere Kante.

Hinweise

*1: Da es sich bei der Trapezausgleichsfunktion um eine elektronische Korrektur handelt, verschlechtert sich möglicherweise die Bildqualität.

*2: nur VPL-DX270/DX240/DW240.



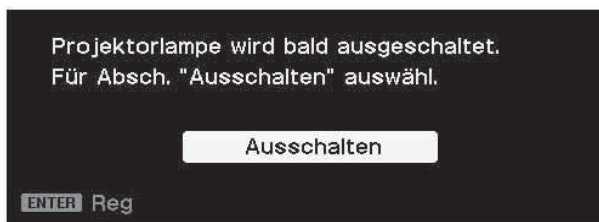
Automatisches Einstellen von Phase, Teilung und Lage des projizierten Bildes bei Signaleinspeisung von einem Computer (APA (Auto Pixel Alignment))

Drücken Sie die APA-Taste auf der Fernbedienung. Drücken Sie die Taste erneut, um die Anpassung während der Einstellung abzubrechen.

Sie können APA auch über das Menü Bildschirm einstellen. Wenn Intelligente APA im Menü Funktion auf „Ein“ gesetzt ist, wird die APA automatisch ausgeführt, wenn ein Signal eingespeist wird.

Ausschalten des Projektors

- 1 Drücken Sie die Taste I/⏻ am Hauptgerät bzw. auf der Fernbedienung.
Der Projektor wird heruntergefahren und ausgeschaltet. Wenn Sie innerhalb von 10 Sekunden ab Anzeige der Meldung die I/⏻-Taste drücken, wird der Ausschaltvorgang abgebrochen.
Wenn „Stromvers.“ auf „Ein“ eingestellt ist, drücken Sie Start, um die Meldung anzeigen zu lassen. Nach etwa zehn Sekunden schaltet sich die Lampe aus und das Gerät liefert weiterhin Strom. Wählen Sie „Für Absch. "Ausschalten" auswähl.“, um die Bereitstellung von Strom zu beenden.



Drücken Sie die Netztaaste, während die Meldung angezeigt wird, um die Lampe erneut einzuschalten.

Hinweis

Schalten Sie den Projektor nicht kurz nach dem Aufleuchten der Lampe aus. Andernfalls kann es zu einer Fehlfunktion der Lampe kommen (sie leuchtet nicht usw.).

- 2 Ziehen Sie den Stecker des Netzkabels aus der Netzsteckdose.

Ausschalten ohne Anzeigen einer Bestätigungsmeldung

Halten Sie die Taste I/⏻ am Gerät einige Sekunden lang gedrückt.

Hinweis

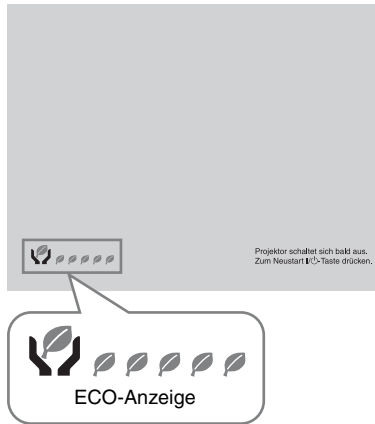
Wenn Sie das Gerät kurz nach dem Einschalten der Lampe ausschalten, erscheint die Bestätigungsmeldung, und der Ausschaltvorgang kann mehr Zeit in Anspruch nehmen.

So schalten Sie das Gerät ohne Anzeigen einer Bestätigungsmeldung aus

Halten Sie die Taste I/⏻ am Gerät einige Sekunden lang gedrückt.

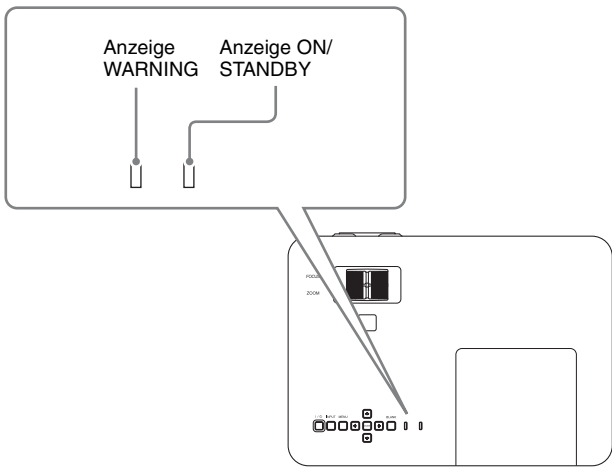
ECO-Anzeige

Diese Anzeige stellt die aktuelle Effektivität der ECO-Funktion des Projektors dar. (Einzelheiten zur ECO-Funktion finden Sie unter „Taste ECO MODE“ und „ECO“.) Die Blattsymbole erscheinen, wenn der Projektor ausgeschaltet ist. Die Anzahl der angezeigten Blattsymbole variiert je nachdem, wie viel Energie durch die Verwendung der ECO-Funktion eingespart wird.



Anzeigen

Die Anzeige ON/STANDBY und die Anzeige WARNING geben durch Leuchten bzw. Blinken Aufschluss über den Status des Projektors und weisen auf Funktionsstörungen hin. Wenn die Anzeigen rot blinken, beheben Sie das Problem wie in “Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen” (Seite 23) beschrieben.



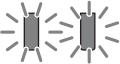
Betriebsstatusanzeige

Verhalten der Anzeige	Betriebsstatus	Bedeutung
 (Aus) (Leuchtet rot)	Bereitschaft	Das Gerät ist eingeschaltet und befindet sich im Bereitschaftsmodus.
 (Aus) (Blinkt grün)	Einschalten des Geräts	Das Gerät ist eingeschaltet und befindet sich im Einschaltmodus, bis es betriebsbereit ist.
 (Aus) (Leuchtet grün)	Eingeschaltet	Der Projektor kann zur Bildprojektion verwendet werden.
 (Aus) (Blinkt orange)	Abkühlung	Das Gerät kühlt sich nach dem Ausschalten selbst ab.

Verhalten der Anzeige	Betriebsstatus	Bedeutung
  (Aus) (Leuchtet orange)	Anderer Bereitschaftsmodus	Die Lampe ist aus.

Warnanzeigen und Abhilfemaßnahmen

Verhalten der Anzeige	Häufigkeit des Blinkens	Bedeutung	Abhilfemaßnahmen
  (Blinkt rot) (Leuchtet rot)	Zweimal	Die Lampenabdeckung ist nicht sicher angebracht.	Überprüfen Sie, wie die Lampenabdeckung angebracht ist, und befestigen Sie sie sicher.
	Dreimal	Die Lampe leuchtet nicht ordnungsgemäß.	Die Temperatur der Lampe ist ungewöhnlich hoch. Schalten Sie den Projektor aus, lassen Sie die Lampe abkühlen und schalten Sie ihn dann wieder ein. Wenn das gleiche Symptom erneut auftritt, schalten Sie den Projektor wieder aus und entfernen Sie die Lampe (Seite 25). Überprüfen Sie dann, ob die Lampe defekt ist. Wenn die Lampe nicht defekt ist, setzen Sie die Lampe wieder ein und schalten Sie den Projektor wieder ein. Wenn das Symptom erneut auftritt, ist möglicherweise die Lampe erschöpft. Tauschen Sie die Lampe in diesem Fall gegen eine neue aus (Seite 25). Wenn die Lampe defekt ist, tauschen Sie die Lampe nicht selbst aus. Wenden Sie sich an einen qualifizierten Sony-Kundendiensttechniker.

Verhalten der Anzeige	Häufigkeit des Blinkens	Bedeutung	Abhilfemaßnahmen
 (Blinkt rot) (Blinkt rot) Beide Anzeigen blinken	Zweimal	Die Temperatur im Projektor liegt außerhalb des zulässigen Bereichs.	• Überprüfen Sie, ob der Luftfilter verschmutzt ist, reinigen Sie ihn bei Bedarf oder tauschen Sie ihn aus (Seite 27). • Überprüfen Sie, ob die Lüftungsöffnungen (Einlass/Auslass) durch eine Wand oder einen Gegenstand blockiert sind, und sorgen Sie gegebenenfalls für einen ausreichenden Abstand. • Prüfen Sie die Umgebungstemperatur und verwenden Sie den Projektor innerhalb des zulässigen Betriebs-temperaturbereichs.

Wenn die Anzeigen anders blinken als oben beschrieben, lösen Sie das Netzkabel, vergewissern Sie sich, dass die Anzeige ON/STANDBY erlischt, stecken Sie das Netzkabel wieder in die Netzsteckdose und schalten Sie den Projektor ein.

Wenn das Problem weiterhin besteht, wenden Sie sich an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.

Austauschen der Lampe

Ersetzen Sie die Lampe durch eine neue, wenn die Meldung auf dem projizierten Bild angezeigt wird.

Verwenden Sie die Projektorlampe LMP-D214 (nicht mitgeliefert) als Ersatz.

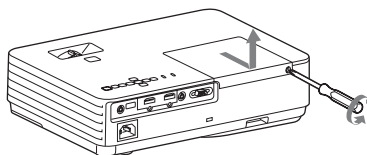
Vorsicht

- Die Lampe bleibt nach dem Ausschalten des Projektors noch heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe nach dem Ausschalten des Projektors mindestens eine Stunde lang ausreichend abkühlen, bevor Sie sie austauschen.**
- Achten Sie darauf, dass nach dem Herausnehmen der Lampe kein metallener oder entzündlicher Gegenstand in den Lampensteckplatz gerät. Andernfalls besteht die Gefahr eines elektrischen Schlags oder Feuergefahr. Greifen Sie nicht mit den Händen in den Steckplatz.

Hinweise

- **Wenn die Lampe zerbricht, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Tauschen Sie die Lampe nicht selbst aus.**
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass Sie sie gerade herausziehen und dabei an der gekennzeichneten Position halten. Wenn Sie einen anderen Bereich der Lampe außer dem gekennzeichneten Bereich berühren, können Sie sich verbrennen oder verletzen. Wenn Sie die Lampe schräg aus dem Projektor herausziehen und diese dabei bricht, können sich die Bruchstücke verstreuen und Verletzungen verursachen.

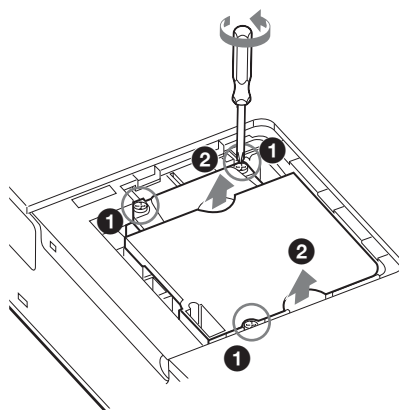
- 1** Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.
- 2** Wenn die Lampe ausreichend abgekühlt ist, öffnen Sie die Lampenabdeckung, indem Sie die 1 Schraube lösen.



Hinweis

Lösen Sie die anderen Schrauben aus Sicherheitsgründen nicht.

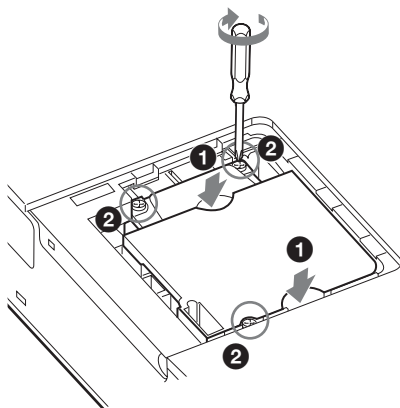
- 3** Lösen Sie die drei Schrauben und greifen Sie anschließend mit Ihren Fingern in die Vertiefungen, um die Lampe zu entfernen.



Vorsicht

Führen Sie Ihre Hände nicht in den Lampenaustauschschlitz ein und halten Sie Flüssigkeiten und andere Objekte vom Schlitz fern, **um elektrischen Schlag oder Feuer zu vermeiden.**

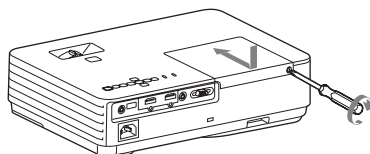
- 4 Setzen Sie die neue Lampe bis zum Anschlag ein, so dass sie richtig sitzt. Ziehen Sie die 3 Schrauben an.



Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie die Glasoberfläche der Lampe und keine inneren Leiter berühren.
- Das Gerät lässt sich nicht einschalten, wenn die Lampe nicht sicher befestigt ist.

- 5 Schließen Sie die Lampenabdeckung und ziehen Sie die 1 Schraube fest.



- 6 Schließen Sie das Netzkabel an eine Netzsteckdose an und schalten Sie den Projektor ein.
- 7 Setzen Sie den Lampentimer zurück, damit zum nächsten Lampentausch eine Benachrichtigung angezeigt wird. Wählen Sie „Lampentimer Rück“ im Menü „Funktion“ und drücken Sie dann die Taste ENTER. Wenn eine Meldung erscheint, wählen Sie „Ja“, um den Lampentimer zurückzusetzen.

Reinigen des Luftfilters

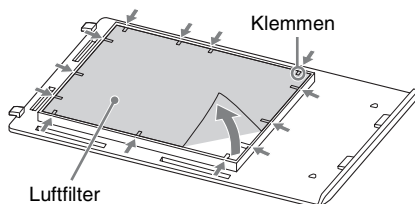
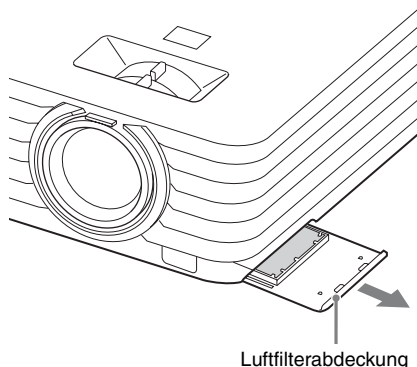
Reinigen Sie den Luftfilter, wenn auf dem projizierten Bild eine Meldung angezeigt wird, welche die Zeit für eine Filterreinigung angibt.

Falls der Luftfilter auch nach dem Reinigen nicht frei von Staub ist, tauschen Sie den Luftfilter gegen einen neuen aus. Einzelheiten zum Erwerb/Anbringen eines neuen Luftfilters erfahren Sie bei dem Händler, bei dem Sie den Projektor gekauft haben. Alternativ können Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal wenden.

Vorsicht

Si continúa utilizando el proyector después de que aparezca el mensaje, es posible que se acumule el polvo y lo obstruya. Como consecuencia, la temperatura puede aumentar en el interior de la unidad, lo que podría provocar un fallo de funcionamiento o un incendio.

- 1** Schalten Sie den Projektor aus und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.
- 2** Schieben Sie die Luftfilterabdeckung aus dem Gerät und entfernen Sie sie.
- 3** Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.
Ziehen Sie den Luftfilter heraus, um ihn zu entfernen, und reinigen Sie ihn mit einem Staubsauger.



- 4** Bringen Sie die Luftfilterabdeckung wieder am Gerät an.

Hinweis

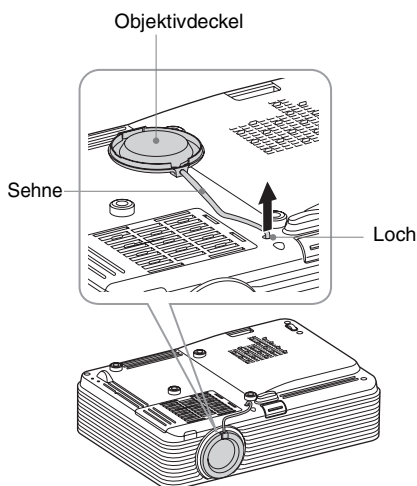
Setzen Sie den Luftfilter mit der groben Seite in Richtung der Unterseite des Geräts ein, und setzen Sie dann die Luftfilterabdeckung wieder in das Gerät ein.

Verwendung des Projektors bei Deckenmontage

Entfernen des Objektivdeckels

Falls der Objektivdeckel bei der Deckenmontage des Gerätes nicht gebraucht wird, entfernen Sie ihn.

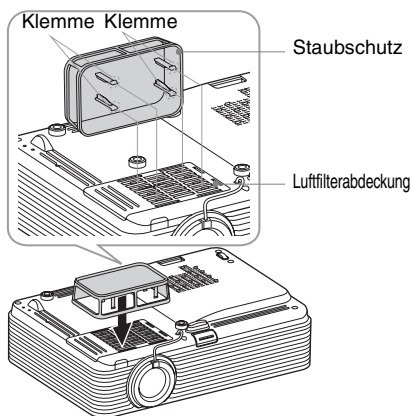
Ziehen Sie etwas stärker an der Sehne des Objektivdeckels, um ihn vom Gerät zu entfernen. Falls der Objektivdeckel benötigt wird, schieben die den Rand der Sehne in das Loch.



Anbringen des Staubschutzes

Wenn Sie den Projektor an der Decke montieren, können Sie den Staubschutz am Gerät anbringen, um einer Ansammlung von Staub im Luftfilter vorzubeugen.

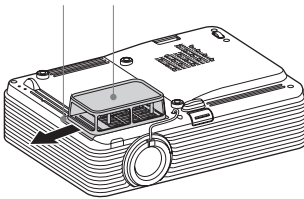
Platzieren Sie ihn so auf der Luftfilterabdeckung, dass der Staubschutz die Luftfilterabdeckung bedeckt, und stecken Sie anschließend die vier Klemmen (im Inneren des Staubschutzes) in die Löcher an der Luftfilterabdeckung.



Reinigen des Luftfilters und seiner umliegenden Teile

- 1** Schalten Sie das Gerät aus und ziehen Sie das Netzkabel aus der Steckdose.
- 2** Wischen Sie mit einem sauberen Tuch über den Staubschutz, um den Staub zu entfernen.
- 3** Ziehen Sie die Luftfilterabdeckung gemeinsam mit dem angebrachten Staubschutz heraus.

Luftfilterabdeckung Staubschutz

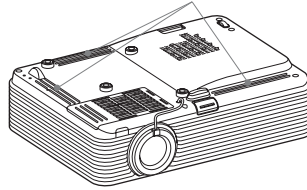


- 4** Reinigen Sie den Staubschutz und die Luftfilterabdeckung mit einem Staubsauger.
- 5** Entfernen Sie den Luftfilter und reinigen Sie ihn anschließend mit einem Staubsauger.
Beachten Sie für Einzelheiten Schritt 3 unter „Reinigen des Luftfilters“ (Seite 27).
- 6** Setzen Sie den Luftfilter wieder ein und bringen Sie die Luftfilterabdeckung (gemeinsam mit dem Staubschutz) wieder am Gerät an.

Tragen der Einheit

Wenn Sie die Einheit tragen, greifen Sie sie an den rutschhemmenden Oberflächen, um ein Fallenlassen zu vermeiden.

Rutschhemmende Oberfläche



Informazioni sulla Guida rapida all'uso

Questa Guida rapida all'uso spiega le operazioni di base per la proiezione di immagini. Inoltre, sono descritte note e precauzioni importanti a cui prestare attenzione durante l'uso di questa unità.

Consultare "Spie", "Pulizia del filtro dell'aria", secondo le necessità.

Per i dettagli sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.

Punto 1

PreparazionePagina 8

Punto 2

CollegamentoPagina 11

Punto 3

ProiezionePagina 14

SpiePagina 21

Sostituzione della lampada.....Pagina 23

Pulizia del filtro dell'ariaPagina 25

Quando si utilizza il proiettore montato sul soffittoPagina 26

Trasporto dell'unità.....Pagina 27

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

**AVVERTENZA
QUESTO APPARECCHIO DEVE
ESSERE COLLEGATO A MASSA.**

ATTENZIONE

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.

Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Inserimento delle pile

Una batteria al litio (CR2025) è in dotazione con il telecomando RM-PJ8. Per evitare rischi di esplosione, utilizzare una batteria al litio (CR2025).

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

AVVERTENZA

- 1 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
- 2 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina conformi alla rete elettrica (voltage, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.



Come per qualsiasi sorgente luminosa intensa, non fissare direttamente il fascio di luce, RG2 IEC 62471-5:2015.

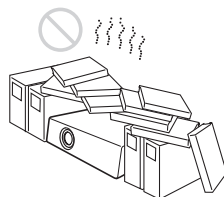
IT

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel telaio, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non avvicinare mani o oggetti alle prese di ventilazione: l'aria che ne fuoriesce è molto calda.
- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel piedino anteriore. Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il piedino anteriore è allungato.
- Non usare un cavo di prolunga di tensione nominale inferiore che potrebbe causare corti circuiti e infortuni.
- Nello spostare il proiettore installato sul pavimento, non pizzicare le dita fra l'unità e la superficie del pavimento.
- Non trasportare il proiettore con il telaio e il coperchio aperto.
- Non installare l'unità in una posizione prossima a sorgenti di calore quali radiatori o condotti di aria, oppure in un luogo esposto alla luce solare diretta, a polvere o umidità eccessiva, vibrazione meccanica o urti.

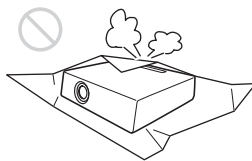
- Non montare mai il proiettore sul soffitto o spostarlo da soli. Rivolgersi a personale qualificato Sony (servizio a pagamento).
- Se i fori di aerazione sono ostruiti, il calore potrebbe accumularsi all'interno e causare incendi o danni all'unità. Per consentire un'adeguata circolazione dell'aria e impedire l'accumulo di calore all'interno, attenersi alle indicazioni riportate di seguito:
- Lasciare dello spazio attorno all'unità (pagina 5).



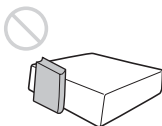
- Evitare di coprire i fori di aerazione (scarico/aspirazione).



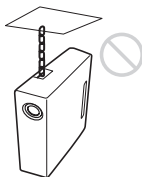
- Non collocare l'unità sull'imballaggio originale, su tessuti morbidi, carta, tappeti o frammenti di carta. I fori di aerazione potrebbero aspirare tali materiali.



- Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Utilizzare il tasto della funzione di disattivazione dell'immagine per escludere l'immagine.



- Non utilizzare la barra di sicurezza, pensata per impedire il furto, al fine di trasportare o installare l'unità. Se l'unità viene sollevata o viene appesa per mezzo della barra di sicurezza, l'unità potrebbe cadere e danneggiarsi, provocando eventualmente infortuni.



Per rivenditori

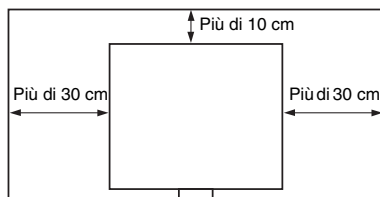
- Fissare saldamente il coperchio dell'unità per una installazione sul soffitto sicura.

Precauzioni di sicurezza per l'installazione dell'unità sul soffitto

- Non montare mai il proiettore sul soffitto né spostarlo da soli. Per l'installazione rivolgersi a personale Sony qualificato (a pagamento).
- Se si installa l'unità sul soffitto, accertarsi di utilizzare un cavetto di sicurezza, ecc., per impedire la caduta dell'unità. Affidare l'installazione a un installatore specializzato.

Informazioni sull'installazione

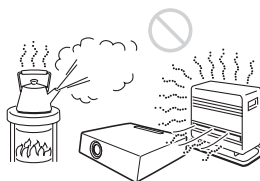
- Durante l'installazione dell'unità, lasciare uno spazio tra qualsiasi parete, ecc. e l'unità come illustrato.



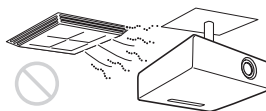
- Evitare di utilizzare l'unità se è inclinata di più di 15 gradi in orizzontale.



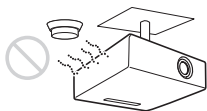
- Evitare di utilizzare l'unità in un ambiente in cui la temperatura o l'umidità è molto elevata o in cui la temperatura è molto bassa.



- Evitare di installare l'unità in un luogo su cui è diretta l'aria fredda o calda di un climatizzatore. L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare problemi di funzionamento dell'unità, dovuti alla condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.



- Evitare di installare l'unità in prossimità di un sensore di calore o di fumo. L'installazione in tali posizioni può causare problemi di funzionamento del sensore.



- Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità.



- Quando si usa l'unità a un'altitudine di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu Installazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

Pulizia dell'obiettivo e del telaio

- Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA prima della pulizia.
- Non sfregare l'unità con un panno non pulito, onde evitare di graffiarla.
- Se l'unità è esposta a materiali volatili, come gli insetticidi, o se rimane in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, l'unità potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.
- Non toccare l'obiettivo a mani nude.
- Pulizia della superficie dell'obiettivo: Pulire delicatamente l'obiettivo con un panno morbido, ad esempio un panno per la pulizia degli occhiali. Rimuovere le macchie persistenti con un panno morbido leggermente inumidito con acqua. Non

utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

- Pulizia del telaio: Pulire delicatamente il telaio con un panno morbido. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno morbido leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata e strizzato, quindi asciugare con un panno morbido asciutto. Non utilizzare solventi quali alcol, benzina o diluenti, detergenti alcalini, abrasivi o acidi, oppure panni per pulizia contenenti agenti chimici.

Illuminazione

Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.

Informazioni sulla dissipazione termica

La temperatura all'interno della scocca del proiettore potrebbe aumentare durante o immediatamente dopo l'uso, tuttavia non si tratta di un'anomalia di funzionamento.

Schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Ventola

Il proiettore è munito di una ventola interna per impedire l'innalzamento della temperatura interna, pertanto potrebbe produrre qualche rumore. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento. Tuttavia, in caso di rumori anomali è consigliabile rivolgersi a personale Sony qualificato.

Lampada

La lampada utilizzata come sorgente luminosa contiene mercurio ad alta pressione interna. Una lampada a mercurio ad alta pressione presenta le caratteristiche indicate di seguito:

- La luminosità della lampada diminuisce con il trascorrere del tempo.
- La lampada potrebbe rompersi, producendo un forte rumore, a seguito di urti, danni o deterioramenti causati dal trascorrere del tempo. La lampada può spegnersi e bruciarsi.
- La durata della lampada dipende dalle singole differenze e dalle condizioni di utilizzo di ciascuna lampada. Potrebbe pertanto rompersi o non illuminare correttamente anche prima del tempo di sostituzione specificato.
- Potrebbe inoltre rompersi dopo che è trascorso il tempo di sostituzione. Effettuare la sostituzione con una lampada nuova il prima possibile nel caso venga visualizzato un messaggio sull'immagine proiettata, anche se la lampada illumina tuttora normalmente.

Per il trasporto

Si tratta di apparecchiatura di precisione. Quando si trasporta l'unità, non sottoporla a urti o cadute. Potrebbe danneggiarsi.

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. È un risultato normale del processo di fabbricazione e non è indice di problemi di funzionamento.

Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Informazioni sulla condensa

Se la temperatura dell'ambiente dove il proiettore installato cambia rapidamente, o se il proiettore viene improvvisamente spostato da una stanza fredda a una calda, è possibile che sul proiettore si formi condensa. Dato che la condensa può provocare malfunzionamenti, prestare attenzione alle regolazioni delle impostazioni di temperatura del condizionatore d'aria. Se si forma condensa, lasciare il proiettore acceso per circa due ore prima dell'uso.

Note

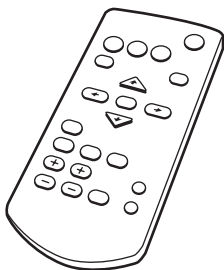
- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Verifica degli accessori in dotazione

Telecomando RM-PJ8 (1)

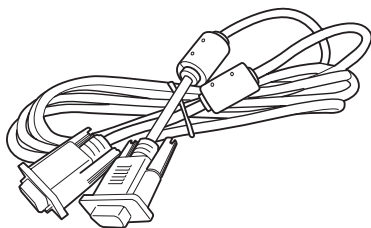
Batteria al litio (CR2025) (1)

La batteria è già installata. Prima di utilizzare il telecomando, rimuovere la pellicola di isolamento.

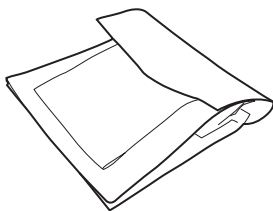


Cavo di alimentazione CA (1)

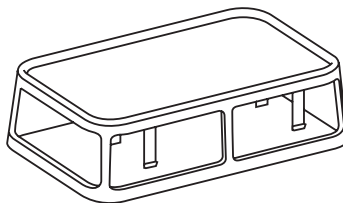
Cavo Mini D-sub a 15 piedini (1,8 m) (1)
(1-970-584-11/Sony)



Custodia (1)



Coperchio per la polvere (1)



Guida rapida all'uso (questo manuale) (1)

Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)

Uso del manuale su CD-ROM

Il manuale può essere letto esclusivamente su un computer su cui è installato Adobe Reader.

È possibile scaricare gratuitamente Adobe Reader dal sito web di Adobe.

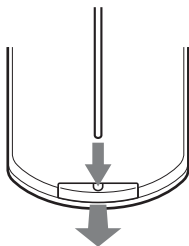
- 1** Aprire il file `index.html` nel CD-ROM.
- 2** Selezionare e fare clic sul manuale che si desidera leggere.

Nota

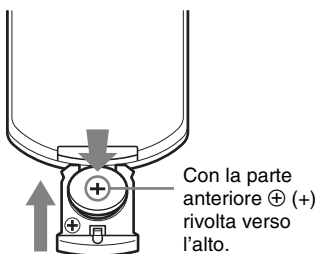
In caso di perdita o di danneggiamento del CD-ROM, è possibile acquistarne uno nuovo da un rivenditore Sony o rivolgendosi all'assistenza Sony.

Inserimento delle pile

- 1** Estrarre la batteria al litio dal relativo alloggiamento.
Estrarre dall'alloggiamento la batteria con un bastoncino come illustrato.



- 2** Inserire una batteria al litio.

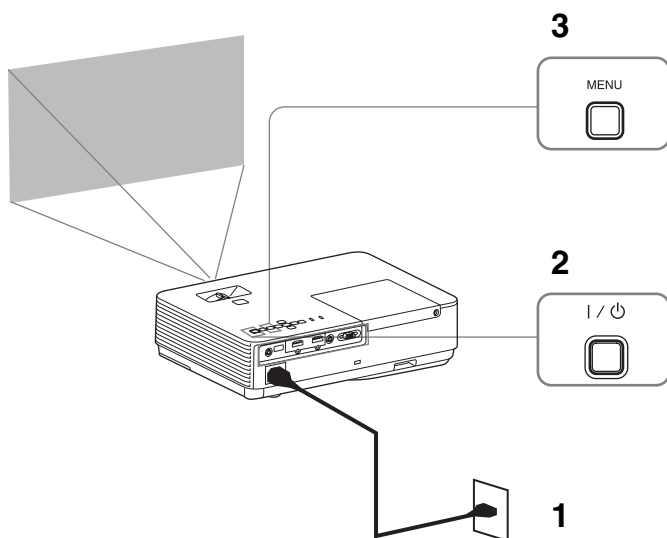


- 3** Chiudere l'alloggiamento della batteria al litio.

Selezione della lingua del menu

L'impostazione di fabbrica relativa alla lingua di visualizzazione di menu, messaggi e simili è l'inglese.

Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo, procedere come indicato di seguito:



1 Inserire il cavo di alimentazione CA in una presa a muro.

2 Accendere il proiettore.
Premere il tasto I/Power.

3 Premere il tasto MENU per visualizzare il menu.
Se non è possibile visualizzare correttamente le indicazioni, regolare la messa a fuoco, la dimensione e la posizione dell'immagine proiettata (pagina 15).

4 Selezionare la lingua per i menu.

① Premere il tasto $\uparrow$ o $\downarrow$ per selezionare il menu Funzionamento (), quindi premere il tasto ENTER.

② Premere il tasto $\uparrow$ o $\downarrow$ per selezionare "Linguaggio ()", quindi premere il tasto ENTER.



③ Premere il tasto $\uparrow$ / $\downarrow$ / $\leftarrow$ / $\rightarrow$ per selezionare una lingua, quindi premere il tasto ENTER.

5 Premere il tasto MENU per chiudere la schermata di menu.

Note

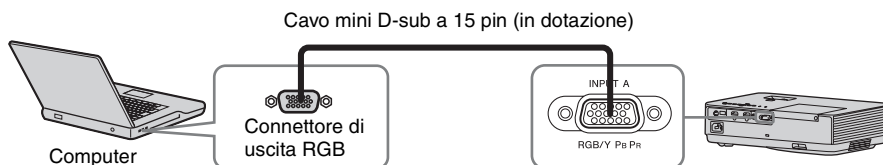
- Assicurarsi che tutte le apparecchiature siano spente quando si collega il proiettore.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi; eventuali collegamenti instabili potrebbero ridurre le prestazioni dei segnali di immagine o causare malfunzionamenti. Per scollegare un cavo, tirare la spina, non il cavo stesso.
- Per maggiori informazioni, fare riferimento anche ai manuali d'uso delle apparecchiature collegate.
- Utilizzare un cavo audio a resistenza nulla.

Collegamento di un computer

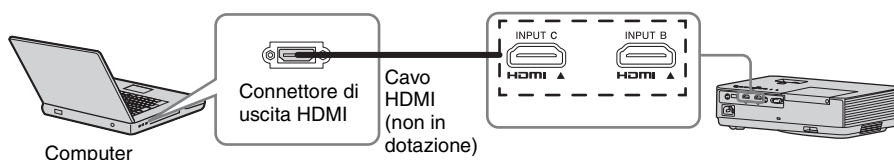
Viene spiegato come collegare un computer per ogni segnale di ingresso.

INPUT A

Per il collegamento a un computer con un connettore di uscita RGB.

**INPUT B**

Per il collegamento a un computer con un connettore di uscita HDMI.

**Note**

- Solo VPL-DX270/DX240/DW240 sono dotati del terminale INPUT C.
- Utilizzare un'apparecchiatura HDMI compatibile e cavi con logo HDMI.
- Utilizzare cavi HDMI ad alta velocità su cui sia riportato il logo del tipo di cavo. (Si consiglia di utilizzare prodotti Sony.)
- Il connettore HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).
- La risoluzione dell'immagine proiettata può variare a seconda del terminale di ingresso.
- Si consiglia di impostare la risoluzione del computer a 1024 × 768 pixel (VPL-DX270/DX240/DX220) o 1280 × 800 pixel (VPL-DW240) per il monitor esterno.

Collegamento di un'apparecchiatura video

Sono disponibili spiegazioni sui collegamenti a un lettore DVD o a un lettore BD per ciascun segnale di ingresso.

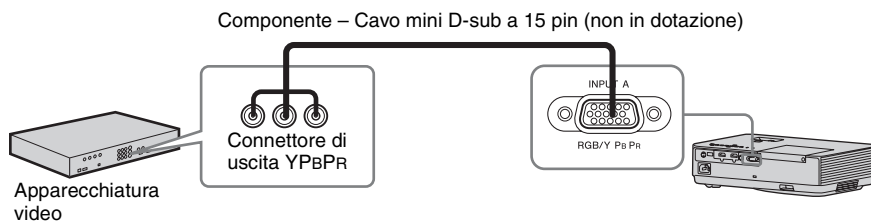
VIDEO

Per il collegamento dell'apparecchiatura video con un connettore di uscita video.



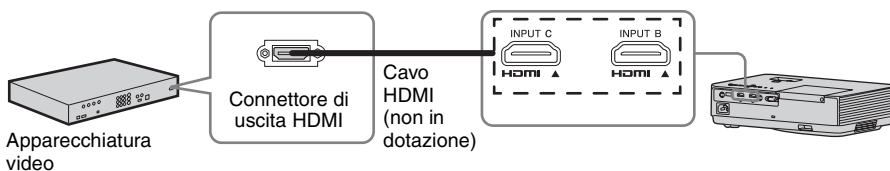
INPUT A

Per il collegamento dell'apparecchiatura video con un connettore di uscita YPbPr.



INPUT B/INPUT C

Per il collegamento dell'apparecchiatura video con un connettore di uscita HDMI.



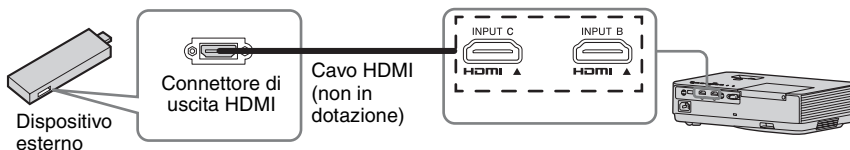
Note

- Solo VPL-DX270/DX240/DW240 sono dotati del terminale INPUT C.
- Utilizzare un'apparecchiatura HDMI compatibile e cavi con logo HDMI.
- Il connettore HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).
- Utilizzare cavi HDMI ad alta velocità su cui sia riportato il logo del tipo di cavo. (Si consiglia di utilizzare prodotti Sony.)
- La risoluzione massima del terminale INPUT C è impostata a 720p.

Collegamento a un dispositivo esterno

INPUT C

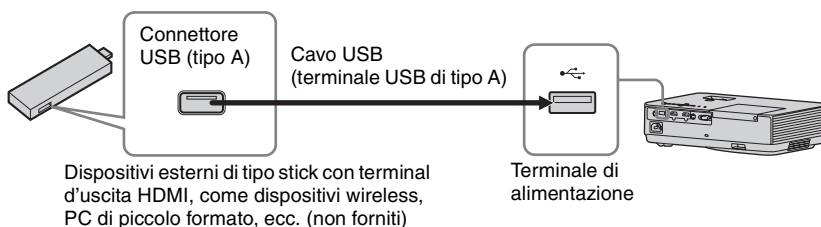
Per collegare l'unità a un dispositivo esterno con un terminale di uscita HDMI. Collegare il dispositivo esterno a INPUT C.



Erogare alimentazione al dispositivo esterno

L'unità eroga alimentazione (massimo 5V/2A) tramite il cavo USB al dispositivo esterno (PC di tipo stick, ecc.).

- 1 Collegare l'unità al dispositivo esterno usando il cavo USB (con terminale USB di tipo A).



Note

- Utilizzare dispositivi esterni con le specifiche appropriate per l'uso con questa unità.
- Se si connette l'unità nel modo errato, il dispositivo esterno può provocare un malfunzionamento. In questo caso, Sony non si assume alcuna responsabilità.

- 2 Impostare "Alimentazione" a "Inser." nel Menu Colleg./Aliment..

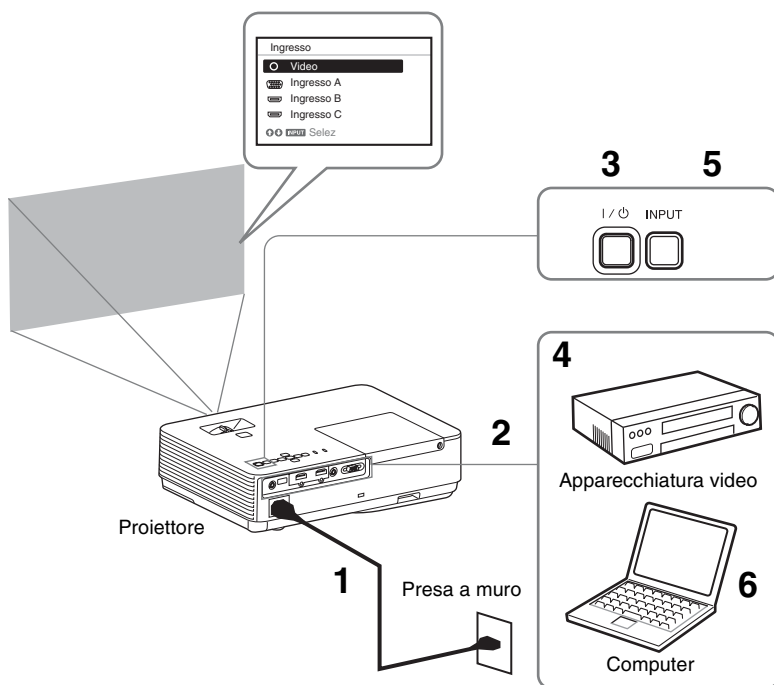
L'unità eroga l'alimentazione al dispositivo esterno tramite il cavo USB.

Note

- Solo VPL-DX270/DX240/DW240 sono dotati del terminale INPUT C.
- Utilizzare un'apparecchiatura HDMI compatibile e cavi con logo HDMI.
- Il connettore HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).
- Utilizzare cavi HDMI ad alta velocità su cui sia riportato il logo del tipo di cavo. (Si consiglia di utilizzare prodotti Sony.)
- La risoluzione massima del terminale INPUT C è impostata a 720p.

Proiezione dell'immagine

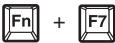
Le dimensioni dell'immagine proiettata dipendono dalla distanza tra il proiettore e lo schermo. Installare il proiettore in modo che l'immagine proiettata rientri nelle dimensioni dello schermo. Per i dettagli sulle distanze di proiezione e sulle dimensioni dell'immagine proiettata, vedere "Distanza di proiezione".



- 1** Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa a muro.
- 2** Collegare tutte le apparecchiature al proiettore.
- 3** Premere il tasto I/⏻ per accendere l'unità.
- 4** Accendere l'apparecchiatura collegata.
- 5** Selezionare la sorgente d'ingresso. Premere il tasto INPUT sul proiettore per visualizzare sullo schermo il menu di commutazione del segnale di ingresso. Premere più volte il tasto INPUT oppure premere il tasto ⬆/⬇ per selezionare un'immagine da proiettare.
- 6** Per proiettare un'immagine proveniente da un computer, commutare l'uscita del computer sul monitor esterno.

Il metodo di commutazione dell'uscita varia in funzione del tipo di computer.

(Esempio)



7 Regolare la messa a fuoco, le dimensioni e la posizione dell'immagine proiettata (pagina 15).

Regolazione dell'immagine proiettata

Messa a fuoco	Dimensioni (Zoom)	Posizione
Ghiera della messa a fuoco	Ghiera dello zoom	Pulsante di regolazione piedino Piedino anteriore (regolabile) Piedini posteriori

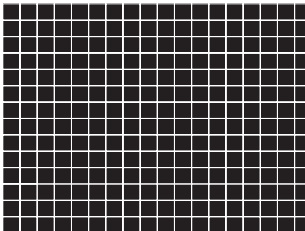
Visualizzare gli schemi e i motivi per la regolazione di un'immagine

Premere il pulsante **PATTERN** del telecomando per visualizzare gli schemi e i motivi per la regolazione dell'immagine proiettata. Vi sono quattro schemi e un motivo. Ogni volta che si preme il pulsante **PATTERN**, i motivi/schemi si alternano. Premere il pulsante **MENU** per tornare all'immagine precedente.

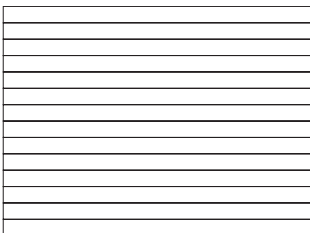
Schema 1



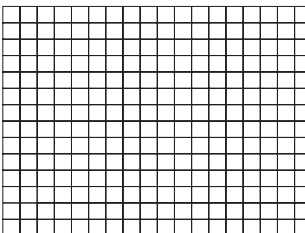
Schema 2



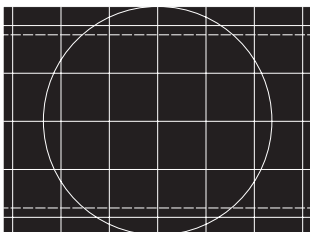
Schema 3



Schema 4



Motivo per la regolazione di un'immagine

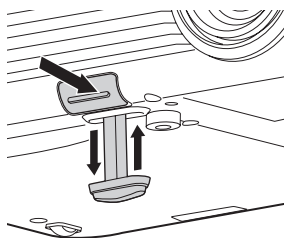
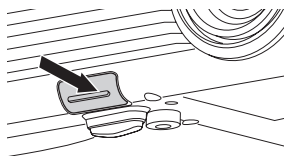


Ritorna all'immagine precedente.

Regolazione con la leva di regolazione del piedino

È possibile regolare la posizione dell'immagine proiettata inclinando il proiettore con la leva di regolazione del piedino.

- 1 Tenere premuto il pulsante di regolazione piedino, quindi alzare la parte anteriore del proiettore per regolare l'angolazione.



- 2 Una volta ottenuta la regolazione desiderata, rilasciare il pulsante di regolazione piedino per bloccare la posizione.

Note

- Prestare attenzione a non pizzicare le dita sotto il proiettore.
- Non premere con forza la parte superiore del proiettore quando il piedino anteriore (regolabile) è allungato.

Modifica del rapporto di formato dell'immagine proiettata

Premere il tasto ASPECT sul telecomando per modificare il rapporto di formato dell'immagine proiettata. È possibile modificare anche l'impostazione in Formato del menu Schermo.

Correzione della distorsione trapezoidale dell'immagine proiettata (funzione Trapezio)*1

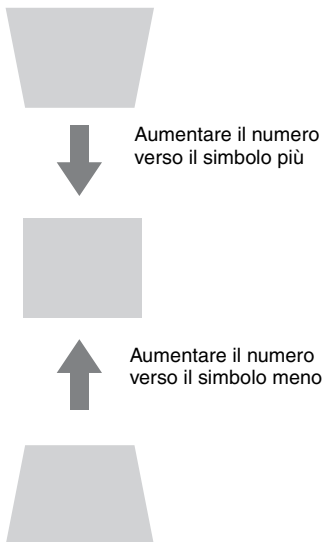
La funzione Trapezio potrebbe non funzionare automaticamente*2 quando lo schermo è inclinato. In questo caso, impostare manualmente la funzione Trapezio.

- 1 Premere il tasto KEYSTONE sul telecomando o selezionare Trapezio V nel menu Installazione.
- 2 Utilizzare i tasti $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ per impostare il valore. Maggiore è il valore, più stretta è la parte superiore dell'immagine proiettata. Minore è il valore più è stretta la parte inferiore.

Note

*1: Poiché la regolazione Trapezio è una correzione elettronica, l'immagine potrebbe risultare deteriorata.

*2: solo VPL-DX270/DX240/DW240.



Consente di regolare automaticamente la Fase, il Passo e lo Spostamento dell'immagine proiettata durante l'ingresso di un segnale da un computer (APA (Allineamento pixel automatico))

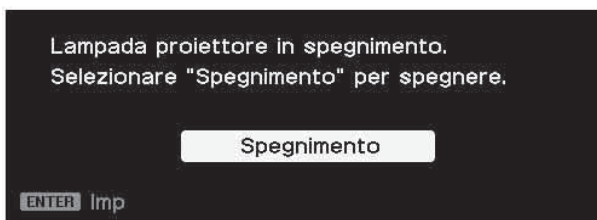
Premere il tasto APA sul telecomando. Per annullare la regolazione durante l'impostazione, premerlo una seconda volta.

È anche possibile impostare APA nel menu Schermo. Se APA intelligente nel menu Funzione è impostato su "Inser.", la funzione APA viene eseguita automaticamente quando si riceve un segnale in ingresso.

Spegnimento

- 1 Premere il tasto I/⏻ sull'unità o sul telecomando.

Il proiettore si spegne e l'alimentazione viene disattivata. Premendo nuovamente il tasto I/⏻ entro 10 secondi dalla visualizzazione del messaggio, lo spegnimento viene annullato. Quando "Alimentazione" è impostata a "Inser.," premere avvio per visualizzare il messaggio. Dopo circa dieci secondi, la lampada si spegnerà, e l'unità continuerà a erogare l'alimentazione. Scegliere "Selezionare "Spegnimento" per spegnere." per interrompere l'erogazione dell'alimentazione.



Premere il pulsante di alimentazione mentre è visualizzato il messaggio per accendere nuovamente la lampada.

Nota

Non spegnere il proiettore subito dopo l'accensione della lampada. In caso contrario potrebbe verificarsi un malfunzionamento della lampada (non si accende ecc.).

- 2 Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.

Spegnimento senza visualizzazione del messaggio di conferma

Tenere premuto il tasto I/⏻ sull'unità per alcuni secondi.

Nota

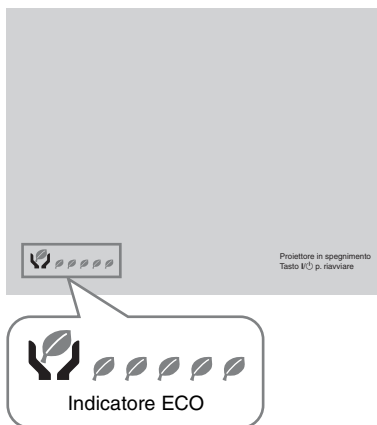
Se si spegne l'unità subito dopo l'accensione della lampada, verrà visualizzato il messaggio di conferma e la procedura di spegnimento dell'unità potrebbe richiedere più tempo.

Spegnere senza che venga visualizzato il messaggio di conferma

Tenere premuto il tasto I/⏻ sull'unità per alcuni secondi.

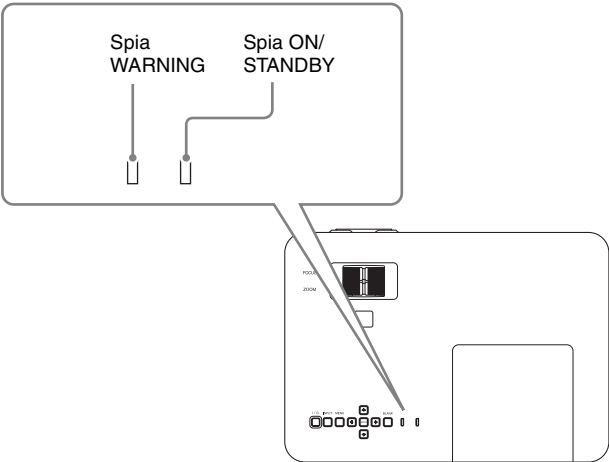
Indicatore ECO

Questo indicatore mostra l'attuale efficacia della funzione ECO del proiettore. (Per informazioni sulla funzione ECO, vedere “Tasto ECO MODE” ed “ECO”.) Quando il proiettore viene spento, vengono visualizzate le icone a forma di foglia. Il numero di icone foglia visualizzate varia a seconda della quantità di energia risparmiata grazie all'intervento della funzione ECO.



Spie

È possibile verificare lo stato o anomalie del proiettore controllando lo stato di illuminazione/ lampeggiamento della spia ON/STANDBY e della spia WARNING. Se le spie lampeggiano in rosso, risolvere il problema come indicato in “Spie di avvertimento e soluzioni” (pagina 22).



Indicazione dello stato di funzionamento

Stato spia	Stato di funzionamento	Significato
 (Spenta) (Accesa, rossa)	Attesa	L'unità viene accesa e portata in modalità di sospensione.
 (Spenta) (Lampeggiante, verde)	Avvio dell'unità	L'unità viene accesa e portata in modalità di accensione fino a quando è pronta per funzionare.
 (Spenta) (Accesa, verde)	Accensione	Il proiettore è pronto per la proiezione.
 (Spenta) (Lampeggia in arancione)	Raffreddamento	L'unità si sta ventilando dopo essere stata spenta.

Stato spia	Stato di funzionamento	Significato
 (Spenta)	 (Accesa, arancione)	Altro stato di attesa La lampada è spenta.

Spie di avvertimento e soluzioni

Stato spia	Numero di lampeggiamenti	Significato	Soluzioni
 (Accesa, rossa)	 (Lampeggiante, rossa)	Due Il pannello della lampada non è fissato saldamente.	Controllare come è stato installato il coperchio della lampada, assicurandosi che sia ben fissato.
	Tre	La lampada non illumina correttamente.	La temperatura della lampada è insolitamente elevata. Spegnere il proiettore e riaccenderlo dopo che la lampada si è raffreddata. Se si verifica ancora lo stesso problema, spegnere nuovamente il proiettore e rimuovere la lampada (pagina 23), quindi verificare che la lampada non sia danneggiata. Se la lampada non è danneggiata, fissare nuovamente la lampada e riaccendere il proiettore. Se il problema si verifica ancora, è possibile che la lampada sia esaurita. In questo caso, sostituire la lampada con una nuova (pagina 23). Se la lampada è danneggiata, non effettuare la sostituzione della lampada da soli. Rivolgersi a personale Sony qualificato.
 (Lampeggiante, rossa)	 (Lampeggiante, rossa)	Due La temperatura del proiettore è anomala.	• Verificare se il filtro dell'aria è intasato, quindi pulirlo o sostituirlo (pagina 25). • Verificare che le prese di ventilazione (aspirazione/scarico) non siano ostruite da un muro o da un oggetto e assicurare uno spazio sufficiente. • Verificare la temperatura ambiente e utilizzare il proiettore entro la gamma di temperatura di funzionamento.

Entrambe le spie lampeggiano

Se le spie lampeggiano in modi differenti da quelli descritti, scollegare il cavo di alimentazione CA e accertarsi che la spia ON/STANDBY si spenga. Inserire quindi la spina del cavo di alimentazione CA nella presa a muro e accendere il proiettore. Se il problema persiste, rivolgersi a personale Sony qualificato.

Sostituzione della lampada

Sostituire la lampada con una nuova se viene visualizzato un messaggio sull'immagine proiettata.

Per la sostituzione, utilizzare una lampada per proiettore LMP-D214 (non in dotazione).

Attenzione

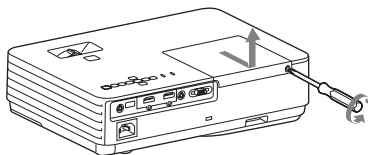
- La lampada resta calda dopo aver spento il proiettore. **Toccando la lampada, ci si potrebbe ustionare le dita. Quando si sostituisce la lampada, aspettare almeno un'ora dopo lo spegnimento del proiettore affinché si raffreddi a sufficienza.**
- Non consentire la penetrazione di oggetti metallici o infiammabili nell'alloggiamento della lampada dopo la rimozione di quest'ultima, per evitare scosse elettriche o incendi. Non inserire le mani nell'alloggiamento.

Note

- **Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale Sony qualificato. Non sostituire personalmente la lampada.**
- Durante la rimozione della lampada, afferrarne il punto di presa e tirarla nella posizione prevista. Se si tocca una parte della lampada diversa dalla posizione prevista, si potrebbero riportare infortuni o ustioni. Se la lampada viene tirata mentre il proiettore è inclinato, in caso di rottura i frammenti potrebbero disperdersi, causando infortuni.

- 1** Spegnerne il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa di rete.

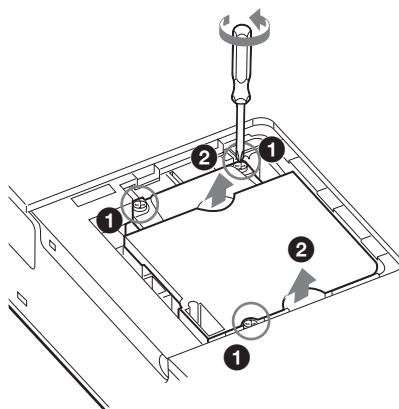
- 2** Quando la lampada si è raffreddata sufficientemente, aprire il pannello della lampada allentando 1 vite.



Nota

Per ragioni di sicurezza, non svitare nessun'altra vite.

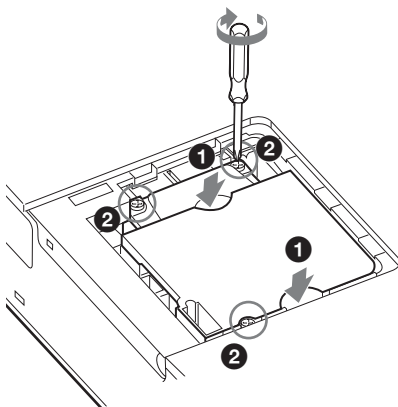
- 3** Allentare le tre viti, quindi afferrare con le dita gli incavi per rimuovere la lampada.



Attenzione

Non infilare le mani nella fessura di sostituzione della lampada, e non versare liquidi o fare cadere altri oggetti nella fessura, **onde evitare folgorazioni o incendi**.

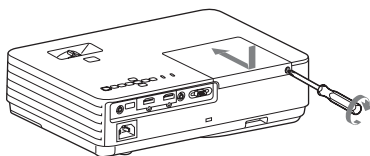
- 4 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione. Serrare le 3 viti.



Note

- Fare attenzione a non toccare la superficie in vetro della lampada o un conduttore interno.
- L'alimentazione non viene attivata se la lampada non è fissata correttamente.

- 5 Chiudere il pannello della lampada e serrare 1 vite.



- 6 Collegare il cavo di alimentazione CA a una presa a muro e accendere il proiettore.

- 7 Azzerare il timer della lampada per la notifica della successiva sostituzione. Selezionare "Reimp. timer lamp." nel menu Funzione, quindi premere il tasto ENTER. Quando viene visualizzato un messaggio, selezionare "Sì" per azzerare il timer della lampada.

Pulizia del filtro dell'aria

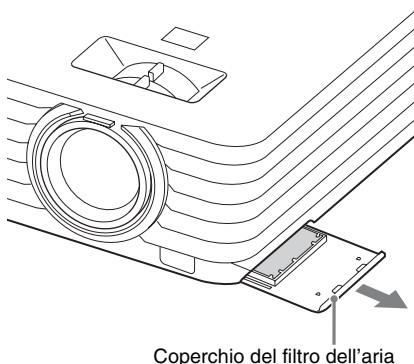
Se sull'immagine proiettata viene visualizzato un messaggio in cui si richiede di pulire il filtro dell'aria, procedere alla pulizia del filtro.

Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria anche dopo la pulizia, sostituirlo con un filtro nuovo. Per informazioni sull'acquisto e l'installazione di un nuovo filtro dell'aria, rivolgersi al punto vendita presso il quale è stato acquistato il proiettore, oppure a personale qualificato Sony.

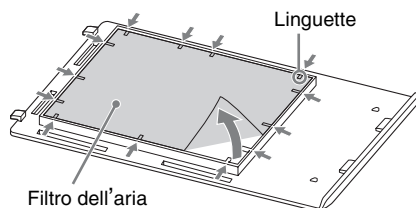
Attenzione

Wenn Sie den Projektor auch nach der angezeigten Meldung weiter verwenden, kann sich Staub ansammeln und den Filter verstopfen. Als Folge davon erhöht sich möglicherweise die Temperatur im Inneren des Geräts und es besteht die Gefahr einer Fehlfunktion oder Feuergefahr.

- 1** Spegner il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.
- 2** Estrarre e rimuovere il coperchio del filtro dell'aria dall'unità.



- 3** Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.
Tirare fuori e rimuovere il filtro dell'aria e pulirlo con un aspirapolvere.



- 4** Fissare nuovamente il coperchio del filtro dell'aria sull'apparecchiatura.

Nota

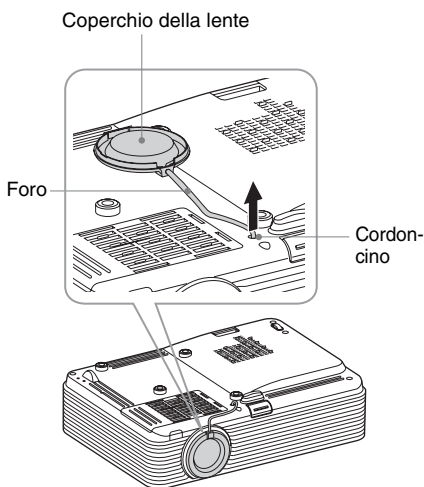
Installare il filtro dell'aria con il lato aperto posizionato verso il fondo dell'unità, quindi fissare nuovamente il coperchio del filtro dell'aria sull'unità.

Quando si utilizza il proiettore montato sul soffitto

Rimuovere il coperchio della lente

Se, quando si monta l'unità sul soffitto, il coperchio della lente non è necessario, rimuoverlo.

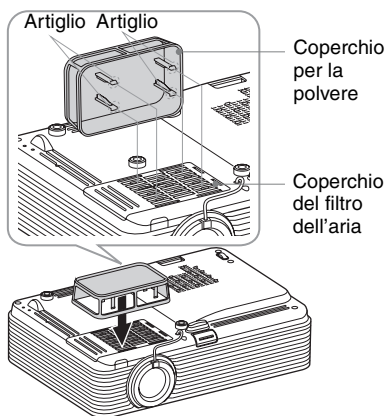
Tirare il cordoncino del coperchio della lente con un po' più di forza per rimuoverlo dall'unità. Se il coperchio della lente è necessario, inserire l'estremità del cordoncino nel foro.



Fissare il coperchio per la polvere

Quando si monta il proiettore sul soffitto, è possibile fissare il coperchio per la polvere all'unità, per evitare che la polvere si accumuli nel filtro dell'aria.

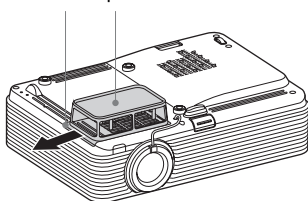
Posizionare il coperchio del filtro dell'aria in modo che il coperchio per la polvere copra il coperchio del filtro dell'aria, quindi inserire i quattro artigli (all'interno del coperchio per la polvere) nei fori del coperchio del filtro dell'aria.



Pulizia del filtro dell'aria e delle zone circostanti

- 1** Spegner l'unità, quindi rimuovere il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro.
- 2** Con un panno pulito, spolverare il coperchio della polvere per rimuoverne ogni residuo.
- 3** Estrarre il coperchio del filtro dell'aria con il coperchio per la polvere ad esso fissato.

Coperchio del filtro dell'aria Coperchio per la polvere

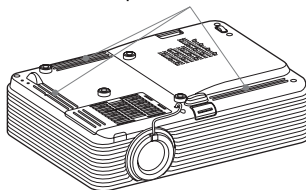


- 4** Pulire il coperchio per la polvere e il coperchio del filtro dell'aria con un aspirapolvere.
- 5** Rimuovere il filtro dell'aria, quindi pulirlo con un aspirapolvere.
Per i dettagli, vedere il passo 3 in "Pulizia del filtro dell'aria" (pagina 25).
- 6** Fissare nuovamente il filtro dell'aria e il coperchio del filtro dell'aria (con il coperchio per la polvere) all'unità.

Trasporto dell'unità

Nel trasportare l'unità, afferrarla per le sue superfici antiscivolo per evitare che possa cadere.

Superficie antiscivolo



关于快速参考手册

本快速参考手册说明投影图像的基本操作。同时也介绍您在处理和使用本产品时必须注意的重要注意事项和警告事项。

请根据需要参阅“指示灯”、“清洁空气滤网”。

有关操作的详细信息，请参阅附送 CD-ROM 内含的使用说明书。

步骤 1

准备 第 8 页

步骤 2

连接 第 11 页

步骤 3

投影 第 14 页

指示灯 第 21 页

更换投影灯 第 23 页

清洁空气滤网 第 25 页

将投影机安装到天花板上进行使用 第 26 页

搬运本装置 第 27 页

机型名称：数据投影机

使用产品前请仔细阅读本书，并请妥善保管。



与任何明亮光源一样，请勿凝视光束，RG2 IEC 62471-5:2015。

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告

此设备必须接地。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。

只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。

处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

安装电池

RM-PJ8 遥控器附带一枚锂电池 (CR2025)。为避免爆炸风险，请使用锂电池 (CR2025)。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。

在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

警告

- 1 请使用经过认可的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
- 2 请使用符合特定额定值（电压、电流）的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

重要

设备铭牌位于底部。

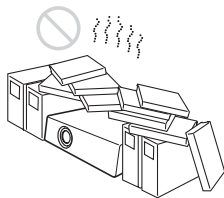
CS

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司专业技术人员咨询检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近，注意排出的空气较热。
- 当您调节本机的高度时，小心不要让前撑脚夹到您的手指。不要在前撑脚伸出的状态下用力按压投影机的顶部。
- 避免使用带低压限制的延长线，否则可能造成短路和人身事故。
- 在移动安装于地板上的投影机时，不要将手指卡入本机和地面之间。
- 投影机箱打开和箱盖打开时，不得搬运投影机。
- 不得将本机安装在靠近电暖炉或排气管等热源的位置，也不得放置于易受阳光直射、灰尘过多、潮湿、机械振动或冲击的位置。
- 切勿自己将投影机安装到天花板或者移动。务必咨询 Sony 公司专业技术人员（需收费）。
- 如果通风孔堵塞而造成内部热量蓄积，可能导致火灾或损坏本机。若要保持通风良好并防止内部热量蓄积，请遵守以下事项：

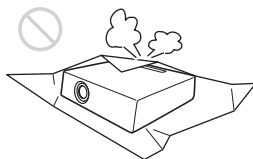
- 请在本机周围留出空间（第 5 页）。



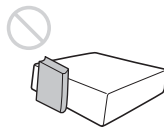
- 请避免使用物品遮盖通风孔（排气 / 进气）。



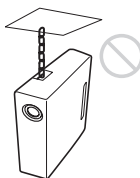
- 请勿将本机放置于出厂包装纸、软布、纸、垫子或纸片等物品表面上。通风孔可能会吸入这些物品。



- 在投影期间请勿在镜头前放置可能会遮挡光线的物品。来自光线的热量可能会造成物品损坏。请使用画面消除功能停止投影。



- 请勿将安全棒用于防止偷窃或安装本机。如果使用安全棒提起本机或悬挂本机，可能会造成本机掉落和损坏，并可能导致人员受伤。



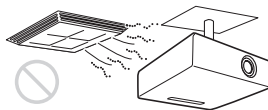
致经销商

- 当安装至天花板时，务必牢牢固定箱盖。

在天花板上安装本机的安全注意事项

- 切勿自行将投影机安装在天花板上或移动投影机。请务必咨询 Sony 公司专业技术人员（收费）。
- 在天花板上安装本机时，请务必使用安全绳等，以免本机掉落。请将安装工作委托给有经验的承包商或安装人员。

- 请避免将本机安装在受空调的冷暖风直接吹拂的地方。在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

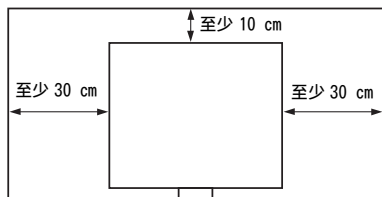


- 避免将本机安装于温度或烟雾传感器附近。在这样的场所安装可能会导致传感器的误动作。



安装须知

- 安装本机时，请在墙壁等与本机之间留出如图所示空间。



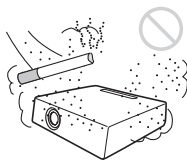
- 请避免在本机水平倾斜 15 度以上时使用本机。



- 请避免在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所使用本机。



- 勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。



- 当在海拔 1500 米或更高的地区使用本机时，请将安装菜单中的“高海拔高度模式”设置为“开”。当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

关于清洁镜头和机壳

- 清洁前务必断开交流电源线与交流电源插座的连接。
- 如果使用脏布擦拭本机，可能会刮伤机壳表面。
- 如果本机暴露于杀虫剂等挥发性物质中或本机长时间与橡胶或乙烯基树脂产品接触，本机的表面涂层会被破坏或脱落。
- 请勿用手触摸镜头。

- 关于清洁镜头表面：
请用眼镜清洁布等软布轻轻擦拭镜头。使用稍微浸过水的软布可以擦除顽固的污渍。切勿使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗涤剂以及化学清洁布。
- 清洁机壳：
使用软布轻轻擦拭机壳。使用稍微浸过中性清洁剂并拧干的软布可以擦掉顽固的污渍，然后使用柔软的干布进行擦拭。切勿使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗涤剂以及化学清洁布。

关于照明

为了获得最佳图像，不应该让屏幕的正面暴露在直射照明或阳光下。

关于散热

使用中或刚使用后，投影机机壳温度会升高，但这并非故障。

屏幕

当使用表面不平整的屏幕时，根据屏幕与本机之间的距离或变焦放大倍数的不同，极少数情况下可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非本机的故障。

冷却扇

投影机内部装有的冷却扇可以防止内部温度升高，但稍微有些噪声。这是制造过程的正常结果，并不表明出现故障。如果出现异常噪声，请向 Sony 专业人员咨询。

投影灯

用作光源的投影灯内含具有很高内压的汞。高压汞灯具有下列特性：

- 随着投影灯使用时间的增加，其亮度将会降低。
- 敲打投影灯可能会导致投影灯破损并伴有响声，随着投影灯使用时间的增加，投影灯会损坏或老化。投影灯可能会无法点亮并可能烧坏。

- 投影灯的寿命根据各投影灯的个体差异或使用条件而有所不同。因此，投影灯在到达指定的可使用时间之前就可能破损或无法点亮。
- 投影灯也可能在超过了可使用时间才破损。如果投影图像上显示更换信息，即使投影灯仍可以正常点亮，也请尽快更换投影灯。

搬运

本机为精密设备。搬运本机时，请勿使本机受到撞击或掉落。否则可能会损坏本机。

关于废弃产品的处理

请不要将废弃的产品与一般生活垃圾一同弃置。正确处置废弃的产品有助于避免对环境 and 人类健康造成潜在的负面影响。具体的处理方法请遵循当地的规章制度。

关于 LCD 投影机

本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续出现微小的黑点 and / 或亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。

并且，当您使用多台 LCD 投影机投影在一个屏幕上时，即使是相同型号，投影机间的色彩再现也可能会有不同，因为各个投影机的色彩平衡可能设置各异。

关于湿气凝结

如果投影机安装地的室温急剧变化，或如果突然将投影机从寒冷的地方搬到温暖的地方，投影机中可能会出现湿气凝结。由于湿气凝结可能会造成故障，所以在调节空调温度设定时请小心。如果出现湿气凝结，请让投影机保持开启状态约两小时后再使用。

注意

- 在使用前请始终确认本机运行正常。无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作（包括但不限于）退货或赔偿。
- SONY 对本产品用户或第三方的任何索赔概不负责。
- SONY 对因任何情况导致终止或停止使用本机相关服务概不负责。

步骤 1

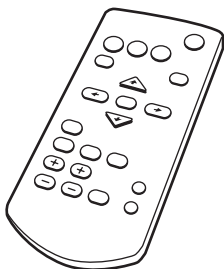
准备

检查随机附件

RM-PJ8 遥控器 (1)

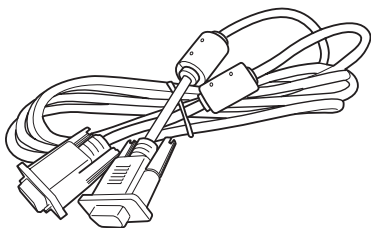
锂电池 (CR2025) (1)

已安装电池。使用遥控器前，请撕下绝缘膜。

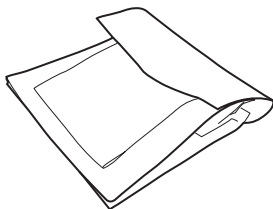


交流电源线 (1)

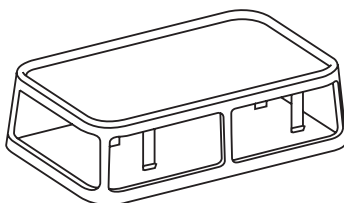
迷你 D-sub 15 芯电缆 (1.8 米) (1)
(1-970-584-11/Sony)



便携包 (1)



防尘罩 (1)



快速参考手册 (本手册) (1)

使用说明书 (CD-ROM) (1)

使用 CD-ROM 手册

可在安装了 Adobe Reader 的电脑上阅读手册。

可从 Adobe 网站免费下载 Adobe Reader。

1 打开 CD-ROM 中的 index.html 文件。

2 选择并单击您要读取的手册。

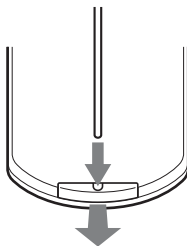
注意

如果您丢失或损坏 CD-ROM，可从 Sony 经销商或 Sony 服务柜台购买新的。

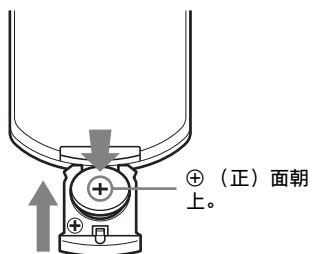
安装电池

1 拉出锂电池舱。

如图所示，用棍状物拉出电池舱。



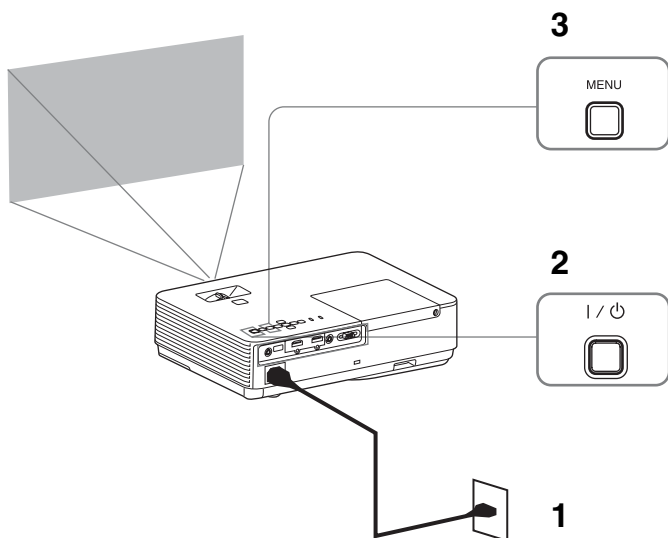
2 插入锂电池。



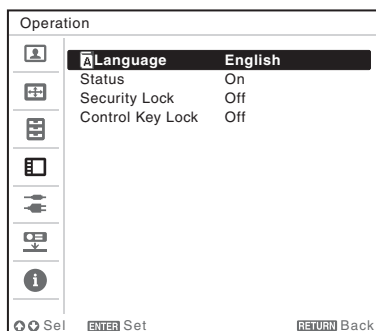
3 合上锂电池舱。

选择菜单语言

菜单、信息等显示语言的出厂设定为英文。
若要更改画面显示语言，请按以下步骤操作：



- 1 将交流电源线的插头插入电源插座。
- 2 打开投影机。
按 I/O 键。
- 3 按 MENU 键显示菜单。
如果画面显示模糊，请调节投影图像的聚焦、尺寸和位置（第 15 页）。
- 4 选择菜单语言。
 - ① 按 ▲ 或 ▼ 键选择操作设定 () 菜单，然后按 ENTER 键。
 - ② 按 ▲ 或 ▼ 键选择“语言 ()”，然后按 ENTER 键。



- ③ 按 ▲/▼/◀/▶ 键选择一种语言，然后按 ENTER 键。

- 5 按 MENU 键关闭菜单画面。

步骤 2

连接

注意

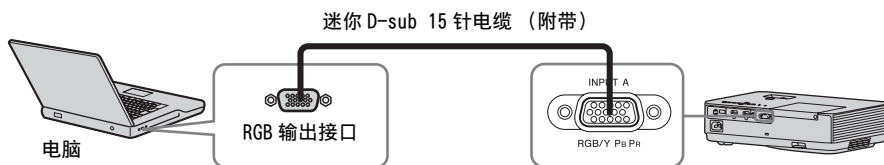
- 当连接投影机时，请确保所有设备关闭。
- 每项连接请使用正确的电缆。
- 牢固插入电缆插头；连接松动可能会降低图像信号质量或引起故障。在拔掉电缆时，必须握住插头拔，不可拉扯电缆本身。
- 有关详细信息，另请参见所连接设备的使用说明书。
- 使用无阻抗音频电缆。

连接电脑

采用与电脑连接对每种输入信号进行说明。

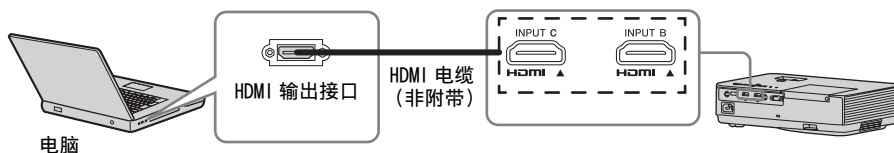
INPUT A

用于连接配有 RGB 输出接口的电脑。



INPUT B/INPUT C

用于连接配有 HDMI 输出接口的电脑。



注意

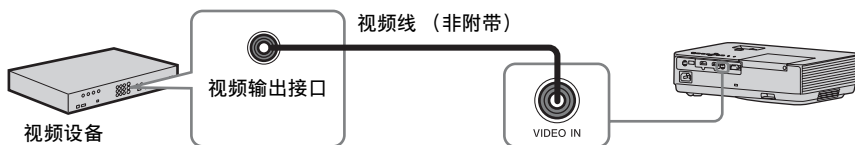
- 仅 VPL-DX270/DX240/DW240 有 INPUT C 端子。
- 使用标有 HDMI 标识的 HDMI 兼容设备和电缆。
- 使用标有 HDMI 标识的高速 HDMI 电缆（建议使用 Sony 产品）。
- 本投影机的 HDMI 接口不兼容 DSD (Direct Stream Digital, 直接流数字) 信号或 CEC (Consumer Electronics Control, 消费电子控制器) 信号。
- 投影图像的分辨率可能会因输入端子而异。
- 建议将电脑的分辨率设定为 1024 × 768 像素（VPL-DX270/DX240/DX220）或 1280 × 800 像素（VPL-DW240）作为外接显示器分辨率。

连接视频设备

采用与 DVD 播放机或 BD 播放器的连接对每种输入信号进行说明。

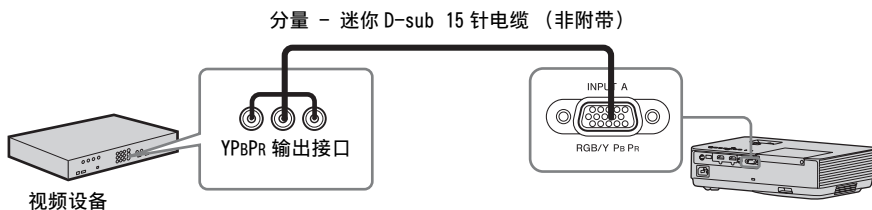
VIDEO

用于连接配有视频输出接口的视频设备。



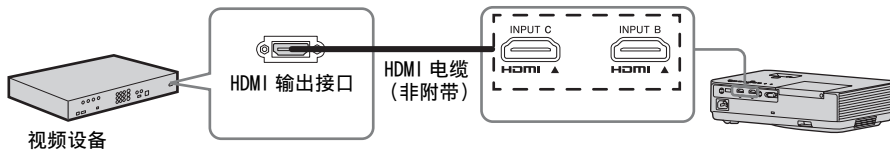
INPUT A

用于连接配有 YPbPr 输出接口的视频设备。



INPUT B/INPUT C

用于连接配有 HDMI 输出接口的视频设备。



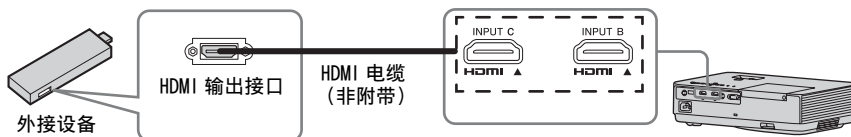
注意

- 仅 VPL-DX270/DX240/DW240 有 INPUT C 端子。
- 使用标有 HDMI 标识的 HDMI 兼容设备和电缆。
- 本投影机的 HDMI 接口不兼容 DSD (Direct Stream Digital, 直接流数字) 信号或 CEC (Consumer Electronics Control, 消费电子控制器) 信号。
- 使用标有 HDMI 标识的高速 HDMI 电缆 (建议使用 Sony 产品)。
- INPUT C 端子的最大分辨率设定为 720p。

连接到外接设备

INPUT C

用于通过 HDMI 输出端子连接外接设备。将外接设备连接到 INPUT C。



对外接设备供电

本机通过 USB 电缆对外接设备（电脑棒等）供电（最大 5V/2A）。

1 使用 USB 电缆（带 A 型 USB 端子）将本机连接到外接设备。



带 HDMI 输出端子的棒式外接设备，如无线设备、小型电脑等（非附带）。

注意

- 将规格合适的外接设备与本机配合使用。
- 如果以错误的方式连接本机，外接设备可能会造成故障。在此情况下，Sony 概不负责。

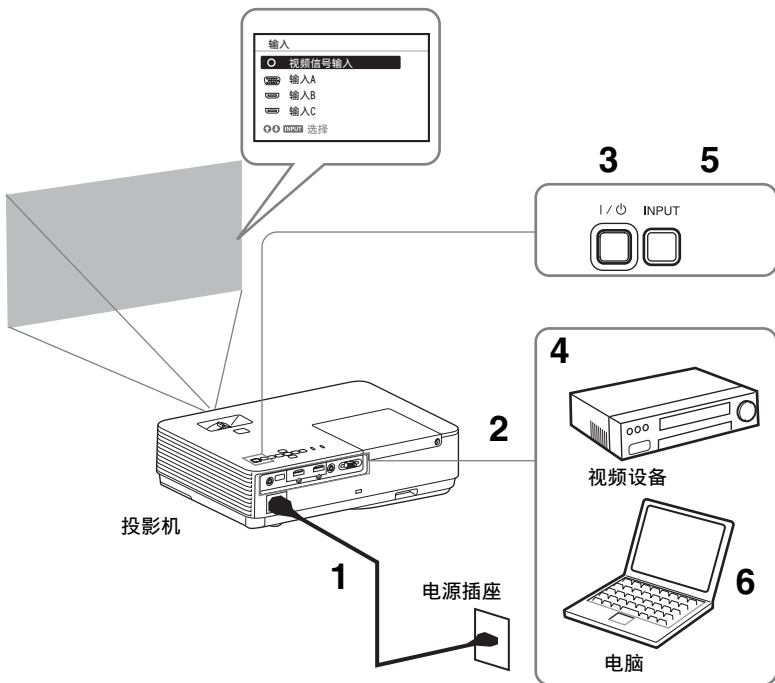
2 在连接 / 电源设定菜单中将“供电”设定为“开”。
本机通过 USB 电缆对外接设备供电。

注意

- 仅 VPL-DX270/DX240/DW240 有 INPUT C 端子。
- 使用标有 HDMI 标识的 HDMI 兼容设备和电缆。
- 本投影机的 HDMI 接口不兼容 DSD (Direct Stream Digital, 直接流数字) 信号或 CEC (Consumer Electronics Control, 消费电子控制器) 信号。
- 使用标有 HDMI 标识的高速 HDMI 电缆（建议使用 Sony 产品）。
- INPUT C 端子的最大分辨率设定为 720p。

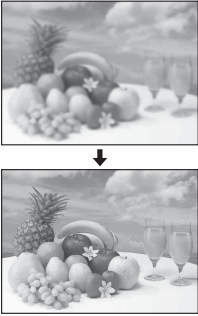
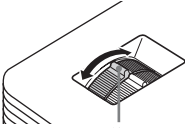
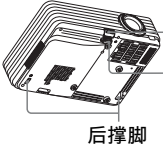
投影图像

投影的图像大小视投影机与银幕之间的距离而定。安装投影机要使投影的图像符合银幕大小。有关投影距离与投影图像大小的详细说明，请参见“投影距离”。



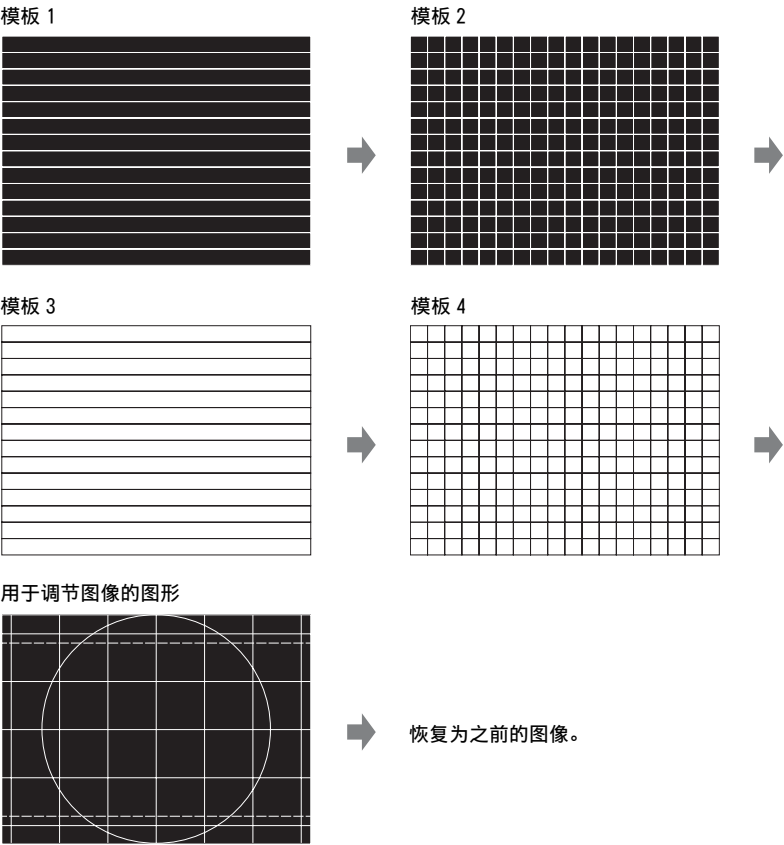
- 1 将交流电源线的插头插入电源插座。
- 2 将所有设备连接至投影机。
- 3 按 I/⏻ 键以打开本机。
- 4 打开连接的设备。
- 5 选择输入源。
按投影机上的 INPUT 键，在银幕上显示输入源切换菜单。反复按 INPUT 键或按 ▲/▼ 键选择要投影的图像。
- 6 投影电脑图像时，将电脑输出切换为外接显示器。
切换输出方法因电脑类型而异。
(例如)
Fn + F7
- 7 调节投影图像的聚焦、尺寸和画面位置（第 15 页）。

调节投影图像

聚焦	尺寸（变焦）	位置
		
 聚焦环	 变焦环	 撑脚调节按钮 前撑脚（可调节） 后撑脚

显示用于调节图像的模板和图形

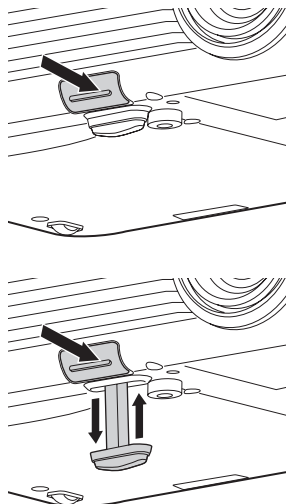
按遥控器上的 PATTERN 显示图形键在投影图像上显示用于调节图像的模板和图形。有四个模板和一个图形。每次按下 PATTERN 显示图形键时，将切换模板 / 图形。按 MENU 菜单键可恢复为之前的图像。



用撑脚调节按钮进行调节

通过使用撑脚调节按钮倾斜投影机，可调节投影图像的位置。

- 1 按住撑脚调节按钮，然后抬起投影机的前端调节角度。



- 2 达到所需角度时，松开撑脚调节按钮锁定位置。

注意

- 小心不要让投影机压到您的手指。
- 请不要在前撑脚（可调节）顶起状态下用力按压投影机的顶部。

改变投影图像的纵横比

按遥控器上的 ASPECT 纵横比键改变投影图像的纵横比。也可以在屏幕设定菜单的纵横比中改变设定。

校正投影图像的梯形失真（梯形失真校正功能）^{*1}

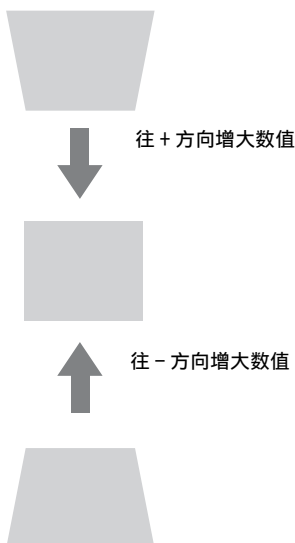
当屏幕倾斜时，梯形失真校正功能可能无法自动工作^{*2}。此时，请手动设定梯形失真校正。

- 1 按遥控器上的 KEYSTONE 梯形校正键或选择安装设定菜单中的垂直梯形失真校正。
- 2 使用 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ 键设定数值。设定值越高，投影图像的上部越窄。设定值越低，底部越窄。

注意

*1: 由于梯形失真校正调节是电子修正，可能会发生图像质量下降。

*2: 仅限 VPL-DX270/DX240/DW240。



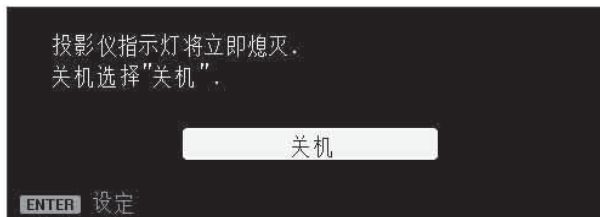
当信号从电脑输入时，将自动调节投影图像的相位、位距和移位（APA（自动像素调整））

按遥控器上的 APA 自动调整键。在设定时再按一次即可取消调节。

也可以在屏幕设定菜单中设定 APA。如果功能设定菜单中的智能 APA 设定为“开”，在输入信号时会自动执行 APA。

关闭电源

- 1 按主机或遥控器上的 **I/⏻** 键。
投影机开始关机并关闭电源。如果在信息显示 10 秒内按 **I/⏻** 键，则取消关机。当“供电”设定为“开”时，按下开始显示信息。约十秒钟后，投影灯将关闭，且本机继续供电。选择“关机选择”“关机”将停止供电。



在显示信息时按下电源按钮将使投影灯再次点亮。

注意

请勿在投影灯点亮后立即关闭投影机。否则可能会导致投影灯故障（无法点亮等）。

- 2 拔掉电源插座中的交流电源线。

关机但不要显示确认信息

按住本机上的 **I/⏻** 键数秒钟。

注意

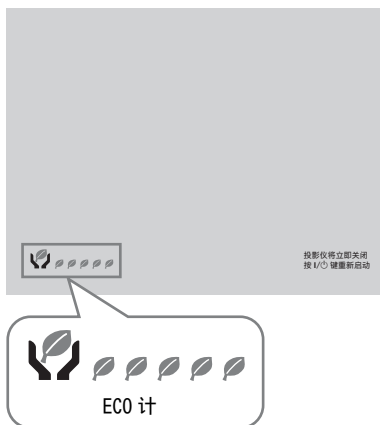
如果投影灯打开后即刻关闭本机，将显示确认信息，且可能需要较长时间才能关闭本机。

若要关机但不要显示确认信息

按住本机上的 **I/⏻** 键数秒钟。

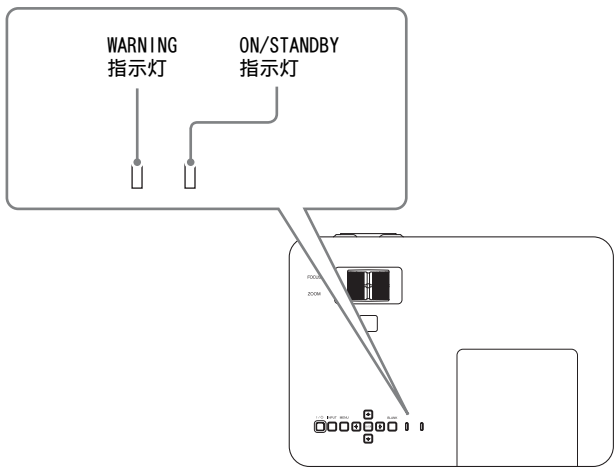
ECO 计

此计显示投影机 ECO 功能的当前效能。（有关 ECO 功能的详细说明，请参见“ECO MODE 节能模式键”和“ECO”。）投影机关机时会显示叶子图标。所显示图标的数量根据使用 ECO 功能而产生的节能效果而异。



指示灯

通过检查 ON/STANDBY 指示灯和 WARNING 指示灯的点亮 / 闪烁状态可以检查投影机状态或异常。如果指示灯以红色闪烁，请根据“警告指示灯和解决方法”（第 22 页）解决问题。



操作状态指示

指示灯状态	操作状态	含义
 (熄灭) (红色点亮)	待机	本机打开且处于待机模式。
 (熄灭) (绿色闪烁)	正在启动本机	本机打开且处于启动状态，直到准备好工作。
 (熄灭) (绿色点亮)	电源开启	投影机准备投影。
 (熄灭) (橙色闪烁)	正在冷却	本机关闭后，正在自行冷却。
 (熄灭) (橙色点亮)	其他待机状态	投影灯关闭。

警告指示灯和解决方法

指示灯状态	闪烁次数	含义	解决方法
 (红色 闪烁)  (红色 点亮)	两次	投影灯盖未牢固安装。	查看投影灯盖的安装方式并正确安装。
	三次	投影灯亮灯不正常。	投影灯温度异常升高。关闭投影机，并等投影灯冷却后再打开电源。如果此症状重新出现，则再次关闭投影机并取出投影灯（第 23 页），然后检查投影灯是否破损。如果投影灯未破损，则装回投影灯并再次打开投影机电源。如果此症状重新出现，则投影灯寿命可能已尽。在此情况下，请更换新的投影灯（第 23 页）。如果投影灯破损，请勿自行更换投影灯。请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
 (红色 闪烁) (红色 闪烁) 两个指示灯均闪烁	两次	投影机温度异常。	• 检查空气滤网是否堵塞，然后清洁或更换（第 25 页）。 • 检查通风孔（进气 / 排气）是否被墙壁或物体堵塞并留有足够空隙。 • 检查环境温度并在工作温度范围内使用投影机。

如果指示灯以上述以外的方式闪烁，拔下交流电源线插头并确保 ON/STANDBY 指示灯熄灭，然后将交流电源线插头插入墙上电源插座并打开投影机。
如果问题仍存在，请咨询 Sony 公司专业技术人员。

更换投影灯

如果投影图像上显示信息，请更换新的投影灯。
使用 LMP-D214 投影机灯泡（非附带）进行更换。

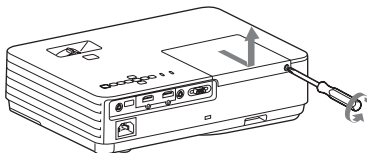
注意

- 关闭投影机电源后，投影灯的温度仍然很高。如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。更换投影灯时，请在关闭投影机电源后至少等候 1 个小时让投影灯充分冷却。
- 请勿在取下投影灯后让金属或易燃物进入投影灯更换插槽，否则可能会导致触电或火灾。请勿将手放进插槽内。

注意

- 如果投影灯破损，请联系 Sony 公司专业技术人员。请勿自行更换投影灯。
- 取下投影灯时，请务必抓住指定位置并将其径直拉出。如果触碰指定位置以外的投影灯部分，则您可能会被烫伤或受伤。如果在投影机倾斜时拉出投影灯，万一投影灯损坏，碎片可能散落并导致人身伤害。

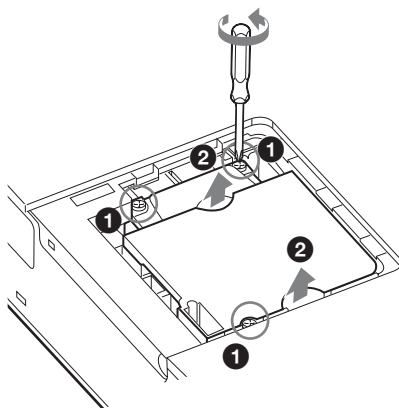
- 1 关闭投影机电源并从电源插座拔出交流电源线。
- 2 当投影灯已经充分冷却后，即可松开 1 个螺丝打开投影灯盖。



注意

出于安全考虑，请勿松开任何其他螺丝。

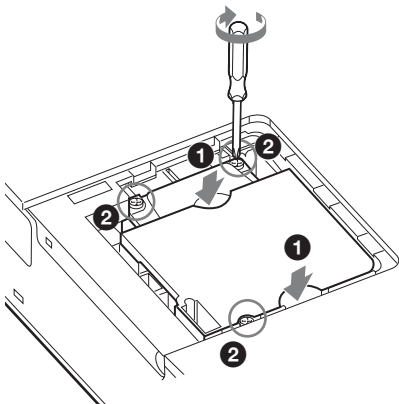
- 3 松开三个螺丝，然后用手指扣住凹陷处，取下投影灯。



注意

请勿将手放入投影灯更换槽，也请勿使任何液体或其他物品进入槽，以免发生触电或火灾。

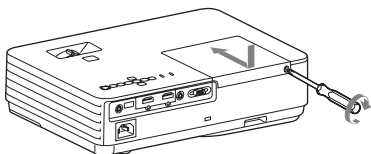
- 4 将新的投影灯完全插入，使其固定到位。拧紧 3 个螺丝。



注意

- 心不要触摸投影灯的玻璃表面和内部导体。
- 如果投影灯安装不正确，则无法打开电源。

- 5 关闭投影灯盖并拧紧 1 个螺丝。



- 6 将交流电源线连接至电源插座，然后打开投影机电源。

- 7 重设有关下一次更换时间通知的投影灯操作时间。

选择功能设定菜单上的“重设投影灯操作时间”，然后按 ENTER 决定键。当出现信息时，请选择“是”即重设投影灯操作时间。

清洁空气滤网

当投影的图像上出现表示滤网清洁时间的信息时，请清洁空气滤网。

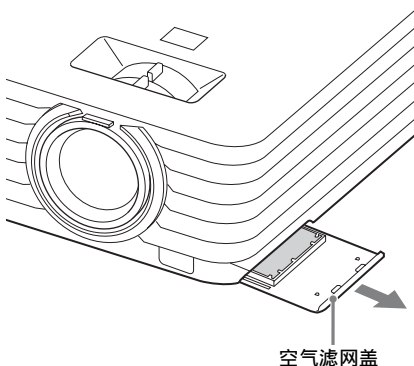
如果在清洁后仍然无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。有关购买 / 安装新的空气滤网的详细说明，请咨询您购买投影机的商店或 Sony 公司专业技术人员。

注意

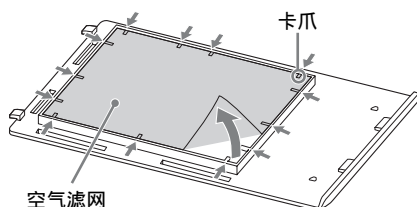
如果在显示信息后仍继续使用投影机，则灰尘可能积聚而造成堵塞。因此，本机内部的温度可能会升高而造成故障或火灾。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔出交流电源线。

2 从本机中滑出并拆下空气滤网盖。



3 用吸尘器清洁空气滤网。
拉出并拆下空气滤网，用真空吸尘器进行清洁。



4 将空气滤网盖重新安装至本机。

注意

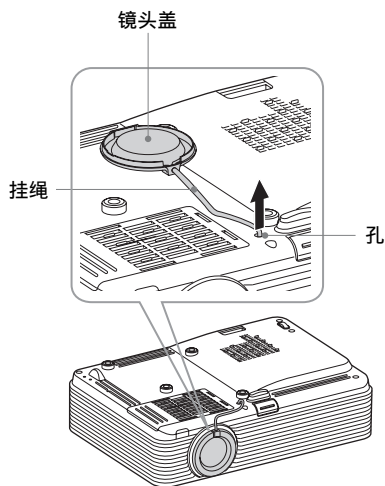
安装空气滤网时使其开放的编织面朝向本机的底部，然后将空气滤网盖放回本机。

将投影机安装到天花板上进行使用

拆下镜头盖

将本机安装到天花板上时，如果不需要镜头盖，请将其拆下。

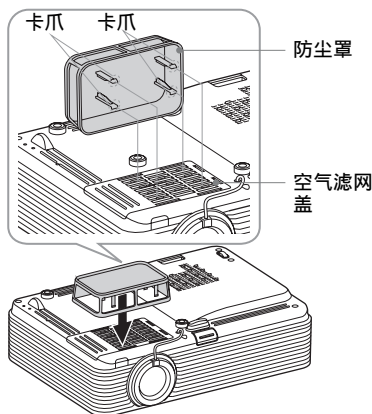
稍稍用力拉镜头盖的挂绳，将其从本机上拆下。如果需要镜头盖，将挂绳的边缘插入孔中。



安装防尘罩

将投影机安装到天花板时，可以将防尘罩安装到投影机以避免灰尘堆积在空气滤网中。

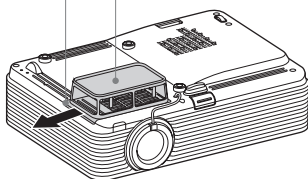
放置空气滤网盖，使防尘罩盖住空气滤网盖，然后将四个卡爪（防尘罩内侧）插入空气滤网盖的孔中。



清洁空气滤网及其周围

- 1 关闭本机，然后从电源插座中拔出交流电源线的插头。
- 2 用干净的抹布擦拭防尘罩，去除灰尘。
- 3 在防尘罩安装到空气滤网盖的情况下拉出空气滤网盖。

空气滤网盖 防尘罩

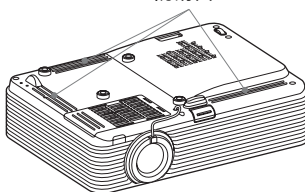


- 4 用吸尘器清洁防尘罩和空气滤网盖。
- 5 拆下空气滤网，然后用吸尘器进行清洁。
有关详细说明，请参见“清洁空气滤网”（第 25 页）中的步骤 3。
- 6 将空气滤网和空气滤网盖（带防尘罩）重新安装到本机。

搬运本装置

搬运本装置时，请抓住防滑面以免掉落。

防滑面



О документе Краткое справочное руководство

В данном документе “Краткое справочное руководство” описаны основные операции для проецирования изображений. В этом руководстве также содержатся важные примечания и предупреждения, которым следует уделять особое внимание при обращении с аппаратом и его эксплуатации.

При необходимости см. разделы “Индикаторы”, “Очистка воздушного фильтра”. Для получения дополнительной информации об операциях см. документ Инструкция по эксплуатации, содержащийся на прилагаемом компакт-диске.

Шаг 1.

ПодготовкаСтр. 10

Шаг 2.

ПодключениеСтр. 13

Шаг 3.

ПроецированиеСтр. 16

ИндикаторыСтр. 23

Замена лампы.....Стр. 26

Очистка воздушного фильтраСтр. 28

Крепление проектора на потолке.....Стр. 29

Переноска устройстваСтр. 30

**Проектор данных
VPL-DX270/DX240/DX220
VPL-DW240**

Внимательно прочтите настоящее руководство перед началом эксплуатации аппарата и сохраните его для справки на будущее.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Для снижения риска возгорания и поражения электрическим током не допускайте воздействия на аппарат влаги и сырости. Чтобы исключить риск поражения электрическим током, не вскрывайте корпус. Обслуживание аппарата должны выполнять только квалифицированные специалисты.

**ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ
ДАННОЕ УСТРОЙСТВО ДОЛЖНО
БЫТЬ ЗАЗЕМЛЕНО.**

ОСТОРОЖНО

При неправильной замене элементов питания возникает опасность взрыва. Используйте для замены только идентичные или эквивалентные элементы питания, рекомендуемые изготовителем. При утилизации отработанных элементов питания необходимо следовать правилам, действующим в соответствующем регионе или стране.

Установка батареек

В комплект поставки пульта дистанционного управления RM-PJ8 входит одна литиевая батарейка (CR2025). Во избежание опасности взрыва используйте литиевую батарейку (CR2025).

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

При установке устройства используйте легкодоступный прерыватель питания с фиксированной проводкой или подключите провод питания к легкодоступной настенной розетка, расположенной рядом с устройством. Если в процессе эксплуатации блока возникнет неисправность, с помощью прерывателя отключите питание, или отсоедините провод питания.

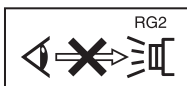
ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

- 1 Используйте разрешенные к применению шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку с заземляющими контактами, соответствующие действующим нормам техники безопасности каждой отдельной страны.
- 2 Используйте шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку, соответствующие допустимым номинальным характеристикам (напряжение, сила тока).

В случае вопросов относительно использования упомянутых выше шнура питания / разъема для подключения бытовых приборов / штепсельной вилки, пожалуйста, обращайтесь к квалифицированным специалистам по сервисному обслуживанию.

ВАЖНО

Информационная табличка расположена внизу.



Как и в случае с любым источником яркого света, не смотрите прямо на луч, RG2 IEC 62471-5:2015.

RU

SONY

Сони Корпорейшн

1-7-1, Конан, Минато-ку, Токио,
Япония, 108-0075

Сделано в Китае

Импортёр на территории стран
Таможенного союза АО «Сони
Электроникс», Россия, 123103, Москва,
Карамышевский проезд, 6

Это устройство является проектором
для проецирования изображений с
подключенного компьютера или
видеооборудования.

Организация, уполномоченная
принимать претензии от
пользователей на территории
Казахстана:

АО «Сони Электроникс»

Представительство в Казахстане
050059 Алматы, улица Иванилова,
д. 58

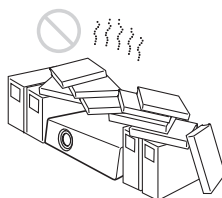
Дата изготовления указана на изделии
и упаковке на этикетке со штрих-
кодом в следующем
формате: YYY YMM, где MM - месяц,
YYY Y - год изготовления.

Меры предосторожности

Сведения о безопасности

- Убедитесь, что рабочее напряжение устройства идентично напряжению местной электросети. При необходимости адаптации напряжения обратитесь к квалифицированному персоналу компании Sony.
- В случае попадания внутрь корпуса устройства посторонних предметов или жидкостей отключите его от электрической сети и перед дальнейшим использованием передайте на проверку квалифицированному персоналу компании Sony.
- Если устройство не будет использоваться на протяжении нескольких дней, отключите его от электрической розетки.
- Для отсоединения шнура беритесь за штепсель. Никогда не тяните за шнур.
- Устройство следует подключать к расположенной рядом электрической розетке, доступ к которой ничем не затруднен.
- Устройство остается подключенным к источнику питания переменного тока, пока оно подключено к электрической розетке, даже если само устройство выключено.
- Не смотрите в объектив, когда лампа светится.
- Не подносите руки или какие-либо предметы к вентиляционным отверстиям - из них выходит горячий воздух.
- Будьте осторожны, чтобы во время регулировки высоты проектора при помощи передней ножки не опустить проектор на пальцы. Не давите сильно на верхнюю панель проектора при выдвинутой передней ножке.

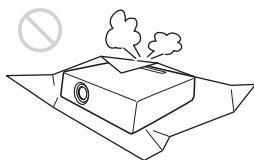
- Не используйте удлинитель в условиях низкого напряжения - это может вызвать короткое замыкание и привести к травмам.
- Будьте осторожны, чтобы не прищемить пальцы, передвигая проектор, установленный на полу.
- Не переносите проектор в корпусе с открытой крышкой.
- Не устанавливайте проектор возле источников тепла, например батарей или трубопроводов горячего воздуха, а также в местах, не защищенных от прямых солнечных лучей, в условиях чрезмерной запыленности или влажности, механических вибраций или толчков.
- Самостоятельная установка проектора на потолке или его перемещение запрещается. Обязательно обратитесь к квалифицированному персоналу Sony (услуга платная).
- В случае блокировки вентиляционных отверстий внутренняя температура устройства повышается, что может стать причиной пожара или повреждения устройства. Выполните следующие действия, чтобы обеспечить необходимую циркуляцию воздуха и предотвратить повышение внутренней температуры устройства.
- Вокруг проектора должна обеспечиваться свободная циркуляция воздуха (стр. 6).



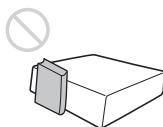
- Ничем не накрывайте вентиляционные отверстия (выходные/входные).



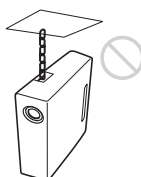
- Не подкладывайте под устройство упаковочный материал, мягкую ткань, коврики, листы или обрезки бумаги. Такие материалы могут попасть в вентиляционные отверстия.



- Не располагайте непосредственно перед линзой какие-либо предметы, которые могут загораживать свет во время проецирования. Излучаемое тепло может повредить предмет. Используйте функцию блокировки изображения, чтобы прервать отображение.



- При транспортировке или установке устройства не используйте защитную панель для предотвращения кражи устройства. Не поднимайте и не подвешивайте устройство за защитную панель - это может привести к падению и повреждению устройства, а также травмам.



Информация для дилеров

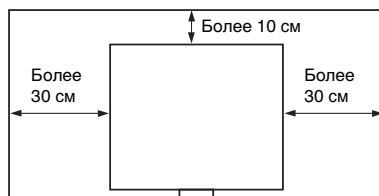
- При установке на потолок плотно закрывайте крышку корпуса.

Меры предосторожности при установке устройства на потолке

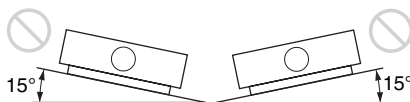
- Не пытайтесь установить проектор на потолке или переместить его самостоятельно. Обязательно проконсультируйтесь с квалифицированным персоналом компании Sony, компетентным в данном вопросе.
- Устанавливая устройство на потолке, обязательно используйте страховочный шнур или другие средства для предотвращения падения устройства. Доверьте установку опытному специалисту по монтажу.

Информация по установке

- Устанавливайте устройство на расстоянии от стен и других объектов, как показано на рисунке.



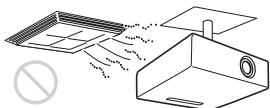
- Угол наклона проектора не должен превышать 15 градусов в горизонтальной плоскости.



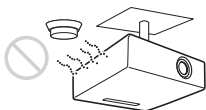
- Не устанавливайте устройство в помещениях с повышенной температурой и влажностью, или пониженной температурой.



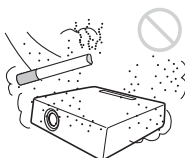
- Не устанавливайте устройство вблизи кондиционера, под прямым потоком холодного или теплого воздуха. Установка в таких местах может привести к неисправности устройства вследствие конденсации влаги или повышения температуры.



- Не устанавливайте устройство вблизи датчиков температуры или дыма. Это может стать причиной неисправности датчика.



- Не устанавливайте устройство в условиях крайней запыленности или задымленности. Воздушный фильтр может засориться, что приведет к неисправности устройства или его повреждению.



- В случае использования устройства на высоте от 1500 м устанавливайте для параметра “Режим выс.пол” значение “Вкл” в меню установки. Если при эксплуатации на значительной высоте не установить

данный режим, могут возникать нежелательные эффекты, такие как снижение надежности некоторых компонентов.

Очистка линзы и корпуса

- Перед очисткой отключите шнур питания переменного тока от электрической розетки.
- Не вытирайте устройство грязной тканью - это может привести к появлению царапин на корпусе.
- Длительный контакт с летучими веществами (например, средство от насекомых), а также изделия из резины или винила может привести к изменению внешнего вида устройства и повреждению покрытия.
- Не касайтесь линзы голыми руками.
- Очистка поверхности линзы:
Аккуратно протрите линзу мягкой тканью, например тканью для очистки стекла. Загрязнение, которое не удастся устранить, можно очистить, слегка смочив ткань водой. Не используйте растворители, спирт, бензин или кислоту, щелочные и абразивные моющие средства или пропитанную ткань для очистки.
- Очистка корпуса:
Аккуратно очистите корпус мягкой тканью. Загрязнения, которые не удастся устранить, можно очистить, слегка смочив ткань слабым раствором моющего средства, предварительно отжав ее, а затем протерев корпус сухой мягкой тканью. Не используйте растворители, спирт, бензин или разбавитель, кислоту, щелочные и абразивные средства или пропитанную ткань для очистки.

Освещение

Для получения изображения хорошего качества необходимо, чтобы экран был защищен от прямого освещения или солнечного света.

О рассеивании тепла

Корпус проектора может нагреваться во время или сразу после использования, однако это не является неисправностью.

Экран

При использовании экрана с негладкой поверхностью на экране могут иногда появляться полосы, в зависимости от расстояния между экраном и устройством, а также значения приближения. Это не является неисправностью устройства.

Вентилятор

Проектор оснащен внутренним вентилятором, который служит для снижения внутренней температуры. Работа вентилятора может сопровождаться легким шумом. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Однако, при высоком уровне шума следует обратиться к квалифицированному персоналу компании Sony.

Сведения о лампе

В проекторе в качестве источника света используется ртутная лампа высокого давления. Характеристики ртутной лампы высокого давления указаны ниже.

- Яркость лампы постепенно снижается в течение срока эксплуатации.
- Лампа может лопнуть с громким звуком в результате удара, повреждения или износа по истечении срока эксплуатации. Лампа может перестать светиться и перегореть.
- Срок службы лампы зависит от индивидуальных характеристик лампы или условий эксплуатации.

По этой причине лампа может лопнуть или перегореть до указанного срока замены.

- Лампа также может лопнуть после истечения срока замены. Замените лампу проектора сразу после появления сообщения на проецируемом изображении, даже если лампа продолжает нормально работать.

Меры предосторожности при транспортировке

Данное устройство относится к точному оборудованию. При транспортировке берегите устройство от ударов или падения. Удары или падение могут повредить устройство.

Жидкокристаллический проектор

ЖК-проектор создан с использованием высокоточных технологий. Однако, на экране ЖК-проектора могут периодически появляться мелкие черные и/или яркие (красные, синие или зеленые) точки. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Кроме того, при использовании для проецирования на один экран нескольких ЖК-проекторов, даже одной модели, цветопередача разных проекторов может отличаться, так как баланс цвета на них может быть настроен по-разному.

О конденсации

При быстром изменении температуры в помещении, в котором установлен проектор, или при быстром перемещении проектора из холодного в теплое место внутри него может образоваться конденсат. Так как конденсат может привести к неисправности, соблюдайте осторожность при изменении настроек температуры кондиционера. При образовании конденсата перед использованием проектора оставьте его включенным приблизительно на два часа.

Примечания

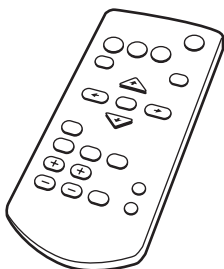
- Всегда проверяйте исправность устройства, прежде чем его использовать. КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРЬ, ВКЛЮЧАЯ, В ЧАСТНОСТИ, КОМПЕНСАЦИЮ ИЛИ ВОЗМЕЩЕНИЕ УБЫТКОВ В СВЯЗИ С УТРАТОЙ ИЛИ НЕДОПОЛУЧЕНИЕМ ПРИБЫЛЕЙ ИЗ-ЗА НЕРАБОТОСПОСОБНОСТИ ЭТОГО ОБОРУДОВАНИЯ, КАК НА ПРОТЯЖЕНИИ ГАРАНТИЙНОГО ПЕРИОДА, ТАК И ПОСЛЕ ИСТЕЧЕНИЯ ГАРАНТИЙНОГО СРОКА, А ТАКЖЕ ВСЛЕДСТВИЕ ЛЮБЫХ ИНЫХ ВОЗМОЖНЫХ ПРИЧИН.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕТЕНЗИИ ЛЮБОГО РОДА, ПРЕДЪЯВЛЕННЫЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЯМИ ЭТОГО ПРИБОРА ИЛИ ТРЕТЬИМИ ЛИЦАМИ.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕКРАЩЕНИЕ ИЛИ ПРИОСТАНОВКУ ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ КАКИХ-ЛИБО УСЛУГ, СВЯЗАННЫХ С ЭТИМ ПРИБОРОМ, ВНЕ ЗАВИСИМОСТИ ОТ ОБСТОЯТЕЛЬСТВ.

Входящие в комплект принадлежности

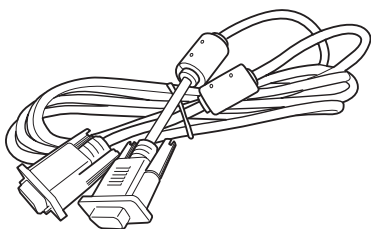
Пульт дистанционного управления RM-PJ8 (1)

Литиевая батарейка (CR2025) (1)

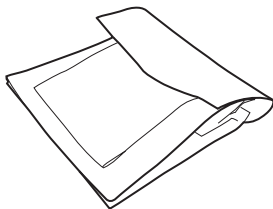
Батарейка предварительно установлена. Перед использованием пульта дистанционного управления удалите изоляционную пленку.



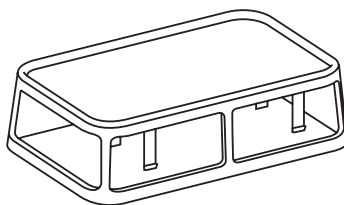
Кабель питания переменного тока(1)
Кабель с 15-контактным мини-разъемом D-sub (1,8 м) (1) (1-970-584-11/Sony)



Футляр для транспортировки (1)



Противопылевая крышка (1)



Короткое справочное руководство (данное руководство) (1)
Руководство по эксплуатации (на диске CD-ROM) (1)

Использование руководства на компакт-диске

Руководство можно открыть с помощью компьютера, на котором установлена программа Adobe Reader. Программу Adobe Reader можно бесплатно скачать с веб-сайта Adobe.

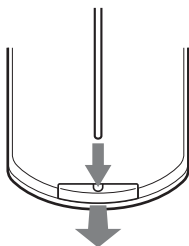
- 1 Откройте файл index.html на компакт-диске.
- 2 Выберите нужное руководство и щелкните по нему.

Примечание

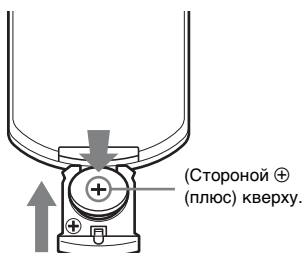
В случае утери или повреждения компакт-диска новый диск можно приобрести у ближайшего дилера Sony или в сервисном центре Sony.

Установка батареек

- 1 Потяните на себя батарейный отсек. Подденьте батарейный отсек острым предметом, как показано на рисунке.



- 2 Вставьте литиевую батарейку.

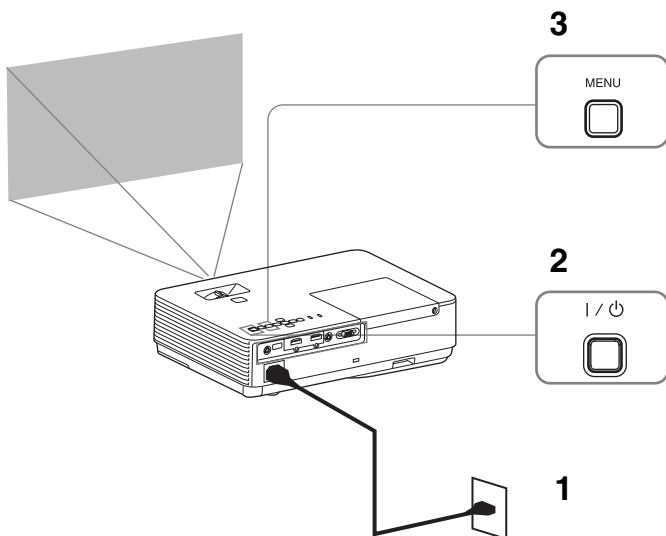


- 3 Закройте батарейный отсек.

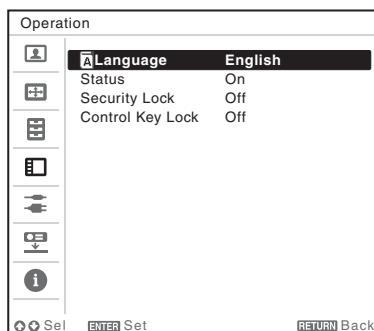
Выбор языка меню

По умолчанию для отображаемых меню, сообщений и т. д. выбран английский язык.

Для изменения языка экрана выполните следующие действия:



- 1 Вставьте шнур питания переменного тока в розетку.
- 2 Включите проектор. Нажмите клавишу I/O.
- 3 Нажмите клавишу MENU для отображения меню. Если экран отображается нечетко, отрегулируйте фокус, размер и положение проектируемого изображения (стр. 17).
- 4 Выберите язык меню.
 - ① Нажмите клавишу или , чтобы выбрать меню Operation (), а затем нажмите клавишу ENTER.
 - ② Нажмите клавишу или , чтобы выбрать "Language ()", а затем нажмите клавишу ENTER.



- ③ Нажимайте клавишу /// для выбора языка, а затем нажмите ENTER.
- 5 Нажмите клавишу MENU, чтобы отключить экран меню.

Шаг 2.

Подключение

Примечания

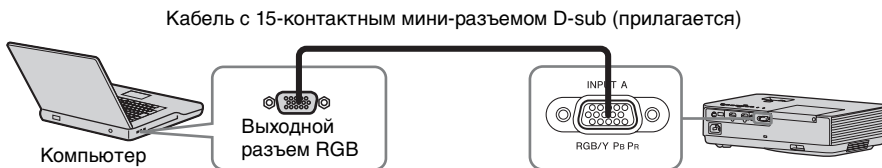
- При подключении проектора убедитесь, что все оборудование выключено.
- Используйте соответствующий кабель для каждого соединения.
- Плотно вставляйте разъемы кабеля. Ненадежный контакт может привести к снижению качества видеосигнала или неправильной работе устройства. При отсоединении кабеля тяните за штекер, а не за сам кабель.
- Для получения подробной информации также см. инструкции по эксплуатации подключаемого оборудования.
- Используйте аудиокабель без сопротивления.

Подключение компьютера

Ниже приведено описание вариантов подключения компьютера для разных типов входного сигнала.

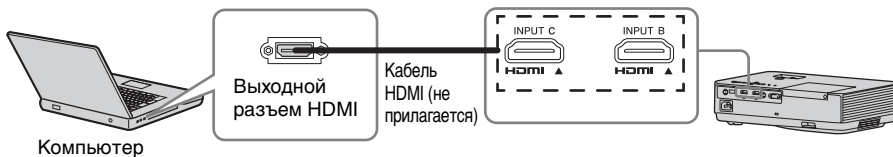
INPUT A

Используется для подключения компьютера, оснащенного выходным разъемом RGB.



INPUT B/INPUT C

Используется для подключения компьютера, оснащенного выходным разъемом HDMI.



Примечания

- Только модель VPL-DX270/DX240/DW240 имеет терминал INPUT C.
- Используйте совместимое устройство HDMI и кабели, имеющие логотип HDMI.
- Используйте высокоскоростные кабели HDMI, на которые нанесен логотип типа кабеля. (рекомендуется использовать изделия производства Sony.)
- Разъем HDMI проектора не поддерживает сигнал DSD (Direct Stream Digital) или CEC (Consumer Electronics Control).
- Разрешения проецируемого изображения могут отличаться в зависимости от входных терминалов.

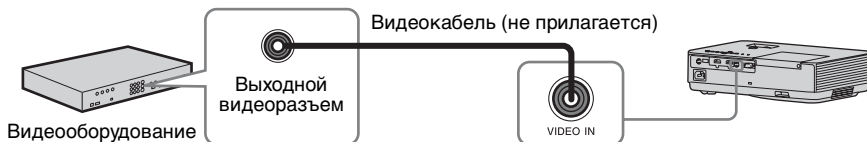
- Для разрешения компьютера рекомендуется установить значение 1024 × 768 пикселей (VPL-DX270/DX240/DX220) или 1280 × 800 пикселей (VPL-DW240) для внешнего монитора.

Подключение видеоустройства

Варианты подключения проигрывателя DVD- или BD-дисков описаны для разных типов входного сигнала.

VIDEO

Используется для подключения видеоустройства, оснащенного выходным видеоразъемом.



INPUT A

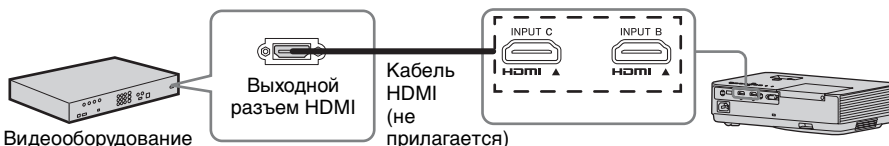
Используется для подключения видеоустройства, оснащенного выходным видеоразъемом YPbPr.

Компонентный – Кабель с 15-контактным мини-разъемом D-sub (не прилагается)



INPUT B/INPUT C

Используется для подключения видеоустройства, оснащенного выходным разъемом HDMI.



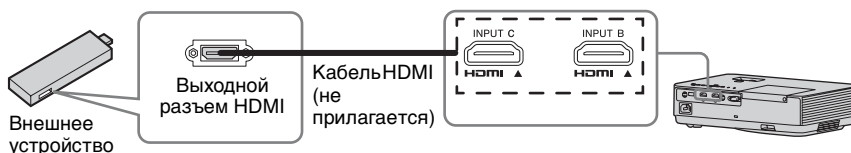
Примечания

- Только модель VPL-DX270/DX240/DW240 имеет терминал INPUT C.
- Используйте совместимое устройство HDMI и кабели, имеющие логотип HDMI.
- Разъем HDMI проектора не поддерживает сигнал DSD (Direct Stream Digital) или CEC (Consumer Electronics Control).
- Используйте высокоскоростные кабели HDMI, на которые нанесен логотип типа кабеля. (рекомендуется использовать изделия производства Sony.)
- Максимальное значение разрешения терминала INPUT C установлено на 720p.

Подключение к внешнему устройству

INPUT C

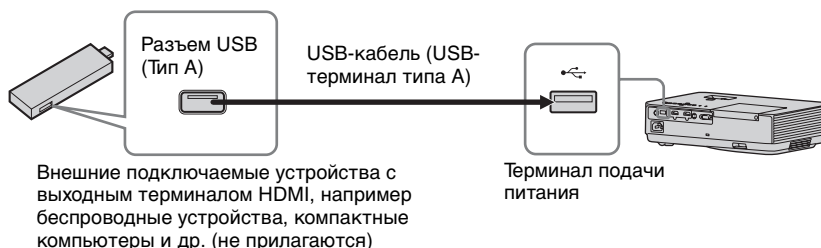
Для подключения внешнего устройства с выходным терминалом HDMI. Подключите внешнее устройство к INPUT C.



Подача питания на внешнее устройство

Устройство подает питание (максимум 5 В/2 А) через USB-кабель на внешнее устройство (подключаемые компьютеры и др.).

- 1 Подключите устройство к внешнему устройству с помощью USB-кабеля (с USB-терминалом типа A).



Примечания

- Используйте внешние устройства с соответствующими техническими характеристиками для данного устройства.
- При неправильном подключении устройства внешнее устройство может вызвать неисправность. В этом случае компания Sony не несет никакой ответственности.

- 2 Установите в пункте “Подача питания” значение “Вкл” в Меню Подключение/Питание.

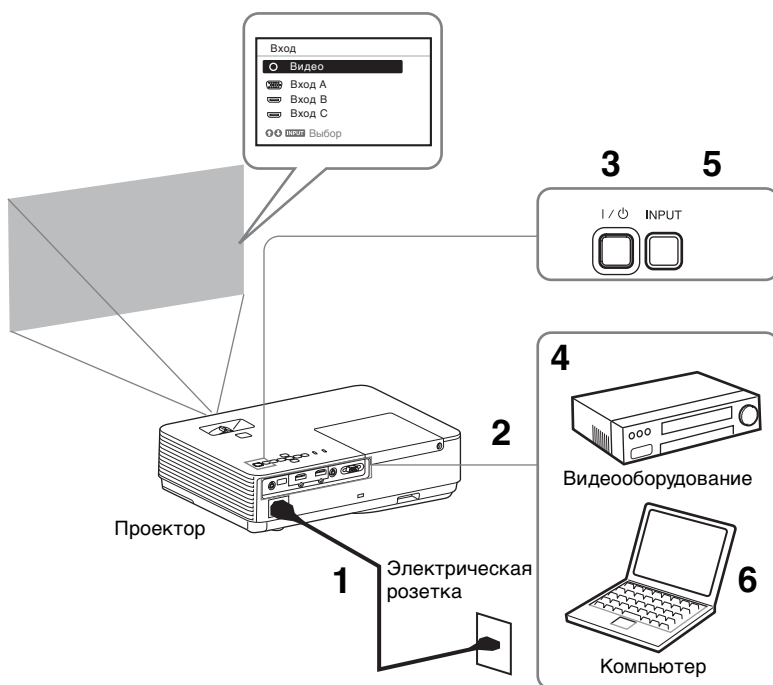
Устройство подает питание на внешнее устройство через USB-кабель.

Примечания

- Только модель VPL-DX270/DX240/DW240 имеет терминал INPUT C.
- Используйте совместимое устройство HDMI и кабели, имеющие логотип HDMI.
- Разъем HDMI проектора не поддерживает сигнал DSD (Direct Stream Digital) или CEC (Consumer Electronics Control).
- Используйте высокоскоростные кабели HDMI, на которые нанесен логотип типа кабеля. (рекомендуется использовать изделия производства Sony.)
- Максимальное значение разрешения терминала INPUT C установлено на 720p.

Проецирование изображения

Размер проецируемого изображения зависит от расстояния между проектором и экраном. Устанавливайте проектор так, чтобы проецируемое изображение соответствовало размерам экрана. Для получения дополнительной информации о расстояниях проецирования и размерах проецируемого изображения см. “Расстояние проецирования”.



1 Подсоедините кабель питания переменного тока к электрической розетке.

2 Подключите все оборудование к проектору.

3 Нажмите клавишу I/⏻ для включения устройства.

4 Включите подключенное оборудование.

5 Выберите источник входного сигнала.

Нажмите клавишу INPUT на проекторе, чтобы отобразить меню для переключения входного сигнала на экране. Нажимайте клавишу INPUT или клавиши **↕**, чтобы выбрать изображения для проецирования.

6 При проецировании изображения с компьютера переключите вывод сигнала компьютера на внешний дисплей.
Способ переключения вывода сигнала может отличаться в зависимости от типа компьютера.

(Пример)



7 Настройте фокусировку, размер и расположение проецируемого изображения (стр. 17).

Изменение проецируемого изображения

Фокусировка	Размер (Увеличение)	Расположение
Кольцо фокусировки	Кольцо увеличения	Кнопка регулировки высоты передней ножки Передняя опорная ножка (регулируемая) Задние опорные ножки (регулируемые)

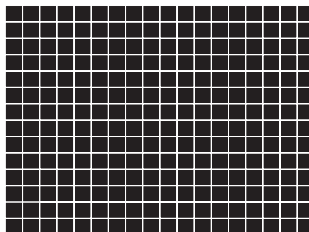
Отображение шаблонов и образцов для регулировки изображения

Нажмите кнопку PATTERN на пульте ДУ, чтобы отобразить шаблоны и образцы для регулировки картинки проецируемого изображения. Доступно четыре шаблона и один образец. При каждом нажатии кнопки PATTERN шаблоны/образец переключаются. Нажмите кнопку MENU для возврата к предыдущему изображению.

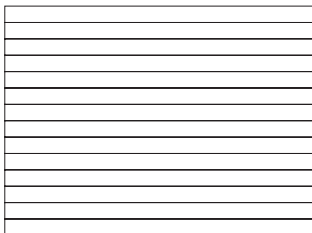
Шаблон 1



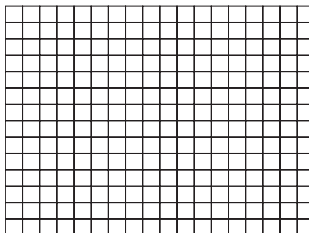
Шаблон 2



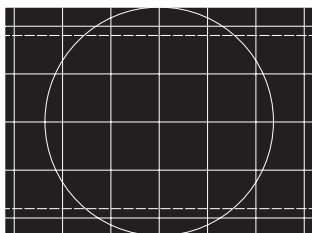
Шаблон 3



Шаблон 4



Образец для настройки изображения

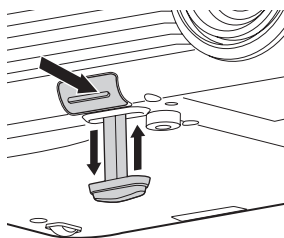
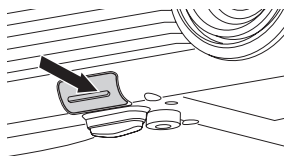


Возврат к предыдущему изображению.

Регулировка с помощью кнопки регулировки ножки

Вы можете настроить положение проецируемого изображения, наклонив проектор с помощью кнопки регулировки ножки.

- 1 Нажмите и удерживайте в нажатом положении кнопку регулировки высоты передней ножки, затем поднимите переднюю часть проектора, чтобы отрегулировать угол.



- 2 По достижении требуемого угла отпустите кнопку регулировки высоты передней ножки, чтобы зафиксировать положение.

Примечания

- Будьте осторожны, чтобы не опустить проектор на пальцы.
- Не давите сильно на верхнюю панель проектора при выдвинутой передней опорной ножке (регулируемой).

Выбор форматного соотношения проецируемого изображения

Нажимайте клавишу ASPECT на пульте дистанционного управления для выбора форматного соотношения проецируемого изображения. Кроме того, эту настройку можно изменить с помощью параметра “Формат” в меню “Экран”

Корректировка трапецидальных искажений проецируемого изображения (функция трапецидальных искажений)*1

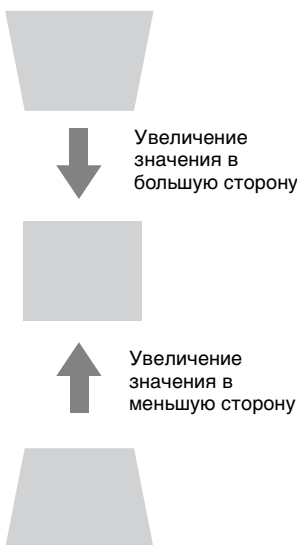
Функция коррекции трапецидальных искажений может не работать автоматически *2, если экран наклонен под углом. В этом случае настройте функцию вручную.

- 1 Нажмите клавишу KEYSTONE на пульте дистанционного управления или выберите Верт.трап.иск в меню Монтаж.
- 2 Используйте клавиши ▲/▼/◀/▶ для установки значения. Чем больше значение, тем уже верхняя часть проецируемого изображения. Чем ниже значение, тем уже нижняя часть изображения.

Примечания

*1: Поскольку коррекция трапецидального искажения является электронной коррекцией, ее использование может привести к снижению качества изображения.

*2: Только VPL-DX270/DX240/DW240.



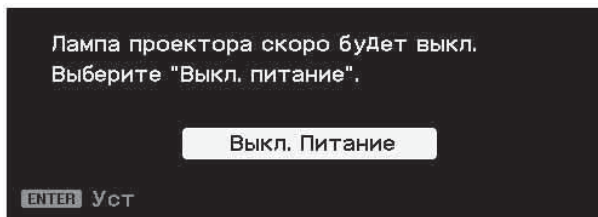
Автоматическая регулировка настроек Фаза, Шаг и Сдвиг проецируемого изображения при получении сигнала с компьютера (АРА (автоматическое выравнивание по пикселям))

Нажмите клавишу АРА на пульте дистанционного управления. Для отмены регулировки во время установки нажмите клавишу еще раз.

Кроме того, функцию АРА можно настроить в меню “Экран”. Если для параметра “АРА выс.честк.” в меню “Функция” установлено значение “Вкл”, функция АРА выполняется автоматически при подаче входящего сигнала.

Выключение питания

- 1 Нажмите клавишу I/⏻ на основном устройстве или на пульте дистанционного управления.
Проектор начнет выключаться, после чего отключится питание. Если нажать клавишу I/⏻ в течение 10 секунд после отображения сообщения, выключение будет отменено.
Если в пункте “Подача питания” установлено “Вкл”, нажмите кнопку старта, чтобы отобразить сообщение. Примерно через десять секунд лампа выключится и устройство продолжит осуществлять подачу питания.
Выберите “Выберите “Выкл. питание””, чтобы остановить подачу питания.



Нажмите кнопку питания еще раз при отображении сообщения для включения лампы.

Примечание

Не выключайте проектор вскоре после включения лампы. Это может привести к неисправности лампы (лампа может не загораться и т.п.).

- 2 Отсоедините кабель питания переменного тока от электрической розетки.

Выключение без отображения сообщения с запросом на подтверждение

Нажмите и удерживайте нажатой клавишу I/⏻ на устройстве в течение нескольких секунд.

Примечания

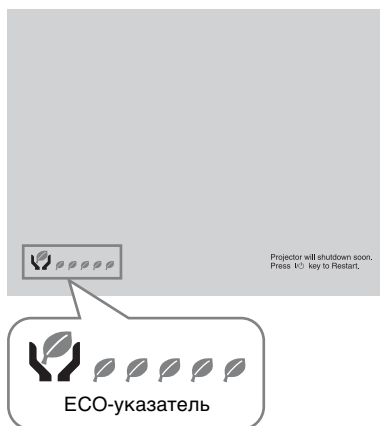
Если выключить устройство вскоре после включения лампы, будет отображено подтверждающее сообщение, а для отключения устройства может потребоваться дополнительное время.

Выключение без отображения сообщения с запросом на подтверждение

Нажмите и удерживайте нажатой клавишу I/⏻ на устройстве в течение нескольких секунд.

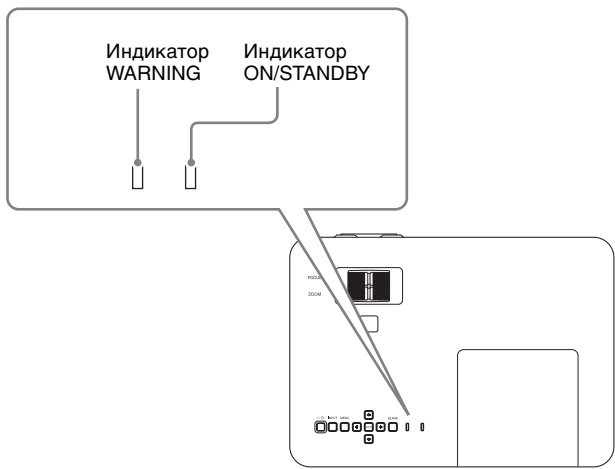
ECO-указатель

Этот индикатор показывает текущую эффективность функции ECO проектора. (Для получения сведений о функции ECO см. разделы “Клавиша ECO MODE” и “ECO.”) Символы в виде листьев отображаются, когда проектор выключен. Количество отображаемых символов изменяется в зависимости от количества энергии, сэкономленной в результате использования функции энергосбережения ECO.

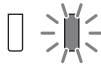


Индикаторы

Светящиеся/мигающие индикаторы ON/STANDBY и WARNING позволяют проверить состояние проектора и узнать о его неправильной работе. Если индикаторы мигают красным светом, решайте проблему в соответствии с указаниями в разделе “Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем” (стр. 24).



Индикация рабочего состояния

Состояние индикатора	Рабочее состояние	Значение
 (Выкл.) (Горит красным цветом)	Ожидание	Устройство включено и находится в режиме ожидания.
 (Выкл.) (Мигает зеленым цветом)	Запуск устройства	Устройство включено и находится в режиме запуска до момента готовности к работе.
 (Выкл.) (Горит зеленым цветом)	Включенное состояние	Проектор готов к проецированию.

Состояние индикатора	Рабочее состояние	Значение
 (Выкл.) (Мигает оранжевым)	Охлаждение	Устройство охлаждается после отключения.
 (Выкл.) (Горит оранжевым цветом)	Другое состояние ожидания	Лампа выключена.

Предупреждающие индикаторы и действия по устранению проблем

Состояние индикатора	Число вспышек	Значение	Действия
 (Мигает красным) (Горит красным цветом)	Две	Крышка лампы установлена ненадежно.	Убедитесь, что крышка лампы установлена и надежно закреплена.
	Три раза	Лампа не светит надлежащим образом.	Необычно высокая температура лампы. Выключите проектор и снова включите его после того, как лампа остынет. Если симптом появится снова, выключите проектор и снимите лампу (стр. 26), проверьте лампу на предмет повреждений. Если лампа не повреждена, установите ее и снова включите проектор. Если симптом появится снова, возможно, лампа перегорела. В этом случае установите новую лампу (стр. 26). Если лампа не повреждена, не пытайтесь заменить ее самостоятельно. Обратитесь к квалифицированному специалисту Sony.

Состояние индикатора	Число вспышек	Значение	Действия
 (Мигает красным) (Мигает красным) Оба индикатора мигают	Две	Ненормальная температура проектора.	• Проверьте воздушный фильтр, и если он засорился, очистите или замените его (стр. 28). • Убедитесь, что вентиляционные отверстия (впускные/выпускные) не заблокированы стеной или предметом, и при необходимости установите проектор на достаточном расстоянии от них. • Проверьте окружающую температуру воздуха. Используйте проектор в пределах рабочего диапазона температур.

Если индикаторы мигают иным образом, отличным от описанных выше, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор ON/STANDBY отключился, а затем вставьте кабель питания переменного тока в розетку и включите проектор.

Если проблему не удастся устранить, обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

Замена лампы

Замените лампу новой, если на проецируемом изображении появляется сообщение.

Для замены используйте лампу для проекторов LMP-D214 (не прилагается).

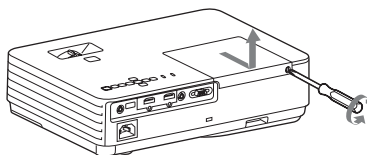
Осторожно

- Лампа остается горячей после выключения проектора. **Касание лампы может привести к ожогу пальцев. Перед заменой лампы подождите как минимум час после выключения проектора, чтобы дать лампе достаточно остыть.**
- После извлечения лампы не допускайте попадания металлических или воспламеняющихся предметов внутрь паза, служащего для замены лампы, в противном случае это может стать причиной возгорания или поражения электрическим током. Не кладите руки внутрь паза.

Примечания

- Если лампа лопнула, обратитесь к квалифицированному персоналу Sony. Не заменяйте лампу самостоятельно.
- При извлечении следует вынимать лампу прямо, удерживая за предназначенную для этого часть. Касание другой части лампы может привести к ожогу или травме. Если во время извлечения лампы, когда проектор находится под наклоном, лампа разобьется, ее осколки могут разлететься и привести к травме.

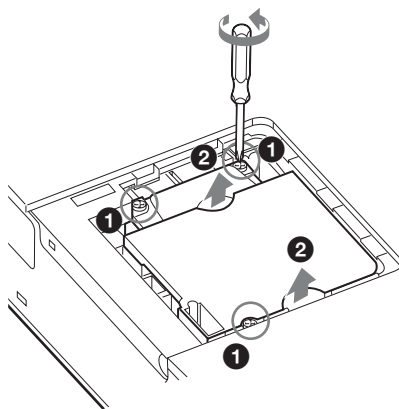
- 1 Выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока от настенной розетки.
- 2 После того как лампа остынет, снимите крышку лампы, выкрутив 1 винт.



Примечание

Из соображений безопасности не выкручивайте другие винты.

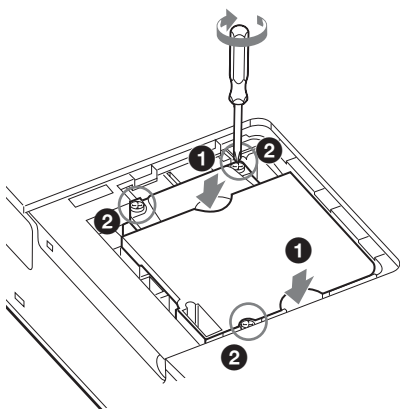
- 3 Ослабьте три винта, затем возьмитесь пальцами за выемки для извлечения лампы.



Осторожно

Не касайтесь руками внутренних частей гнезда для замены лампы и не допускайте попадания в гнездо жидкостей или предметов, в противном случае **это может стать причиной возгорания или поражения электрическим током.**

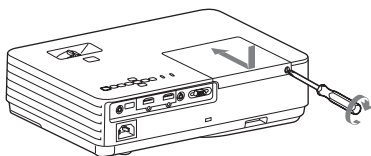
- 4 Вставьте новую лампу до упора, чтобы она надежно встала на место. Затяните 3 винта.



Примечания

- Будьте осторожны, чтобы не дотронуться к стеклу лампы и внутреннему проводу.
- Если лампа установлена ненадежно, проектор не включится.

- 5 Закройте крышку лампы и затяните 1 винт.



- 6 Подключите кабель питания переменного тока к настенной розетке и включите проектор.

- 7 Сбросьте таймер лампы, чтобы сообщение о следующей замене лампы было выдано вовремя. Выберите параметр “Сброс тайм.лампы” в меню “Функция” и нажмите клавишу ENTER. При появлении сообщения выберите “Да”, чтобы сбросить значение таймера лампы.

Очистка воздушного фильтра

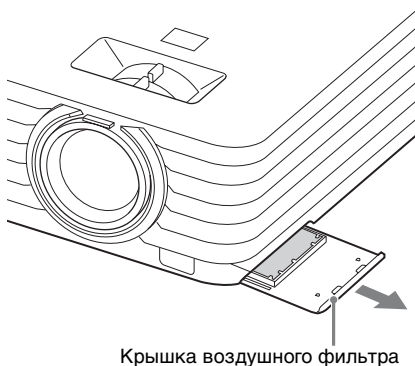
Если на проецируемом изображении отобразится сообщение с рекомендацией очистить фильтр, необходимо очистить воздушный фильтр.

Если даже после очистки пыль из воздушного фильтра удалить не удастся, замените воздушный фильтр новым. Для получения дополнительной информации о приобретении или установке нового воздушного фильтра обратитесь в магазин, где был приобретен проектор, или к квалифицированному персоналу Sony.

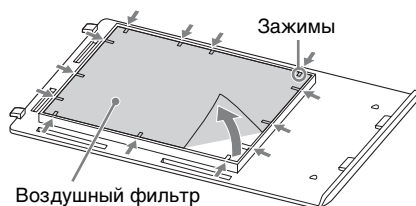
Осторожно

Если продолжить эксплуатацию проектора после отображения этого сообщения, в нем может накопиться пыль, что приведет к засорению. В результате внутри устройства может повыситься температура, что может привести к неисправности или возгоранию.

- 1 Выключите проектор и отсоедините кабель питания переменного тока от розетки переменного тока.
- 2 Выдвиньте и извлеките крышку воздушного фильтра из устройства.



- 3 Очистите воздушный фильтр пылесосом.
Извлеките воздушный фильтр и очистите его пылесосом.



- 4 Установите крышку воздушного фильтра на устройство.

Примечание

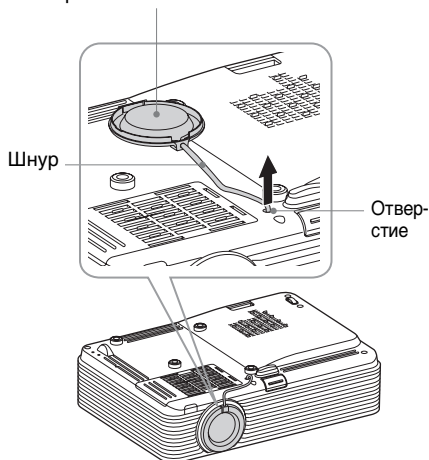
Установите воздушный фильтр тканевой стороной к нижней панели устройства, затем установите на место крышку воздушного фильтра.

Крепление проектора на потолке

Удаление колпачка объектива

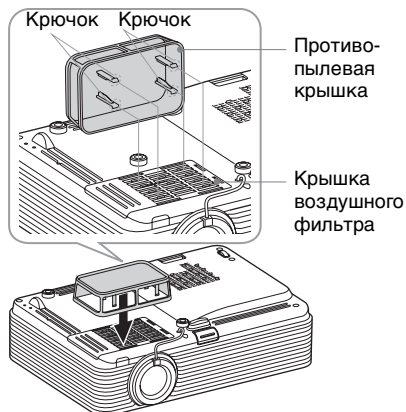
Колпачок объектива не требуется при креплении устройства на потолке, поэтому его необходимо снять. Потяните колпачок объектива за шнур, чтобы снять его с устройства. Если колпачок объектива требуется, установите край шнура в отверстие.

Крышка объектива



Крепление противопылевой крышки

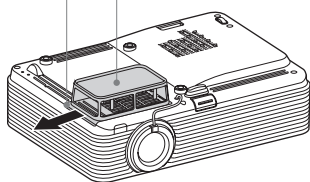
При креплении проектора на потолке вы можете прикрепить противопылевую крышку на устройство во избежание скопления пыли на воздушном фильтре. Установите крышку воздушного фильтра таким образом, чтобы противопылевая крышка закрывала крышку воздушного фильтра, затем вставьте четыре крючка (внутри противопылевой крышки) в отверстия на крышке воздушного фильтра.



Очистка воздушного фильтра и области вокруг него

- 1 Выключите устройство и отсоедините кабель питания переменного тока от розетки.
- 2 Протрите пыль чистой тканью.
- 3 Извлеките крышку воздушного фильтра с установленной на ней противопылевой крышкой.

Крышка
воздушного
фильтра Противопылевая
крышка

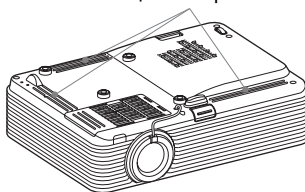


- 4 Очистите противопылевую крышку и крышку воздушного фильтра пылесосом.
- 5 Извлеките воздушный фильтр и очистите его пылесосом.
Для получения дополнительной информации см. шаг 3 в разделе “Очистка воздушного фильтра” (стр. 28).
- 6 Установите воздушный фильтр и крышку воздушного фильтра (с противопылевой крышкой) на место.

Переноска устройства

При переноске устройства держите его за нескользящую поверхность во избежание падения.

Нескользящая поверхность



よくあるお問い合わせはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

出版日期：2016年5月

<http://www.sony.net/>

Sony Corporation Printed in China